



東京 2020 大会  
英国代表チーム  
事前キャンプ応援サイト  
**GO GB 2020**

横浜市アーカイブ

※掲載当時の内容です。



2017.03.23 ニュース | 慶應義塾大学

## 東京 2020 オリンピック英国チーム事前キャンプ契約締結式



3月21日（火）、日吉キャンパス協生館のイベントホールにて、「東京 2020 オリンピック英国チーム事前キャンプ契約締結式」が行われ、清家篤塾長、ヒュー・ロバートソン英国オリンピック委員会（BOA）委員長、林文子横浜市市長、福田紀彦川崎市市長、竹田恆和日本オリンピック委員会（JOC）会長が出席しました。

慶應義塾大学、横浜市、川崎市は、東京 2020 大会における英国オリンピック代表チームによる事前キャンプの受け入れについて、2016年2月にBOAと覚書を締結しました。今回の契約は、BOAと3者がそれぞれ取り交わすもので、対象施設、利用期間、競技、交流事業など施設利用やパートナーシップについて取り決めるものです。

慶應義塾大学では、2020年7月3日から8月11日の期間（セットアップ期間を含む）、日吉キャンパスの記念館や陸上競技場、蝮谷体育館を中心に、アーチェリー、フェンシング、近代五種競技、バドミントン、体操競技、卓球、バスケットボール、柔道、テコンドー、ボクシング、空手、ウエイトリフティング、ホッケーの計13種目を受け入れる予定です。

施設の提供はもとより、研究・教育・歴史・文化・芸術などスポーツ以外の分野においても交流を深め、地域社会や国際社会への貢献のために協力していきます。

締結式の司会は、卒業生でロンドンオリンピック競泳男子 200m 銅メダリストの立石諒君が務めました。契約の概要説明に引き続き各代表者による挨拶があり、その後、ポール・マデン駐日英国大使による来賓挨拶、各代表者による契約書への署名を経て締結式は終了しました。締結式終了後には会場を移し、終始和やかな雰囲気の中、レセプションが行われました。

(参考)

東京五輪における英国事前キャンプ地 覚書締結式 (2016/02/09 掲載ニュース)

<https://www.keio.ac.jp/ja/news/2015/osa3qr000001dc4w.html>

英国オリンピック代表チームウェブサイト (英語)

<https://www.teamgb.com/news/team-gb-secure-tokyo-2020-pre-games-preparation-camp-facilities>



控え室での様子



締結式の様子



署名を終えた後の記念撮影



締結式後、取材を受ける清家塾長



日吉キャンパス陸上競技場

撮影：竹松 明季 他

2018.05.15 イベント | 横浜市

## 英国トライアスロン、パラトライアスロンチームの選手たちと横浜市の小学生との交流会



2018年5月11日（金）・12日（土）に、英国トライアスロン、パラトライアスロンチームの選手たちと横浜市の小学生との交流会が開かれました。

交流会では、まずはそれぞれの簡単な自己紹介。中には英語で元気よく自己紹介をした小学生がいて、選手たちに喜ばれました。それに応えるかのように、選手のひとりが日本語で自己紹介をすると、子どもたちも嬉しそうに大拍手。

自己紹介に続き、選手と生徒混合のグループに分かれ、英国や、種目に関する質問と応答を交えながらコミュニケーションを深めました。

12日は交流会のあと、英国代表チームの選手たちと、ちょうど開催中の2018ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会の山下公園周辺特設会場へ応援に出掛け、子どもたちはトライアスロンの迫力を身近に感じていました。

5月11日(金)

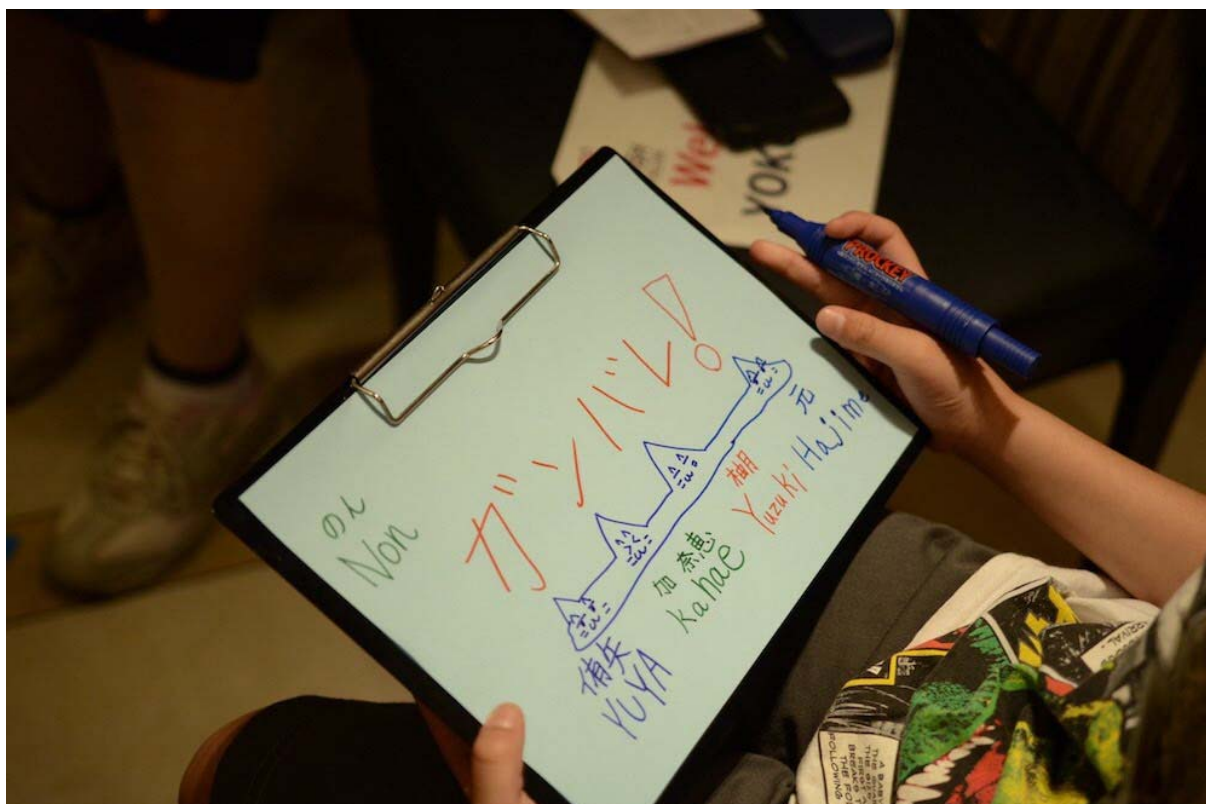
11日の交流会。会場は日英の国旗で歓迎ムード。



子どもたちはトライアスロンチームとワークショップ。



英語と日本語で選手へ応援メッセージ。



選手と子どもたち交えたグループワークの発表。





最後は手書きのメッセージを手に集合写真。



5月12日(土)

2日目はパラトライアスロンの選手と交流。



前日同様に選手とグループワークを楽しみました。



英国代表チームを応援する合言葉「GO GB!」の掛け声と共に集合写真。



交流後は開催中の 018ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会の山下公園周辺特設会場へ移動し、一緒に応援。



最後にハイタッチでお別れ。2020年に再会できますように！



2018.05.28 ニュース | 慶應義塾大学

## 東京 2020 英国パラリンピック代表チームの事前キャンプ覚書締結式開催



慶應義塾大学・横浜市・川崎市は、東京 2020 パラリンピック競技大会における英国パラリンピック代表チームの事前キャンプについて、英国パラリンピック委員会 (BPA) と覚書を締結し、5 月 24 日 (木) に日吉キャンパス協生館のイベントホールにて締結式を行いました。

挨拶に立った長谷山彰塾長は、パラアスリートは人間の潜在力の高さや多様性を教えてくれる存在であるとし、受け入れ事業に携わることは、慶應義塾関係者にとっても素晴らしい体験になると語りました。続いて、各代表者が覚書に署名すると、会場からは温かい拍手が起こりました。4 者は、事前キャンプのみならず、さまざまな文化・学術面での交流や、地域社会との交流も見据え、協力していくこととなります。

会場には多くの来賓をはじめ、英国視覚障害者柔道の選手たちも参加し、締結式後の祝賀会では学生と選手が歓談する場面も見られました。

なお、慶應義塾大学・横浜市・川崎市は、英国オリンピック代表チームの事前キャンプについても、2017 年 3 月、正式に契約を締結しています。

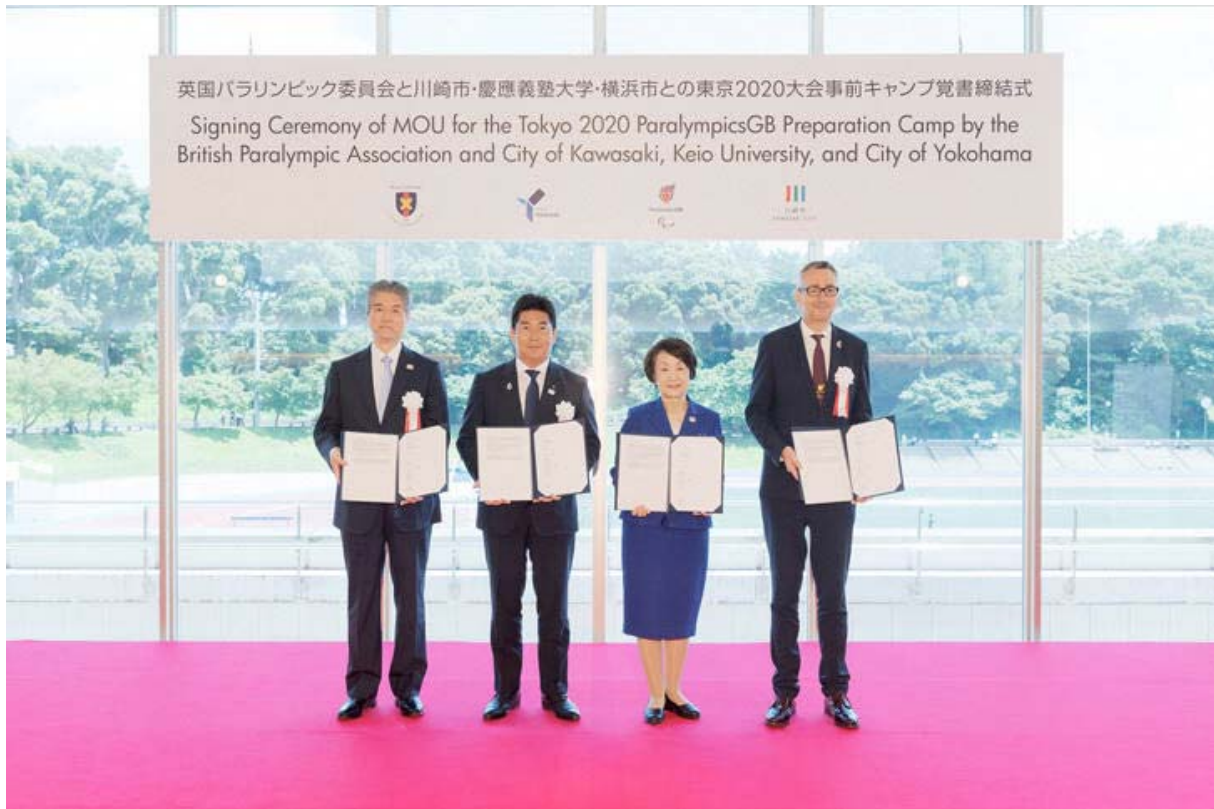
(参考)

[プレスリリース] 東京 2020 英国パラリンピック代表チーム事前キャンプ 川崎市・慶應義塾大学・横浜市が英国パラリンピック委員会と覚書を締結

<https://www.keio.ac.jp/ja/press-releases/2018/5/24/28-44182/>

英国パラリンピック委員会ウェブサイト（英語）

<https://paralympics.org.uk/>



署名後の記念撮影（左から、長谷山彰塾長、福田紀彦川崎市市長、林文字子横浜市市長、ティム・ホリングスワース英国パラリンピック委員会 CEO）



祝賀会で、英国視覚障害者柔道の選手たちと交流する長谷山塾長



選手と歓談する塾生たち



会場の様子



日吉キャンパスの柔道場で、体育会柔道部員と乱取りをする英国選手

2018.08.05 イベント | 横浜市

東京 2020 大会 2 年前イベントで英国事前キャンプ応援ステージを行いました！



東京 2020 オリンピック・パラリンピックまであと2年と迫った8月4日、横浜市では、クイーンズスクエア横浜において、東京 2020 大会2年前イベント「横浜にオリンピックがやってくる！」を行い、同時開催で「英国事前キャンプ応援ステージ」を実施しました。当日は、横浜と英国をつなぐ親善大使である「ひつじのショーン」のダンスステージや、英国事前キャンプを一緒に受け入れる慶應義塾大学のチアリーディングチーム Merfilles のステージなど、多くの皆様にご来場いただきました。2年後の英国事前キャンプに向け、どんどん盛り上げていきましょう！

つづきジュニア編集局(※)のジュニア記者によるレポートもご覧ください！

つづきジュニア編集局 ⇒ <http://junior.minicity-plus.jp/2018/09/5990/>

(※) <つづきジュニア編集局ジュニア記者による「英国を知る」ためのレポート>

横浜市では、英国の事前キャンプ地「国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんにも、記事の作成にお手伝いいただいています。レポートの様子をときどきご紹介いたします。ぜひご注目ください！

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学5年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2018.09.20 イベント | 横浜市

**Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018「ひつじのショーン×タップダンスショー」で英国事前キャンプ PR を行います！**



© Aardman Animations Ltd 2018



3年に一度、横浜で開催される、日本最大級のダンスフェスティバル Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018。そのプログラムの一環として、英国発のクレイ・アニメーションキャラクター「ひつじのショーン」が、世界大会出場のタップダンサーと一緒に足音で奏でるタップダンスを披露し、子どもたちと一緒に楽しめるダンスステージを開催します。ひつじのショーンは、2017年に横浜と英国をつなぐ親善大使にも就任！会場では英国事前キャンプ PR パネルが展示されています。ぜひ、会場をご覧ください！



【日程】2018年9月23日（日・祝）13:30／15:30

【会場】クイーンズスクエア横浜1階 クイーンズサークル

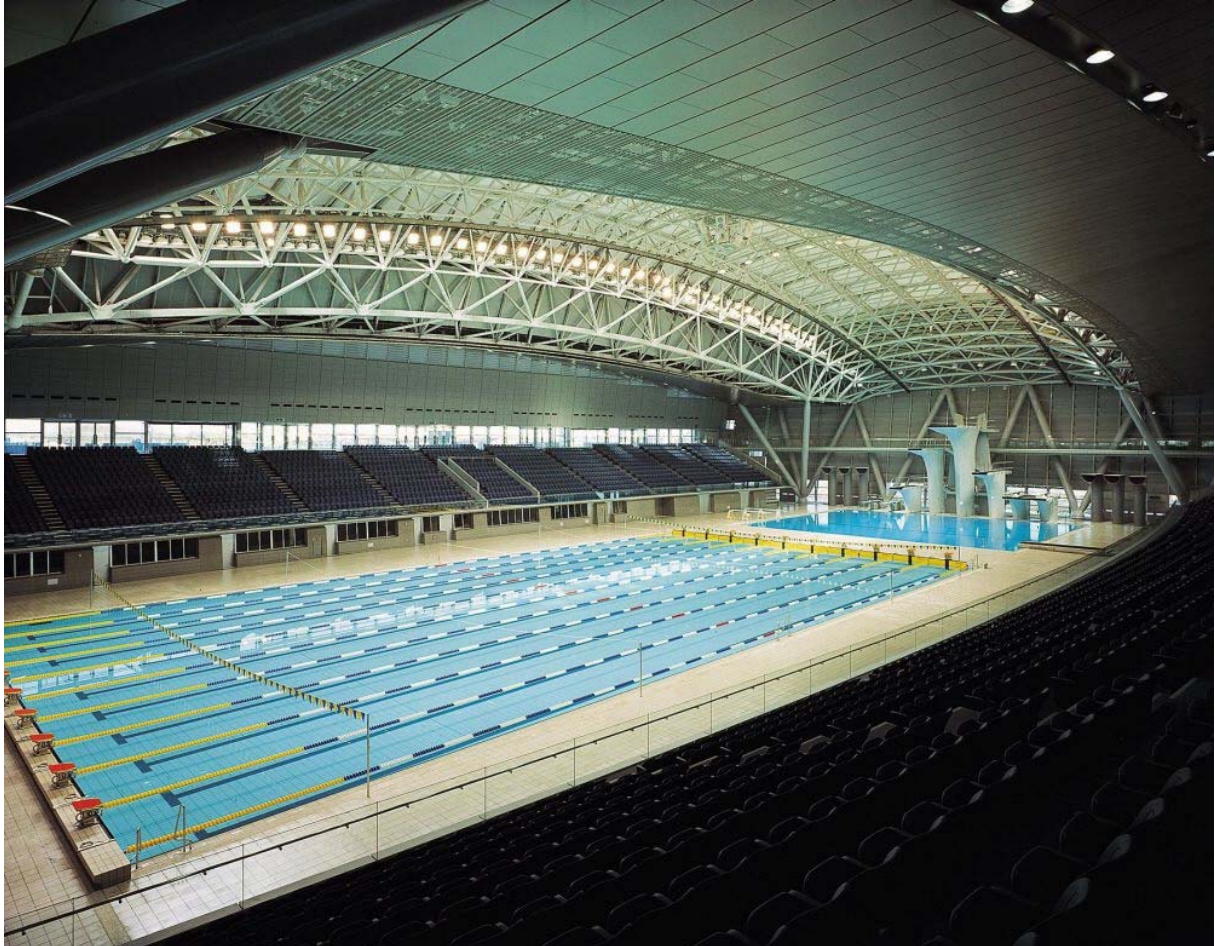
※各ステージ入れ替え制

※観覧無料

<https://paradise.dance-yokohama.jp/program/ydp923queenscircle/>

2018.09.20 イベント | 横浜市

## 横浜国際プールで英国代表選手を応援しよう！2018 ジャパンパラ水泳競技大会に英国代表選手が出場します！



日本国内最高峰のパラスポーツ競技大会、ジャパンパラ水泳競技大会が、2020年英国事前キャンプの舞台となる横浜国際プールにやってきます！この大会は国際の公式記録としても認定される、日本国内では数少ない国際公認大会。参加標準記録が設けられており、大会に参加するためにはその記録を突破しなければなりません。今回の大会では、海外からのトップアスリートも参戦、英国からも代表選手9名が出場予定です！世界を意識したトップレベルのパラ水泳が観戦できるこの機会、ぜひ会場で体感してください！

【日程】9月22日(土)～24日(月・振休)

【会場】横浜国際プール（横浜市都筑区北山田7-3-1）

【大会公式 Web サイト】

<http://www.jsad.or.jp/japanpara/swimming/>

【もっとパラ水泳を楽しもう！】

「かんたん水泳ガイド」はこちら

[http://www.jsad.or.jp/about/referenceroom\\_data/competition-guide\\_02.pdf](http://www.jsad.or.jp/about/referenceroom_data/competition-guide_02.pdf)

World Para Swimming 公認



2018

# ジャパンパラ 水泳競技大会

会場 **横浜国際プール**  
横浜市都筑区北山田7-3-1

期間 **2018年9/22<sup>土</sup> → 24<sup>月</sup>**

- 主催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟
- 共催 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟
- 一般社団法人日本ろう者水泳協会
- 主管 一般社団法人神奈川県水泳連盟

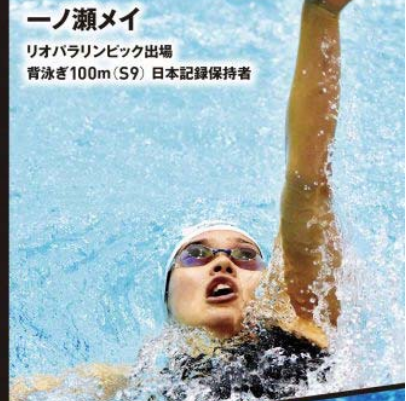
**入場無料**



**鈴木孝幸**  
リオパラリンピック出場  
150m個人メドレー (SM4) 日本記録保持者



**中島啓智**  
200m個人メドレー (SM14)  
リオパラリンピック銅メダル



**一ノ瀬メイ**  
リオパラリンピック出場  
背泳ぎ100m (S9) 日本記録保持者



**キャメロン・レスリー** (ニュージーランド)  
150m個人メドレー (SM4)  
リオパラリンピック金メダル



**ダニエル・フォックス** (オーストラリア)  
200m自由形 (S14)  
リオパラリンピック銅メダル



**エリー・コール** (オーストラリア)  
背泳ぎ100m (S9)  
リオパラリンピック金メダル

## 世界のトップアスリートが集結!!



JPSA オフィシャルパートナー

トラスコ中山株式会社 西濃シェンカー株式会社  
カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社  
株式会社富士住建 株式会社クローリアーズ 株式会社JT-B  
大塚製薬株式会社 株式会社福祉施設共済会  
株式会社ティーガイア 株式会社コム兵 住友金属鉱山株式会社

後援

スポーツ庁 神奈川県 横浜市 横浜市教育局委員会  
公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本水泳連盟  
日本障がい者水泳協会 一般社団法人日本マスターズ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟  
全国障害者体育連盟 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会  
社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

協力

神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会

協賛

株式会社城山

**JPSA**

【問合せ先】公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 JP事務局  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町2-13-6 ユニゾ水天宮ビル3階  
TEL 03-5939-7021 FAX 03-5641-1213  
公式HP <http://www.jsad.or.jp> 公式Facebook <https://www.facebook.com/jpsasports>

**ライブ動画配信あり!**  
【大会サイト】 <http://www.jsad.or.jp/japanpara/>



ポスターに掲載する情報は掲載時のもので、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

2018.10.10 ニュース | 横浜市

## 10月14日(日)日本大通り周辺でごちゃまぜ音楽祭「ホッチポッチミュージックフェスティバル」を開催します！



「ホッチポッチ」とは「ごちゃまぜ」という意味。

国・世代・性別・障がいの有無などに関わらず、誰もが集える参加型音楽フェス。開港を経て発展した OPEN な YOKOHAMA だからできる、みんなのフェスです。今年の「ホッチポッチミュージックフェスティバル」のテーマは“共鳴”  
いろんな場所でたくさんの人たちと響きあう体験を“共鳴”と名付けました。

2年後に迫った東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて英国と横浜との“共鳴”も始まりました。

横浜市は英国オリンピック代表チームの事前キャンプ地となるとともに、英国のホストタウンに決定。これをきっかけに横浜市は英国との交流事業を展開し、両大会の成功に向け、オール横浜でおもてなしします。

今回のホッチポッチミュージックフェスティバルでは、横浜市と協力し、「英国ホストタウン交流事業」として、英国大使館太鼓会 どん BRI とバグパイプ奏者ジェラルド・ミューヘッドさんをお招きし、英国との音楽交流を実現させました。

バグパイプの息づかい、太鼓の響きで“共鳴”しましょう。

---

▼バグパイプ奏者「ジェラルドミューヘッド」 出演時間

日本大通り(メインステージ) 13:20～

関内駅南口 15:25～

※出演時間は当日の状況で前後する場合がございます。

余裕を持ってお越しください。

▼和太鼓「英国大使館太鼓会どん BRI」 出演時間

日本大通り(メインステージ) 13:35～

※出演時間は当日の状況で前後する場合がございます。

余裕を持ってお越しください。

▼WEB URL

<http://www.arcship.jp/nihon-street/>

---



2018.10.25 ニュース | イベント | 横浜市

## 「2018 ふるさと港北ふれあいまつり」で英国事前キャンプPRブースを出展しました。



10月20日(土)に行われた「2018 ふるさと港北ふれあいまつり」で、英国事前キャンプPRブースを出展しました。

ブースでは、同じく英国代表チーム事前キャンプを受け入れる慶應義塾大学の公式英国代表選手団サポート団体、「KEIO 2020 project」の皆さんにもご協力いただき、紅茶の試飲など英国を体験するプログラムを実施しました。

子どもを中心に多くの方に足を運んでいただき、英国の文化を体験していただきました。

ふれあいまつりは、晴天に恵まれ、約4万人の方にご来場いただきました。

2018.10.31 ニュース | イベント | 横浜市

## 「ホッチポッチミュージックフェスティバル 2018」に英国の音楽系アーティストに参加いただきました！



2018年11月14日、「せかい中の音楽を楽しめる音楽祭」であるホッチポッチミュージックフェスティバルに英国の音楽系アーティストを招聘し、イベント内での演奏や横浜のアーティストとのセッションの参加等を実施し、相互の文化交流を深めました。

駐日英国大使館の職員OB、OGで構成される「英国大使館太鼓会 どんBRI」を招聘し、日本の伝統楽器である和太鼓のパフォーマンスをしていただきました。



バグパイプ奏者、ジェラルド・ドミューヘッド氏を招聘し、本場の英国音楽を披露していただきました。また、同氏には当イベントのフィナーレにもご出演いただき、イベントMCをはじめ、他の出演者とも交流していただくことができました。



2020年の東京オリンピック英国代表のキャンプ地に「横浜・川崎」が選ばれたことを周知するために、当イベントの玄関口である関内駅南口会場に展示を行いました。



2018.11.02 イベント | 横浜市

11月3日(土)「第24回都筑区民まつり」で英国事前キャンプPRブースを出展します！





11月3日（土）に行われる都筑区民まつりセンター北会場で、英国事前キャンプPRブースを出展します！

ブースでは、同じく英国代表チーム事前キャンプを受け入れる慶應義塾大学の公式英国代表選手団サポート団体、「KEIO 2020 project」の皆さんにもご協力いただき、紅茶の試飲など英国を体験するプログラムを実施予定！英国と横浜をつなぐ親善大使、「ひつじのショーン」との握手＆撮影会も行います。ぜひ足を運んでいただき、英国の文化を体験してみてください！

【日時】11月3日（土）10時～15時

【会場】都筑区民まつりセンター北会場（横浜市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン「センター北」駅すぐ）

※都筑区民まつりの詳細はこちら↓

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/chiiki/chiiki/20180530170220.html>

**第24回**  
**都筑区民まつり**

2018  
11/3  
土・祝  
10:00  
~15:00

会場は  
3カ所

■センター南会場  
開会式、ステージ、PRコーナー、模擬店、お菓子、ふれあい都市、番社探検コーナー、番社バザー等

■みなぎたウォーク会場  
フリーマーケット、PRコーナー、模擬店、ステージ等

■センター北会場  
PRコーナー、模擬店、ステージ、お菓子等

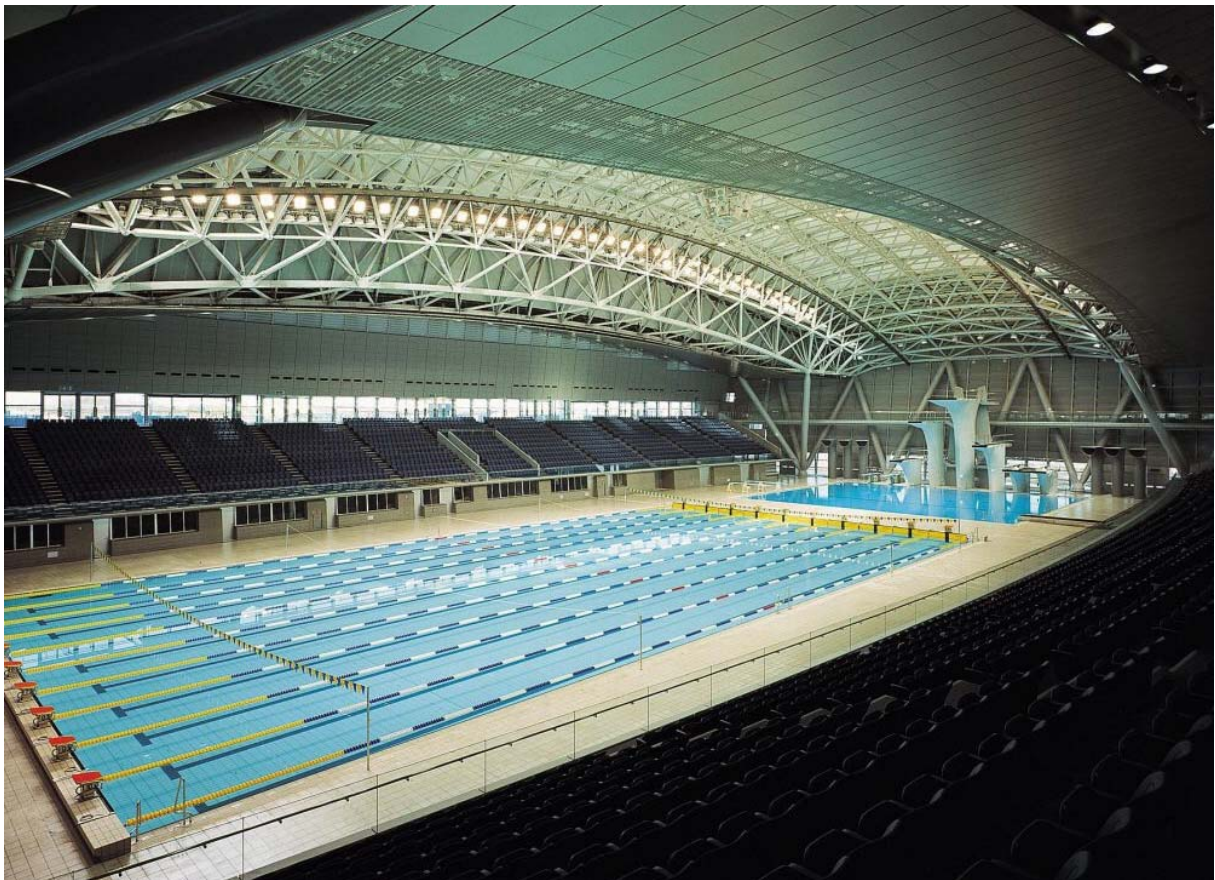
笑顔あふれる ふるさと都筑

都筑区民まつり 検索

主催：都筑区ふるさとづくり委員会（事務局：都筑区役所地域創造課）TEL:948-2231  
お問合せ：当日の午前8時からは、横浜コールセンターにお問い合わせください TEL:664-2525  
※小冊子とは発行します。詳しくは、当日午後7時から、都筑区役所ホームページでお知らせします。会場には交通安全隊が配備されますので、公共交通機関をご利用ください。

2018.11.02 イベント | 横浜市

11月4日(日) B.LEAGUE 横浜ビー・コルセアーズのホームゲームで横浜市主催「英国ホストタウン・事前キャンプ応援デー」を実施します！



英国代表チームの事前キャンプ地・横浜国際プールをホームアリーナとする横浜ビー・コルセアーズ。11月4日(日)に行われる新潟アルビレックスBB戦で、横浜市主催「英国ホストタウン・事前キャンプ応援デー」を行います！

当日は、英国事前キャンプのパネルコーナーが設けられるほか、英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」もアリーナに登場！ハーフタイムにかわいいダンスパフォーマンスを披露したり、ホームゲーム中、ところどころに出没予定です。

また、会場では車いすバスケット体験会も実施！車いすバスケットでのシュートチャレンジが体験できます。この機会に、英国事前キャンプの会場にぜひ遊びに来てください！

【日時】11月4日(日) 12:05 入場開始 14:05 試合開始

【会場】横浜国際プール(横浜市営地下鉄グリーンライン「北山田」駅から徒歩5分)

※試合の情報など、詳細はこちら↓

[https://b-corsairs.com/news/game\\_20181103\\_20181104/](https://b-corsairs.com/news/game_20181103_20181104/)

2020年、英国事前キャンプが横浜にやってくる!

ひつじのショーン

英国と一緒にワクワクを体験しよう!

横浜市 プレゼンツ 英国ホストタウン・事前キャンプ応援デー

14:05 TIPOFF  
VS 新潟アルビレックスBB  
横浜国際プール

11.4 SUN

2018.11.14 イベント | 横浜市

**12月3日(月) 英国事前キャンプ・ホストタウン応援企画「英国と横浜を知る講座～英国の共生社会文化から学ぶ～」を実施します！**



横浜市では、2020 年に向け英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。今回、英国オリンピック委員会からゲストをお迎えし、栗栖 良依氏による英国の共生社会に着目した講演、英国文化を体験するプログラムを開催します。英国代表チームがやってくるこの機会に、豊かな英国文化に触れて楽しんでみませんか？

**【日時】**

平成 30 年 12 月 3 日 (月) 19 時～20 時 30 分

**【場所・アクセス】**

横浜イギリス館（横浜市中区山手町 115-3）

○電車：みなとみらい線「元町・中華街」駅下車、6 番出口アメリカ山公園口から徒歩 6 分

○バス：JR「桜木町」駅から、神奈川中央交通バス 11 系統、市営バス 20 系統、

または市営バス「あかいくつ」で「港の見える丘公園」下車徒歩 1 分

## 【プログラム】

19:00～20:00

ビル・スウィーニー氏によるご挨拶／栗栖 良依氏による講演

コーディネーター：湯浅 真奈美氏（ブリティッシュ・カウンシル アーツ部長）

20:00～20:30

ティータイム（ケルト音楽の生演奏付き）

\* 英国のテーブルコーディネーターや、ケルト音楽を楽しみながら、紅茶やお菓子をお召し上がりください。

○ゲスト：ビル・スウィーニー氏（英国オリンピック委員会 CEO）

大手スポーツ用品メーカーのビジネス開発グローバル責任者等を経て 2013 年から現職。

3度の夏季冬季オリンピックで Team GB（英国オリンピック代表チーム）を率いる。Team GB はリオ 2016 大会で国別メダル獲得数世界第 2 位。

○講師：栗栖 良依氏

「日常における非日常」をテーマに、アートやデザインの領域に収まらない自由な発想で、異分野・異文化の人や地域を繋げ、新しい価値を創造するプロジェクトを多方面で展開。2010 年、骨肉腫による右下肢機能全廃で障害福祉の世界と出会う。翌年、SLOW LABEL 設立。ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014 総合ディレクター。第 65 回横浜文化賞「文化・芸術奨励賞」、タイムアウト東京 LOVE TOKYO AWARDS 2016 face of tokyo 受賞。

## 【定員】

60 名（小学生未満の方はご遠慮ください）

## 【参加費】

無料

## 【申込方法】

○事前申込制・先着順

○メールもしくは FAX にてお申し込みください。

○記入事項：

(1) 講座「英国と横浜を知る講座」受講希望

(2) 参加者全員の氏名

(3) 代表者の電話番号

○手話通訳が必要な場合は、その旨お知らせください。

○定員超過の場合を除き、連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。

## 【締切】

平成 30 年 11 月 26 日(月)

【連絡先】 横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課

(TEL) 045-671-3690 (FAX) 045-664-1588

(Eメール) [sh-olypara@city.yokohama.jp](mailto:sh-olypara@city.yokohama.jp)

【主催】

横浜市

【協力】

ブリティッシュ・カウンシル/デザインチームリビウ/慶應義塾大学ケルト音楽愛好会

PDFはこちら>>

[https://gogb2020.jp/wp-](https://gogb2020.jp/wp-content/uploads/2018/11/771ae8dea0eb110adb056fc923f11b76.pdf)

[content/uploads/2018/11/771ae8dea0eb110adb056fc923f11b76.pdf](https://gogb2020.jp/wp-content/uploads/2018/11/771ae8dea0eb110adb056fc923f11b76.pdf)

英国と横浜を知る講座 参加申込方法

【申込方法】  
○事前申込制・先着順  
○メールもしくはFAXにてお申し込みください。  
○記入事項：①講座「英国と横浜を知る講座」受講希望  
②参加者全員の氏名  
③代表者の電話番号  
○手紙通訳が必要な場合は、その旨お知らせください。  
○定員超過の場合は残念。連絡はいたしませんので、お返事控えへお越しくください。

【申込先】  
〒220-8588 横浜市西区南幸2-1-1  
【連絡先】  
横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課  
(TEL) 045-671-3690 (FAX) 045-664-1588  
(Eメール) [sh-olypara@city.yokohama.jp](mailto:sh-olypara@city.yokohama.jp)

～2020年、英国事前キャンプ横浜実施決定！～

事前キャンプは、選手村に入村する前に練習や気候に慣らし、コンディションを整えるためのトレーニングです。

【実施期間】 オリンピック代表チーム：2020年7月(予定)  
パラリンピック代表チーム：2020年8月(予定)

【キャンプ予定地】 横浜国際プール(都筑区)  
慶應義塾大学の西キャンパス(横浜区)  
※最終日程等により、変更となる可能性があります。

英国事前キャンプ必須サイトにアクセス！  
英国オリンピック・パラリンピック代表チーム派遣サイト「GO・GB・2020」では事前キャンプ情報など様々な情報を発信し、応援の機運を高めています。



世界とつながろう！ホストタウン

英国と横浜を知る講座  
～英国の共生社会文化から学ぶ～

英国オリンピック委員からゲストをお迎えし、筆耕 良治氏による、英国の共生社会文化に特化した講演、英国文化を体験するプログラムを開催します。

ゲスト(予定) 講師(予定)

【日時】  
平成30年12月3日(月) 19時～20時30分

【場所・アクセス】  
横浜イギリス館(横浜市西区山手町115-3)  
○電車：みなとみらい線「西区・南幸」駅下車、徒歩約4分(山手町115-3から徒歩6分)  
○バス：山手町115-3(山手町)駅下車、徒歩約5分(山手町115-3から徒歩6分)  
※徒歩約5分は「あかねバス」で「あかねバスセンター」下車徒歩1分

【プログラム】  
19:00～20:00 ビル・スウィーニー氏によるご挨拶/筆耕 良治氏による講演  
コーディネーター：筆耕 良治氏(フットボール・マガジン社 編集長)  
20:00～20:30 ティータイム(ケルト音楽の生演奏付き)  
※英国のサーフ・コーディネーターや、ケルト音楽を愛する方が、  
お茶やお菓子をお出ししております。

【定員】  
60名(小学生未満の方はご遠慮ください)

【参加費】無料

【事前申込制】要領書をご覧ください。



2018.12.26 イベント | 横浜市

## 【横浜市イベントレポート】12月3日(月) 英国事前キャンプ・ホストタウン応援企画「英国と横浜を知る講座～英国の共生社会文化から学ぶ～」を実施しました！



横浜市では、2020 年に向け英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。

今回、英国オリンピック委員会からゲストをお迎えし、栗栖 良依氏による英国の共生社会に着目した講演、英国文化を体験するプログラムを開催しました。

当日は、事前にご応募いただいた約 50 名の方にご出席いただき、イギリス館の会場がほぼ満員となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました！

講演会の様子を少しご紹介します。

はじめに、ビル・スウィーニー英国オリンピック委員会 CEO からご挨拶をいただきました！

ビルさんからは、「東京 2020 大会は日本が持つ文化などを世界に発信する貴重な機会です。また、Team GB の若い選手にとっては、ここ横浜が来日してはじめての場所となります。東京 2020 大会が素晴らしい大会となることをお祈りしています。」とのお言葉をいただきました。

続いて、ブリティッシュ・カウンシルの湯浅 真奈美さんにファシリテーターを務めていただき、栗栖さんをご紹介いただき、講演が始まりました。

栗栖さんは、骨肉腫を発症し、手術、治療という経験を経て、2011 年に横浜ランデヴープロジェクトから生まれたプロダクトブランドとして「SLOW LABEL (スローレーベル)」を設立されました。

多くの障害者施設を訪れ、様々な人々との出会いを通して、一人ひとり違うことのすばらしさに気付いたそうです。

そして、2012年ロンドンパラリンピックの閉会式では、障害者が特別な存在としてではなく、パフォーマンスに参加している様子に驚き、日本・横浜でもできるのではないかと2014年に「ヨコハマパラトリエンナーレ」を立ち上げてSLOW LABELをNPO法人化（※1）しました。そして、表現者として舞台に立ちたいと願う誰もが、障害を理由にあきらめなくてすむ環境をつくる、ことを目標に、東京2020大会に向けて、障害のある人のパフォーマンスを支援する「アクセスコーディネーター（※2）」「アカンパニスト（※3）」といった人材の育成にも着手されているそうです。

栗栖さんは、2016年のリオパラリンピックのフラッグハンドオーバーセレモニーでは、ステージアドバイザーを務められました。

その後は、エアリアル（舞台での空中演技）を使ったトレーニングを日本で取り入れるため、障害のある人を指導できる指導者をまず日本で育成したいと考え、イギリスの指導者を招き、指導者育成に取り組んでおられます。これまでもイギリスのアーティストチームに協力していただき、今後も引き続き積極的に取り組んでいきたいとのこと。

目指しているのは、2021年以降、障害のある人が、自分の住んでいる地域で、自分の好みやレベルに応じたプログラムに障害のない人に混ざって参加できるようになること、と話されています。

- ※1 現代社会のファストな動きを少しゆっくり（スロー）にしてみると、だれもが生きやすい社会になるのでは、との考えから設立されたNPO法人。アートのかで多様性と調和のある社会の実現を目指す。
- ※2 障害のあるアーティストが舞台上がるまでのバリアを取り除き、創造性が発揮できる環境を整える人材。
- ※3 障害のあるアーティストと一緒に舞台上がり創作の可能性を一緒に広げる伴走者。



講演の後は、同じく Team GB の事前キャンプ地となることが決まっている慶應大学のケルト音楽愛好会の皆さんによる演奏です。この日のために、イングランドの楽曲も練習を積んできてくれました。



ティータイムのご協力は、Design Team Liviu の皆さんで夜の時間に合う、少しボリュームのある英国の代表的なメニュー（ミンスパイ、ソーセージパイ、ショートブレッド）を用意してくれました。本当のアフタヌーンティーは、もっと豪華なもので、ちょっと違うとのこと。次回は、本物のアフタヌーンティーもぜひ、体験してみたいですね。



12月、山手西洋館8館では、世界のクリスマス 2018 を実施しています。当日、イギリス館では、Design Team Liviu の葛西さんと石畑さんによるイギリス風の素敵なクリスマス装飾で彩られています。その一部を会場でも展示していただきました。



講演、演奏、ティータイムとイギリスが満載な、盛り沢山のイベントでした。次回をお楽しみに！



2019.02.04 ニュース | 横浜市

## 内閣官房ホストタウンアクション／日英交流年 UK in Japan 2019-20 プレ企画 公民連携でインナーハーバー地区の再生を考える共創ラボを開催します！



横浜市の英国ホストタウンアクション第2弾として、ダイバーシティ、インクルージョン、オープンイノベーションの視点から、インナーハーバー地区（横浜駅周辺、新高島地区、ポートサイド地区等）を公民連携でどのように再生していくかをテーマとし、関連する企業やNPO、学校教育機関等と共にワークショップやフォーラム（「共創ラボ」）を開催します。

今回の「共創ラボ」では英国よりグローバル・ディサビリティ・イノベーション・ハブ（GDI-Hub）のイアン・マッキノン氏をお招きし、ロンドン2012オリンピック・パラリンピックの開催を契機として誰もが住みやすい街づくりを実現した英国の事例を伺います。

貴重なお話をお聞きする機会ですので、ぜひお越しください！

### 【概要】

日時：平成31年2月6日（水）10時～20時

会場：横浜駅周辺（パナソニックリビングショウルーム横浜、情報科学専門学校等）

ゲスト：

【2・3部のみ】イアン・マッキノン氏（GDI-Hub オペレーション・ディレクター）

【3部のみ】藤原 徹平氏（横浜国立大学大学院建築都市スクール(Y-GSA)准教授）

## 【プログラム】

### 第1部：10:00~12:00

パナソニックリビングショウルーム横浜会議室

#### <セッション1>

誰もが快適かつ安全に生活できるインナーハーバー地区をテーマとして、NTTによる心のバリアフリー・障害理解研修のほか、関係事業者や住民、学生、行政職員等で話し合います。

### 第2部：14:00~16:30

インナーハーバー地区（横浜駅構内を除く）

※14時にパナソニックリビングショウルーム横浜にお越しください

#### <ワークショップ>

グループに分かれ、NTTの情報収集技術を使用してインナーハーバー地区（横浜駅周辺、新高島地区、ポートサイド地区）のまちあるきを行い、バリアフリー情報を収集します。

### 第3部：17:30~18:00 / 18:00~20:00

情報科学専門学校8階 大会議室

#### <基調講演>

イアン氏に英国におけるインクルーシブデザインの具体例等をお話しいただきます。

#### <セッション2>

横浜国立大学大学院建築都市スクール(Y-GSA)准教授の藤原徹平氏とイアン氏の対談を軸に、オープンイノベーションのプラットフォームとしてのインナーハーバーの可能性について議論します。

## 【参加申込方法】

- 事前申込制・先着順（100名程度）、参加費無料
- メールもしくはfacebook イベントへの「参加する」表明によりお申し込みください。「第1部」、「第2部」、「第3部」それぞれの部のみの参加も可能です。
- メール申込みの場合は件名に「2/6 共創ラボ参加希望」、本文に参加するプログラム（第〇部）を記載。
- 手話通訳が必要な場合は、その旨お知らせください。
- 定員超過の場合を除き、連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。

## 【締切】

平成31年2月5日(火) 17時まで

## 【申込先】

メール：[localgood@yokohamalab.jp](mailto:localgood@yokohamalab.jp)

facebook イベント：<https://www.facebook.com/events/1110928075735697/>

## 【主催】

横浜市（政策局・市民局）、横浜国立大地域ブランドラボ

## 【協力】

駐日英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、情報科学専門学校、日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、LOCAL GOOD YOKOHAMA、横浜リハビリテーション専門学校

## 【ゲスト紹介】

### イアン・マッキノン氏 (GDI-Hub オペレーション・ディレクター)

英国のクイーンエリザベス・オリンピック・パークを手がけるロンドンレガシー開発公社 (LLDC) にてインクルーシブデザインを指揮。英国アクセスコンサルタント (NRAC) のメンバーとして、複合施設の基本計画、新旧建築物、製品から会場やライブイベントの運営面まで、幅広いプロジェクトに対して創造的かつ革新的なソリューションを案出し、インクルーシブデザインに関するアドバイスを提供している。

これまでの経験を踏まえ、現在は「人々のためのデザイン」に対する考え方やアプローチを、建築、都市、製品、サービス、デジタル、ファッション、グラフィックといったあらゆる分野のデザイナーとともに変えていくことを目指している。また、障害のある人々や高齢者のニーズを尊重し主流化することが、結果的にあらゆる人の生涯にわたる豊かな暮らしにつながることを強く提唱している。

## 【グローバル・ディスアビリティ・イノベーションハブ (GDI-Hub)】

2012年ロンドンパラリンピック競技大会の主要なレガシープロジェクトの一つとして設立された。大学および文化機関の協働組織としてクイーン・エリザベス・オリンピック・パークを拠点に、地域コミュニティ、研究者、専門家、障害のある人々を結びつけ、ロンドン2012パラリンピック競技大会によって培われた経験と、障害に関する最先端の専門性を融合することで、さらなるイノベーション、共同デザイン、クリエイティブ・シンキングをグローバルに推進している。

## 【会場】

### ■パナソニックリビングショウルーム横浜

住所：横浜市神奈川区金港町 2-6 横浜プラザビル 1F

### ■情報科学専門学校

住所：横浜市神奈川区鶴屋町 2-17 相鉄岩崎学園ビル

リンク：横浜市記者発表

(<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/press/201902/20190201-031-28971.html>)

2019.02.24 イベント | 横浜市

## 日英交流年 UK in Japan 2019-20 プレ企画 Gap を超えて～ストップギャップ ダンスカンパニー講演会～を開催します！



横浜市のホストタウンとしての取組第3弾として、「Gap を超えて」をテーマに、英国の「ストップギャップ ダンスカンパニー」をお迎えし、そのインクルーシブなビジョンや活動内容についてお話しいただく講演会を開催します。

「ストップギャップ ダンスカンパニー」はイングランドを拠点に、障害のある／なしを越え、参加するアーティストが丸となって新しい舞台の創造に取り組むダンスカンパニーです。

人々の勇気やもろさ、さまざまな人間模様を描き出す詩的でエモーショナルな作品はイギリス全土で旋風を巻き起こしてきました。未来のアーティストたちの育成やアウトリーチ事業など、誰もがダンスを楽しめる環境づくりや人々の既成概念を取り除くことに努めてきた彼らのパイオニア精神は、社会教育の現場でも高く評価されています。

貴重なお話を聞ける機会ですので、ぜひお越しください！

### 【概要】

#### 日 時：

平成31年3月4日（月）18時～19時30分（開場17時30分）

#### 会 場：

慶應義塾大学日吉キャンパス協生館2階 多目的教室1（港北区日吉4-1-1）

**ゲスト：**

ストップギャップ ダンスカンパニーから3名のゲスト

- ・ ルーシー・ベネット氏/ストップギャップ ダンスカンパニー芸術監督
- ・ デーヴィット・トゥール氏/ストップギャップ ダンスカンパニー メンバー
- ・ 柴田 翔平氏/ストップギャップ ダンスカンパニー エグゼクティブ・プロデューサー

**モデレーター：**

横山 千晶氏（慶應義塾大学法学部教授）

**プログラム：**

ストップギャップ ダンスカンパニーによるプレゼンテーション / 会場の皆様とのトークセッション

**【参加申込方法】**

- ・ 事前申込制・先着順（60名程度）、参加費無料
- ・ 「参加申込フォーム」もしくは「FAX」によりお申し込みください。
- ・ FAXの場合は次の記入事項を記載して（045-664-1588）まで送付ください。
- ・ 「ストップギャップ ダンスカンパニー講演会申込」

（1）参加者の氏名

（2）参加者の電話番号

※定員超過の場合を除き、連絡はいたしませんので、直接会場へお越しくください。

※手話通訳が必要な場合は2月28日までにその旨お知らせください。

**【締切】**

平成31年3月1日(金) 17時まで

**【申込先・問合せ】**

○参加申込フォーム：

<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/form.do?id=1550626483976>

○FAX:045-664-1588 ○TEL:045-671-3690

(市民局オリンピック・パラリンピック推進課)

**【主催】** 横浜市、ブリティッシュ・カウンシル

**【協力】** 世田谷パブリックシアター

**【会場】** 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館（横浜市港北区日吉4-1-1）



## 【ストップギャップ ダンスカンパニー ゲスト紹介】

### ルーシー・ベネット氏

2003年よりストップギャップに参加。アダム・ベンジャミン、ホフェッシュ・シェクター、ナタリー・ペルネット、トーマス・ヌーンらの作品などに参加する一方、自らの振付作品を発表。カンボジアのエピック・アーツへの振付や、パラリンピックのためのリバティー・フェスティバル、UKカルチュラル・オリンピアドのための作品を発表。レジデント・コリオグラファーを経て、12年よりカンパニーの芸術監督に就任。

### デーヴィッド・トュール氏

英ラパンセンターでダンスを学び、1993年よりカンドューコ・ダンスカンパニーに参加。グレイアイ・シアター、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーなどに出演。DV8が制作したシドニー・オリンピックのための作品『Can We Afford This?』に参加。2012年のロンドン・パラリンピックの開会式ではソロパートを務める。俳優として、サリー・ポッター監督『タンゴ・レッスン』などにも出演。

### 柴田 翔平氏

幼少期よりテレビや映画、舞台などに出演。1995年より渡英し、2005年ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス卒業。研究テーマは、「社会環境における差別及び隔離化がいかにして生まれるのか。」卒業後は、アーツカウンシル・イングランド（サウス・イースト）に勤務し、2008年よりストップギャップ ダンスカンパニーに参加。ツアーマネジメント、アウトリーチ事業の他、様々なダンスプロジェクトを手掛ける。2009年より、ストップギャップの野外プロダクションの製作をスタートさせ、2012年にはロンドンオリンピック・パラリンピックのための文化プログラムへと発展、大成功を収める。カンパニーのフルタイム シニア・マネージャーを経て、現在はエグゼクティブ・プロデューサー。

## 【モデレーター】

横山 千晶氏（慶應義塾大学法学部教授）

専門は19世紀ヴィクトリア朝の文化。特にジョン・ラスキンやウィリアム・モリスを中心とした社会思想家が始めた社会と芸術の関係性の構築、及び19世紀の労働者を対象とした芸術教育を研究テーマとしている。

近著に『ジョン・ラスキンの労働者教育―「見る力」の美学』（慶應義塾大学教養研究センター、2018年）がある。



2019.03.01 ニュース | イベント | 横浜市

「芸術と社会をつなぐ―平等・多様性・包摂が開く、私たちの未来 ~日本とスコットランドの実践から~」を横浜で開催しました！



横浜市では、2020 年に向け英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。

2019 年 2 月 19 日~21 日、今回スコットランドの文化芸術機関クリエイティブ・スコットランドよりミリカ・ミロシェビッチ氏をお迎えし、また日本国内からのゲストと共に文化芸術における平等、多様性、包摂 (Equalities, Diversity and Inclusion)※以下「E D I」についてのフォーラムとその実践に向けたワークショップを開催しました。



ミロシェビッチ氏は「英国では人々が文化芸術に関わることで、生活の質を向上させるという研究が、長年行われてきました。どうすれば人々が平等に生きられるのか、E D Iを通して考えてほしい。」と文化芸術事業の重要性を訴え、「英国では、E D Iがそれぞれの文化芸術事業で達成されているかどうかを必ず確認します。そうすることで、その政策に何が足りないのかを戦略的に考えることができる」と、その重要性を説きました。

たとえば、バレエ団が高齢者のダンス教室を提供したり、美術館で展覧会を開いた高齢者らがその様子をドキュメンタリー作品として制作したりするなど、平等、多様性、包摂を文化政策の中心に位置づけて実践しているとミロシェビッチ氏は言います。こうした取組は、アートが人々の自己肯定感や、健康面の向上にどう結び付くのか、客観的データとしても蓄積され、新しい政策にも生かされているそうです。





フォーラム・ワークショップ共に、先進的な取組を学ぼうと、文化事業に関わる専門家らが、全国から参加し、「芸術へのアクセス面について、これまで以上に意識的に取り組みたい」「アートで社会課題を積極的に解決したい」といった感想が寄せられました。



2019.03.31 ニュース | イベント | 横浜市

**英国事前キャンプに向けて、都筑区では日本と英国の文化交流講座など  
様々な取り組みを実施しました！**



## 1 文化交流講座「日本とイギリス 文化の融合 コッツウォルズストーンと苔玉づくり」

日本と英国、両国で盛んな『自然を活かす』文化をテーマとしたイベントを開催しました。都筑民家園で開催されたイベントにはドイツ、スペイン、インドなどの外国人も参加し、苔玉づくり、ボタニカルアート（植物画）、茶の湯を通じた交流が行われました。



苔玉づくり



ボタニカルアート



茶の湯

## 2 “GO GB 2020”階段装飾

英国オリンピック代表チーム（Team GB）、英国パラリンピック代表チーム（ParalympicsGB）をお迎えするため、横浜市営地下鉄グリーンライン北山田駅から横浜国際プールへと向かう大階段に、英国を応援するメッセージ“GO GB ”を設置しました。



### 3 区民まつりでの英国ホストタウン PR

都筑区民まつりに、英国代表チームの事前キャンプ地となる慶應義塾大学の KEIO 2020 project の学生に協力をいただき、PR ブースを出展しました。英国の紅茶や紹介パネルなどでホストタウンを PR しました。



2019.04.25 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## GO GB 2020 新コンテンツ公開

以下のコンテンツを新たに公開しましたのでご紹介します。

### ■英国代表チームを応援する

「英国代表チームを応援する」の「英国代表チームについて」では、英国代表チームのこれまでの活躍をインフォグラフィックで紹介しています。「選手紹介」は後日公開予定です。

### ■GO GB コラム

事前キャンプで使用する施設や周辺にある英国ゆかりの地を紹介しています。今後は英国代表チームに関する記事など、テーマも増える予定です。

### ■GO GB 応援ムービー

横浜市・川崎市・慶應義塾大学が「GO GB」を合言葉に英国代表チームを応援する動画を製作しました。皆さんも一緒に英国代表チームを応援しましょう！

これからもニュースやコラムを発信していきますので、楽しみに！

2019.05.07 イベント | 横浜市

## 【横浜市イベントレポート】英国船籍の豪華客船「クイーン・エリザベス」が3年ぶりに横浜に寄港！～英国事前キャンプ・ホストタウンをPR～



10連休となった今年、ゴールデンウィーク期間中の横浜港(大黒ふ頭、大棧橋ほか)には、様々なクルーズ船が寄港しました。その中で3年振りにイギリスの豪華客船「クイーン・エリザベス」が大黒ふ頭に寄港しました。



3年ぶりに寄港したクイーン・エリザベス@スカイウォークから



横浜ベイブリッジの下を船が通過するのを間近に見られる展望台

また、2010年9月に閉鎖されて利用を休止していた「スカイウォーク」が、大黒ふ頭に着岸するクルーズ船やベイブリッジの下を通過するクルーズ船の見学施設として一部開放、利用が再開されました。それらを目的にいらした 客船ファンや、客船見学会の一般参加者の皆さんが多く訪れました。

ブースでは、2020年に事前キャンプ地に決定し、また、ホストタウンとしても登録されている英国チームと横浜のつながりなどのパネルを展示し、受け入れ体制や施設についてもお知らせする機会となりました。

多くの市民の皆様が英国事前キャンプを受け入れる横浜として、今後、英国代表チームがやってくるこの機会に、英国の選手との交流や、文化を体験するプログラム等を開催するなど、豊かな英国文化に触れて楽しんでもらえるようPRしました。



客船を見学に来られた一般参加者向けに英国事前キャンプのPRブースを出展。



クイーン・エリザベスを背景に GO GB を P R !

「クイーン・エリザベス」を背景に、イギリスと横浜をつなぐ親善大使の「ひつじのショーン」のパネルのフォトスポットが大人気。「GO GB」を掲げて写真を撮って頂いた皆様にグッズをプレゼントするなど、豪華客船に想いを馳せる来場者の皆様へ、英国事前キャンプについて PR しました。

2019.05.20 イベント | 横浜市

【横浜市イベントレポート】ローズ&ガーデンマーケットで英国事前キャンプホストタウンを PR!!～英国と横浜をつなぐ親善大使のひつじのショーンが大活躍!～



この週末は、毎年恒例の2019ITU世界トライアスロンシリーズ・パラトライアスロンシリーズ横浜大会も開催されており、世界の鉄人アスリートを応援に来られる市民や観光客で賑わっていました。

また、今回初開催となる「横浜ローズウィーク」の一環で日本大通りにおいてローズ&ガーデンマーケットが開催され、英国事前キャンプホストタウンをPRするブースを出展させていただきました。

ここでは、英国事前キャンプについてのパネルを展示し、英国と横浜をつなぐ親善大使の「ひつじのショーン」のオリジナル缶バッジのワークショップを実施。また、折り紙で作ったバラに英国チームへメッセージを書くなど、多くの方に参加していただきました。



ワークショップで作成したひつじのショーンとGO GBのオリジナル缶バッジ！



親子でショーンの缶バッジを作成し大喜び！





ひつじのショーンの缶バッジのワークショップに長蛇の列！



バラをかたどった折り紙に英国チームへメッセージを書いていただきました。

また、「ひつじのショーン」も大きなバラの花を持って登場し、「GO GB」を合言葉にショーンと一緒に写真を撮るなど、英国事前キャンプのPRと賑わいづくりに大活躍でした。

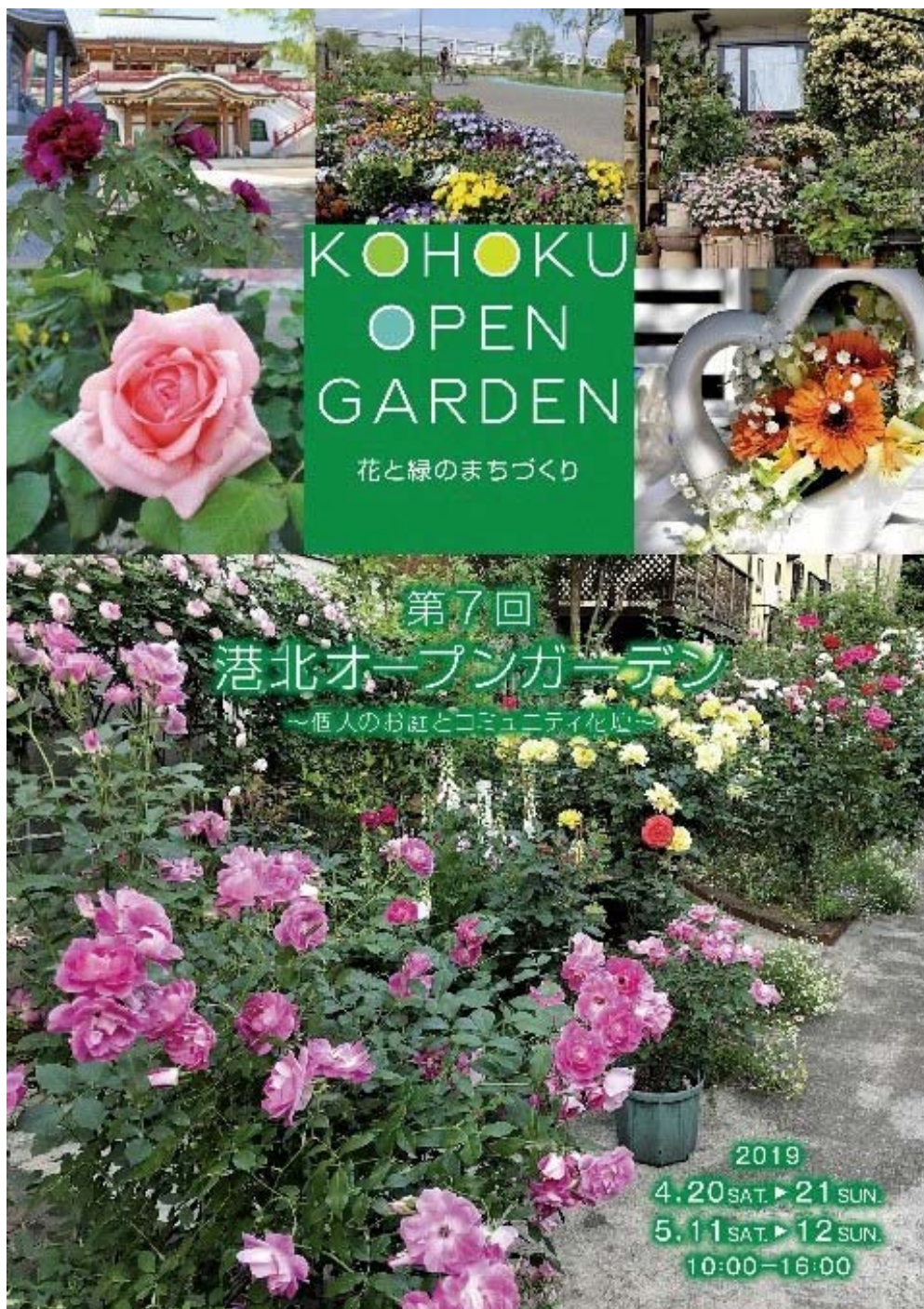
多くの来場者にご参加頂き大盛況の2日間でした。



ひつじのショーンとワンちゃんも仲良くツーショット！

2019.05.31 イベント | 横浜市

## 【横浜市レポート】第7回港北オープンガーデンを開催しました！



平成31年4月20日（土）・21日（日）、令和元年5月11日（土）・12日（日）に「第7回港北オープンガーデン」を開催しました。

オープンガーデンとは、ガーデニングの盛んな英国で始まった、個人の庭を一般に開放して、訪れた人との交流を深めながら季節の植物を楽しむイベントのことです。7回目の開催となった今回は、過去最多の100会場が参加しました！



英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」と「港北区ミズキー」がコラボレーションし、参加会場を回るスタンプラリーや着ぐるみとのグリーティングも実施しました。

4日間合計で約 8,400 人に来場いただき、大変盛り上がりました！

2019.06.04 イベント | 横浜市

## 【横浜市イベントレポート】2019 世界トライアスロンシリーズ横浜大会・世界パラトライアスロンシリーズ横浜大会 英国トライアスロンチーム・パラトライアスロンチームとの交流



大会前日の 5 月 17 日(金)に、英国トライアスロンチーム・パラトライアスロンチーム 17 人と横浜市立本町小学校 5 年生 30 人の児童の皆さんとの交流プログラムを実施しました。

交流会会場では、本町小学校の児童の皆さんが「GO GB」の旗を振って英国選手をお迎えしました交流会のスタートです。



はじめに ITU 事務局長からごあいさつ



5つのグループに分かれて積極的に質問を投げかけていました。

英国チーム自己紹介ののち、5つのグループに分かれて生徒たちの自己紹介。英語でチャレンジする児童も多く選手も熱心に耳を傾けてくれました。

児童から選手への質問では、「競技を終えた時はどんな気持ち?」「もし、自転車がこわれちゃったら、どうする?」「トライアスロンをはじめたきっかけは?」「3種目(水泳・自転車ロードレース・長距離走)の中で、いちばん大変な種目は?」など質問が飛び交い、選手の皆さんの答えを真剣にメモを取っていました。



優しく答える英国選手

また、選手たちにお気に入りの応援フレーズを教えてください、各グループごとに発表！「GO GB!」「Come on!」「Let's Go GB!」「ICE (S)CREAM!」などグループごとにまとめた内容を児童の皆さんは立派に発表してくれました。



最後に、四季の森小学校の児童の協力で作成してくれた花の写し絵カードに、児童が英国チームあてにカードにメッセージを書いてプレゼント。



児童のメッセージカードをプレゼント！

更に本町小学校の児童から、歌と踊りと応援のプレゼントに英国選手の皆さんは大喜びでした。そして、レース前の緊張がほぐれた選手等全員で記念写真を撮って、ハイタッチで選手たちを送り出しました。



児童全員で英国チームの皆さんに歌とダンスでエールを贈りました



最後はハイタッチでお見送り。

2019.06.21 ニュース | イベント | 横浜市

## 【横浜市イベントレポート】「2019 ふるさと港北ふれあいまつり」で英国事前キャンプPRブースを出展しました!



令和元年6月1日(土曜日)、晴天の中「港北区制80周年記念2019ふるさと港北ふれあいまつり」が開催され、英国事前キャンプPRブースを出展しました。

ブースでは、同じく英国代表チーム事前キャンプを受け入れる慶應義塾大学から、学生によるサポートプロジェクト「KEIO 2020 project」の皆さんと一緒に、紅茶の試飲、クロッケー体験、ロンドン街並み輪投げ、ひつじのショーンのフォトスポットなど英国文化を体験するプログラムを実施しました。

おまつりは約5万人の方が来場し、ブースにも約500人の方に訪れていただきました!

クロッケーを初めて体験する方も、ひつじのショーンパネルと一緒に写真を撮る方も、笑顔にあふれていました。



2019.10.08 ニュース | イベント | 横浜市

## 【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第1弾！】横浜国際プールで英国水泳代表チームのプレ事前キャンプが行われました！



2019年7月8日(月)～16日(火)に、2019年世界水泳選手権（7/12～28に韓国・光州で開催）に向けた英国水泳代表チームのプレ事前キャンプが横浜国際プール（横浜市・都筑区）で行われました。

英国代表チームは総勢 56 人が来日（選手 30 人・スタッフ 26 人）。ボランティアとして、総勢 33 人の方々にお手伝いいただき、9 日間に渡り英国選手の皆さんのトレーニングをサポートしました。

7月8日(月)、キャンプ初日の朝は、近隣小学校の児童の皆さんが「GO GB」の旗などを手に、チームの皆さんをお出迎え。選手もスタッフも、子どもたちの歓迎ぶりに、思わず笑みがこぼれ、初日のトレーニングに向け、国際プールへと入って行きました。



近隣小学校児童の皆さん、およそ 370 名でお出迎え



横浜国際プールでは、選手たちの活躍を願って、英国チームが主に使用するメインプールを中心に、英国旗や応援旗、児童有志によるガラスアートなどで装飾。沢山の英国旗や GO GB のメッセージで応援を伝えました。



メインプール装飾の一部

キャンプ期間中には、地元の子どもたち向けに公開練習なども実施したほか、トレーニングの合間には、英国チームの皆さんに少しでも日本文化を体験していただこうと、着付け、書道、折り紙など日本文化を体験できるプログラムを用意しました。



英国代表チームのトレーニングの様子



公開練習の様子



選手たちが着物に挑戦！

キャンプ最終日には、子どもたちによる歓送セレモニーを実施しました。子どもたちからはリコーダー演奏をプレゼントするなど、キャンプ後に世界水泳に挑む選手たちにエールを送りました。選手はもちろん、スタッフの方々も終始リラックスした様子で、横浜での9日間の事前キャンプを終え、韓国・光州で行われる世界水泳 2019 へいざ出発！



歓送セレモニーの様子



英国チームからのお礼のメッセージ

後日行われた世界水泳大会では、リオ 2016 大会の金メダリスト、アダム・ピーティ選手が、得意の平泳ぎで世界新記録をマークするなど英国チームは活躍し、獲得したメダル数は合計 7 個（金・3 個／銀・1 個／銅・3 個）！

2020 年に向け、多くの収穫のあるプレ事前キャンプとなりました。

第 2 弾では、公開練習の詳細についてお伝えします！

2019.10.15 ニュース | イベント | 横浜市

## 【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第2弾！】公開練習に総勢 700 名の子どもたちが参加しました！



7月8日(月)～16日(火)、横浜国際プールで行われた英国水泳代表チームのプレ事前キャンプ。キャンプ期間中の7月12日(金)と13日(土)には公開練習を行いました。

オリンピックのメダリストも多数在籍する英国の水泳代表チーム。

参加した総勢 700 名の子どもたちは、世界的なトップアスリートたちの生の泳ぎを間近で見学しました。



選手たちのトレーニングの様子を見守る子どもたち

まずは、横浜国際プールの林支配人による解説を聞きながら、選手たちの迫力ある泳ぎを見学。選手たちがリレーの練習やタイムをとる練習を始める時は英国チームのスタッフたちが教えてくれ、子どもたちも「GO GB!」の掛け声とともに、熱心に声援を送っていました。

その後、英国チームのスタッフやトレーニングを終えた選手が、子どもたちがいる観客席まで来てくれ、子どもたちからの質問に答えてくれました。



選手たちとの質疑応答の様子

選手たちへの質問タイムでは、

「一日の練習時間はどのくらいですか？」や「どうして水泳を始めようと思いましたか？」

「どうやったら練習に集中できますか？」など、多くの質問が飛び交っていました。

リオ 2016 大会で銀メダリストのジェームス・ガイ選手は、「僕は 3 才までは、まったく泳げず金槌だった。でも学校に通うようになって、水泳の楽しさを知り、地元の大会に出られるように頑張って練習を積み重ねた結果、今の僕がある」と、何事にも日々の努力が大事だということ子どもたちに教えてくれました。

最後は、選手の皆さんが子どもたちに交じって、記念撮影。



貴重な体験をした子たちは、みんな笑顔で会場を後にしました。

第3弾では、英国選手への日本文化体験の様子をお伝えします！

2019.10.21 ニュース | イベント | 横浜市

## 【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第3弾！】英国水泳チームが日本文化を体験！



英国水泳代表チームのプレ事前キャンプ中には、7月12日(金)と15日(月)の2日間、英国チームに向けた日本文化の体験プログラムを実施しました。

今回、英国チームの皆さんに日本文化を味わっていただこうと用意したのは、着付け体験、書道レッスン、折り紙レッスンの3つのブース。それぞれのブースでは、都筑区で活動する講師の先生方にご協力いただきました。

トレーニングの合間に設けられた日本文化体験プログラム。休憩時間とあって、リラックスした様子の選手やスタッフの皆さんが、ブースに立ち寄ってくれました。

女性に人気だったのは、浴衣・着物の着付け体験。鮮やかな色合いの着物の袖に手を通し、皆さん、思い思いのポーズで写真を撮っていました。



折り紙レッスンでは、皆さん、折り鶴に挑戦。初めての折り紙に少々苦戦しながらも、色とりどりの折り鶴を綺麗に作っていました。



先生ご持参の折り紙作品にも皆さん感嘆していました

書道体験では、英語で意味が添えられた漢字リストから、思い思いの漢字を選んだり、自身の泳法の漢字を聞いて、はがきに筆ペンで清書。特に人気があったのは、名前を漢字で書くプログラムで、書道の講師の方に自分の名前を漢字で書いてもらい、その後何度も熱心に練習していました。自分だけではなく、家族や友人の名前などをカードに書いて持ち帰っていく選手も。



慣れない環境の中、毎日非常にハードな練習メニューをこなす選手たちにとって、この日本文化体験プログラムが憩いの場となっていたら幸いです。

第4弾では、横浜国際プールの装飾についてお伝えします！



2019.10.29 ニュース | イベント | 横浜市

## 【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第4弾！】横浜国際プールが英国歓迎ムード一色に！



9日間に渡る英国水泳代表チームのキャンプ期間中は、歓迎の気持ちを伝え、世界水泳での英国選手の皆さんの活躍を願うため、会場となった横浜国際プールを様々な形で装飾しました。

まずは、横浜市営地下鉄グリーンライン北山田駅から横浜国際プールまでの長い階段に、近隣の住民の方々のご理解、ご協力のもと、のぼり旗と階段装飾を設置。



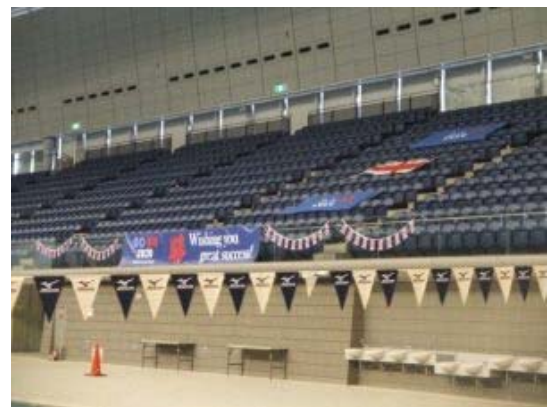
北山田駅から国際プールまでの階段装飾

車両で入ってくると一番に目に入る、横浜国際プール正面入り口のポールには、英国旗と横浜国際プールの旗が掲げられました。



正面入口ではためく英国旗

英国水泳チームが練習するメインプール内には、選手の皆さんに応援の気持ちを伝えるため、GO GB 2020の大きな応援バナーや「勝」と書かれた横断幕、英国の国旗ユニオンジャックを飾りました。



英国選手が主に利用するメインプール内装飾

選手やスタッフが使用するミーティングルームのガラスには、都筑区の子どもたちが作成してくれた、英国と横浜のモチーフをふんだんに取り入れた、色鮮やかなガラスアートを設置し、おもてなしました。



選手が SNS にも上げてくれた GO GB ガラスアート

一般のお客様も出入りする正面ロビーには、キャンプ期間前から英国応援ブースを設置。英国や英国と横浜のつながりを紹介する PR パネルや、英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」のフォトパネルが置かれたほか、英国ぬりえのコーナーが登場！国際プールに来場した子どもたちがたくさん英国ぬりえを作ってくれ、前を通る選手のみなさんも嬉しそうに眺めていました。



メインプール入口前装飾



完成した英国ぬりえはプールの壁に展示！

最後のレポート、第5弾では歓送セレモニーについてお伝えします！

2019.11.05 ニュース | イベント | 横浜市

## 【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第5弾！】 歓送セレモニーを行いました！



キャンプ最終日の7月16日(火)、世界水泳に向けた9日間に渡るキャンプを終えた英国代表チームの皆さんを送り出すため、近隣小学校の児童の皆さんによる歓送セレモニーを行いました。

横浜国際プールコーラスクラブの皆さんによる『Believe』の合唱にのせ、最終日の練習を終えた英国チームの皆さんが入場。



北山田小学校の皆さんからは、選手たち1人1人へのメッセージカードが贈られ、東山田小学校の皆さんはリコーダーで『世界の約束』の演奏をプレゼント。



続いて、横浜市（オリンピック・パラリンピック推進部・沼上部長）より、英国チームの皆さんに、激励の言葉とともに記念品を贈呈。



英国代表チームのリーダー、クリス・スパイスさんからは、お礼の言葉とチームの皆さんが寄せ書きをしたメッセージボードをいただきました。

最後に、全員で記念撮影。





子どもたちが花道を作ってくれ、英国チームの皆さんを無事に送り出すことが出来ました。

セレモニーに参加してくれた選手・スタッフは皆さん笑顔で横浜国際プールを後にしました。

9日間に渡る、横浜国際プールでの初めての英国事前キャンプは、2020年に向け様々な側面でコミュニケーションをする事ができる貴重な機会となりました。



児童の皆さんから選手たちへ贈られたメッセージカード

次回は1年後、いよいよ東京2020大会に向けた事前キャンプです！  
これからも英国代表チームの応援をよろしくお願いします！

2019.11.11 ニュース | イベント | 横浜市

## ～日英交流年「UK in JAPAN 2019-20」～ B B Cスコティッシュ交響楽団の演奏者と横浜市内の小学生が音楽で交流



在日英国大使館とブリティッシュ・カウンシルが今年9月から1年間開催する日英交流年「UK in JAPAN 2019-20」の一環として、英国で125年の歴史を持つ、世界最大級のクラシック・ミュージック・フェスティバル「BBC Proms」が、日本で初めて開催されました。

開催に伴い初来日した「BBCスコティッシュ交響楽団」の演奏者と、北山田小学校4年生（93人）、東山田小学校5年生（110人）がそれぞれ、音楽による交流を10月28日（月）に行いました。

児童がスコットランドの旗やウェルカムボードを掲げてお迎え。演奏者の皆さんも笑顔で児童の前に出て、ハイタッチしたりするなどすぐに打ち解けました。



交響楽団からあいさつがわりの演奏で、交流がスタート！

はじめに、ラヴェルの「マザー・グース」から2曲「眠れる森の美女のパヴァーヌ」と「妖精の園」が演奏されました。児童たちは間近で、演奏にとっても興味深く耳を傾けていました。



つづいて、演奏者7人がそれぞれ自己紹介と楽器を紹介！楽器は、フルート、ホルン、トランペット、バイオリン、ビオラ、チェロ、パーカッションです。



BBCスコティッシュ交響楽団では、子どもや高齢者、障害者など、多様な方々との音楽を用いたワークショップを盛んに行っています。今回の交流の中でも、楽器を使わず、声や、体を叩いて音を出すボディパーカッションを使って、短い時間ながら全員で「コネクトイット」という一つの曲を作り上げました。





みんなでからだを動かした後は、交響楽団から、ムソルグスキー「展覧会の絵」から3つの曲「プロムナード」「古城」「卵の殻をつけた雛の踊り」が演奏されました。



最後は、スコットランドの伝統音楽の演奏にのって、児童たちの踊りで締めくくりました！



音楽交流の後、北山田小学校では、演奏者が各クラスに分かれて児童たちと一緒に給食を取りました。児童が英語で一生懸命話しかけたり、演奏者の皆さんにお箸の使い方を教えたり、お豆をお箸でつまむ難しさを楽しんだり、笑い声が絶えませんでした。



BBCスコティッシュ交響楽団の皆さんも、初めての日本で、横浜の子どもたちとの素晴らしい交流を持ってたことをとても喜んでくださいました。

貴重な機会をありがとうございました！横浜市としても、引き続き英国との様々な分野での交流に取り組んでいきます。



---

## BBC Proms

1895年からロンドンを中心に毎年夏に行われる、世界最大級のクラシック・ミュージック・フェスティバル。「大和証券グループ presents BBC Proms JAPAN 2019」として、2019年10月30日から11月4日まで東京と大阪の2都市でアジア初の開催。世界中で活躍する音楽家が幅広いジャンルで、若者からファミリー層まで魅了する公演を提供。教育プログラムやアウトリーチも推進している。

## BBCスコティッシュ交響楽団

1935年に結成され、グラスゴー市を本拠地とするスコットランドの国立放送管弦楽団で、スコットランド、英国および国外で演奏している。「BBC Proms」には1962年より出演。

2019.11.17 ニュース | イベント | 横浜市

## 英国選手に手紙を書こう！ in 都筑区民まつり ひつじのショーンも活躍！



11月3日（土）に行われた「第25回 都筑区民まつり」に、英国事前キャンプ・ホストタウンPRブースを出展しました。

都筑区民まつりは18区の中でも来場者数の最も多い区民まつりです。

今年もセンター南とセンター北を会場に沢山のブースや、ステージなどで多くの区民の皆さんで賑わいました。

今年の英国事前キャンプ・ホストタウンPRブースは、センター北駅前の会場で、日本郵便のみならずにもご協力いただき、横浜に事前キャンプに来る英国チームや選手への応援メッセージを書くワークショップを行いました。

参加者の皆様は、間近に迫ってきた東京2020大会に出場する、英国チームの選手への熱いエールを贈るメッセージや、地元都筑区の見どころ紹介したり、ユニオンジャックや英国と横浜をつなぐ親善大使のひつじのショーンを描くなど、多くの方に参加していただきました。

書いていただいたお手紙は今後、事前キャンプの際に展示し、英国チームの選手等にも見てもらう予定です。



当日のPRには、英国と横浜をつなぐ親善大使のひつじのショーも大活躍！

G O G Bを掲げ、区民まつりの会場を歩いて握手や写真を撮るなど英国事前キャンプのPRに一役買ってくれました。



2019.11.22 ニュース | 横浜市

## 【横浜市】11月5日（火）英国オリンピック委員会（BOA）新CEO アンディ・アンソン氏が林文子横浜市長を訪問されました



11月5日（火）、英国オリンピック委員会（BOA）の最高経営責任者（CEO）に就任したアンディ・アンソン氏が、シャハブ・ウディン法務局長とともに、林文子横浜市長を表敬訪問されました。



アンソン氏は、2019年5月にCEOに任命され、同年11月1日に就任されました。

アンソン新 CEO は、英国プレ事前キャンプをはじめとする今までの横浜市の協力に対し深く感謝の意を述べたほか、「チームとしても非常に素晴らしい横浜の施設に感銘を受けている、2020 年を十分に整った形で迎えられれば」との言葉をいただきました。

また、11 月 2 日に横浜国際総合競技場で行われたラグビーワールドカップ 2019TM 決勝戦を観戦され、「素晴らしいスタジアムとホスピタリティに感動した」との事で、東京 2020 大会に向けても、「ラグビーワールドカップの素晴らしい結果を拝見して、組織としても、サポート体制としても大変感銘を受けたので、次のイベントであるオリンピック・パラリンピックも十分成功すると自信を持っていえる」とも述べました。



林市長からは、「英国代表チームの事前キャンプ地に選ばれたことを光栄に思う。また、選手の皆さまには、市内の子どもたちとの交流機会をいただき、大変ありがたく思っている。今後も、選手の方が気持ちよく実力を出せるように、横浜市で一体となって、心をこめて全力で英国のみなさんをお手伝いさせていただく。」と、英国代表チームへの感謝と期待を伝えました。



（左から）英国大使館ヘファー副部長、ウディン法務局長、アンソン CEO、林市長、西山スポーツ統括室長、石内市民局長

横浜市は、今後も引き続き、2020 年に BOA のみなさんが最高のパフォーマンスを発揮できるように、準備を進めていきます。

2019.12.20 ニュース | 横浜市

## 「英国パラリンピック委員会選手団長講演会」が桐蔭横浜大学で行われました



2019年12月4日(水)、桐蔭横浜大学において、英国パラリンピック委員会（BPA）選手団長のペニー・ブリスコー氏およびパフォーマンス責任者のトム・ポールソン博士が、桐蔭横浜大学でスポーツ科学について学ぶ学生ほかを対象に、「Towards Tokyo - 東京2020大会に向けて」をテーマに講演を行いました。



講演する英国パラリンピック委員会ペニー・ブリスコー氏とトム・ポールソン博士

両氏は、パラスポーツの歴史や東京 2020 大会での注目選手の紹介を交えながら、東京 2020 大会に向けて、英国パラリンピックチーム（ParalympicsGB）が行ってきた取組について発表しました。

また、スポーツを通じて障害者のためのより良い社会づくりを目指すというビジョンのもと、2012 年ロンドン大会が次世代の子どもたちにもたらした素晴らしい教育プログラムについても紹介しました。

最後に、2016 年リオ大会の際に、英国大手テレビ局 Channel 4 によって作成された英国パラ選手たちを応援する PR ビデオを鑑賞し、東京 2020 大会の成功を祈願して講演を締めくくりました。



講演会の様子



講演後、（左から）パラリンピアンである花岡選手、桐蔭横浜大の田中教授、ポールソン博士



学生らと談笑するポールソン博士



質疑応答の様子



2019.12.21 イベント | 横浜市

「英国女王陛下の近衛軍楽隊コンサート」を実施しました！



英国最古の伝統を誇る近衛軍楽隊  
グレンディアガーズバンド 真紅の礼装と熊皮の黒い帽子  
誇り高さファンファーレの響き

YOKOHAMA  
OTOMATSURI  
横浜音祭り

英国女王陛下の  
近衛軍楽隊  
コンサート

「日英交流年 UK in Japan 2019-20」参加企画

2019 10.14 (月・祝) 18:00 START  
(17:30 OPEN)

神奈川県立音楽堂 Kanagawa Prefectural Music Hall

チケット[全席指定] S席 5,000円 A席 4,000円(税込)

※単々(25歳以下)・指定椅子席をお持ちの方:有座席10%割引  
※障害者手帳をお持ちの方の割引は、横浜音祭りチケットセンター(045-453-5080)のみ取扱い  
※軍楽隊の方は、横浜音祭りチケットセンター(045-453-5080)へお申し込みください。天候観望のお子さまのご入場はご遠慮ください。

横浜音祭りチケットセンター TEL.045-453-5080(神奈川県内)  
平日10:00~18:00/土曜10:00~15:00(日曜・祝日休) <http://gaikyoku.jp/yokoato/>

チケットかながわ TEL.0570-015-415  
チケットぴあ <https://t.pla.jp/> (Pコード:149-681) TEL.0570-02-9999  
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:31723) TEL.0570-000-407  
イープラス <https://eplus.jp/>



あなたに届く、あなたの音楽。

3年に一度の音楽の祭典  
横浜音祭り2019

<https://yokoato.jp/> 横浜音祭り

「横浜音祭り 2019」において、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運を盛り上げるため、事前キャンプを横浜で開催する英国との連携プログラムとして、2019年10月14日(月・祝)に神奈川県立音楽堂において、「英国女王陛下の近衛軍楽隊コンサート」を行いました。当日は小雨の降る悪天候に関わらず1,000名を超える方々にご来場いただきました。

ミリタリー・バンド（軍楽隊）というと堅苦しい音楽のように思われがちですが、イギリス国民にとってはごく身近で心和ます音楽グループです。来日したグレナディアガーズは、創設以来今年で 334 年間、国王警護の任務を務めてきました。長い歴史と栄光に包まれた軍服を身につけた誇り高き軍楽隊の煌びやかなステージとなりました。



(c)Kota Sugawara

東京 2020 大会の開催を記念した東京オリンピック・ファンファーレとマーチ、ロサンゼルスオリンピック・ファンファーレ、「威風堂々」等の英国やオリンピック・パラリンピックにゆかりのある楽曲の演奏と、また、情緒溢れるスコットランド近衛連隊バグパイプ軍楽隊の共演を楽しんで頂きました。

また、開演前や休憩中には、近衛軍楽隊のメンバーがホワイエでグリーティングを行い、多くのファンと触れ合う光景が見られました。

2019.12.21 イベント | 横浜市

## 「ホッチポッチミュージックフェスティバル 2019」で英国の伝統音楽を披露！



2019年10月20日（日）に日本大通り、横浜公園周辺において、「ホッチポッチミュージックフェスティバル 2019」が開催されました。

「ホッチポッチ」は英語で「ごちゃまぜ」という意味。2009年からはじまり、今年で11回目を迎えるこのイベントは、国・世代・性別・障がいの有無などに関わらず、誰もが集える「ごちゃまぜ音楽祭」。そして、開港から160年を迎え、さまざまな異文化を受け容れてきた横浜を象徴するメインストリート日本大通りから、多様な文化や個性・価値観を、音楽を通じて発信し、毎年開催されています。

今回のフェスティバルでは、横浜のホストタウン登録国である英国より、バクパイプ演奏家の、ジェラルド・ミューヘッドさんを招聘しました。英国の伝統的なタータンチェックの民族衣装に身を包み、独特の音色のバクパイプを演奏し、訪れた観客を魅了しました。また、フィナーレでは、横浜のアーティストとのセッションを行い、相互の文化交流を深めました。



2020.01.08 イベント | 横浜市

## オリンピック・パラリンピック等を契機としたスコットランドとの連携 及び現地向けプロモーションを行いました



横浜市とスコットランド自治政府は、19世紀半ばから始まった双方の交流のつながりに基づき、とりわけ2019年～2020年を中心に、①文化や観光分野での交流協力、②海洋産業関連企業・機関同士のネットワーク促進、③ラグビーワールドカップ2019™および東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした市民交流、④学生・学術交流を含む大学間連携の促進などにおいて、相互に協力しています。

2019年10月には、ラグビーワールドカップ2019™で来浜したスコットランド自治政府のフィオナ・ヒスロップ文化・観光・対外関係大臣と林文子横浜市長が面会し、オリンピック・パラリンピックに向けても両者の連携を深めていくことを再確認しました。

スコットランドとの関係を更に深め、よりよいパートナーとなるため、また、オリンピック開催に向けてスコットランドの皆さんに横浜を知っていただくために、現地に向けたプロモーションを推進しています。

2018年は、スコットランドの雑誌やオンラインメディアを通じて、横浜の観光情報を発信しましたが、2019年は引き続き2つの事業を実施しました。1つ目は、スコットランド出身のカップルで活動し大きな影響力があるワールドトラベルブロッガー「Two Scots Abroad」に横浜を取材してもらい、実際に観光して感じた横浜の魅力をブログで発信してもらいました。2つ目は、横浜のスタートアップ支援をはじめとするビジネス環境の魅力を、スコットランドのオンラインマガジンやビジネスメディア等を通じて現地に向けて発信しました。

Two Scots Abroad What to do in Yokohama: Food, Nightlife + Culture (2019年9月)

<https://www.twoscotsabroad.com/what-to-do-in-yokohama/> (英語サイト)

The Scots Magazine Scottish Startups Should Consider Yokohama (2019年12月 ※その他メディア7媒体で実施)

<https://www.scotsmagazine.com/articles/scottish-startups-yokohama-sponsored/> (英語サイト)

2020.01.24 ニュース | イベント | 横浜市

## 英国コヴェントリー市の子どもたちが東京2020大会競技開催都市・横浜を訪問！



2019年11月19日(火)、英国コヴェントリー市から、オリンピックスタディツアーで来日中の子どもボランティア10名が、横浜市の児童・生徒の皆さんとさまざまな交流イベントを行いました。

まず、コヴェントリーの皆さんが向かった先は、東京 2020 オリンピックで野球・ソフトボールの試合会場となる横浜市中区にある横浜スタジアム。この日、ソフトボール女子日本代表チームと横浜市立立野小学校 6 年生児童の皆さんとのふれあいフェスティバルが開催されており、一緒に参加しました。

当日、ソフトボール交流会では、横浜市立横浜商業高等学校の国際学科やスポーツマネジメント学科など 10 名の生徒の皆さんが、コヴェントリーの子どもたちとペアになり、語学サポートのボランティアを務めてくれました。



高校生ボランティアと立野小学校の皆さんが入口でお出迎え



まずはペア同士で、自己紹介

この日、朝早くに東京のホテルからの移動で少々疲れ気味だった子どもたちも、その歓迎ぶりに思わず笑みがこぼれました。

早速、フィールドに入り、ペアを組む高校生ボランティアたちとも打ち解けてきたところで、ソフトボール女子日本代表チームの皆さんの登場です。



まず初めは、選手の皆さんによるデモンストレーション。その後、児童たちの中から数人が、実際にバッターボックスに立ち、選手たちの剛速球を体感。あまりの球の速さに思わず固まってしまう子もいました。



代表選手による迫力あるピッチング！



コヴェントリーの皆さんもバッターボックスに立ちました！



その後、選手と子どもたちは4チームに分かれて、日本の運動会の定番である玉入れに挑戦しました。



コヴェントリーの子どもたちも頑張りました！

最後は、代表選手の皆さんに質問した後、記念撮影。コヴェントリーの皆さんにとっても思い出に残るイベントとなりました。



コヴェントリーを代表して選手に質問！



代表チームの皆さんと記念撮影

ふれあいフェスティバル終了後、コヴェントリーの皆さんは、特別に横浜スタジアムの施設見学をさせていただきました。



横浜を一望できる横浜スタジアムの屋上



横浜スタジアムを本拠地とするベイスターズカーに、ニッコリ

玉入れで身体を動かし、すっかりお腹も空いた子どもたち。昼食をとるため、新横浜のラーメン博物館へと移動です。ここでは、横浜市立篠原中学校生徒 6 名と大綱中学校生徒 3 名の皆さんが、コヴェントリーの皆さんとペアになり、昼食および博物館の見学をサポートしてくれました。



お店選びに夢中です



いただきます！



語学サポートの中学生の皆さんと

お腹を満たした子どもたち。この日最後のプログラムとなる、横浜国際総合競技場の施設ツアーへ、いざ出発です。横浜国際総合競技場は、東京 2020 大会で、サッカーの舞台となります。また、2019 年のラグビーワールドカップでイングランド代表チームが戦った決勝の地としても有名です。コヴェントリーの皆さんも、ラグビー決勝戦をテレビで観戦していたらしく、選手と同じフィールドに立ち、みんな大興奮でした。

普段入ることの出来ない施設の裏側で、熱心に写真を撮る児童の姿も。また、ラグビーワールドカップ開催中にも TV でしばしば映っていた選手たちの控室にも潜入です。



しっかり撮れたかな？



選手たちの控室 座り心地もいいようです

フィールドでは、引率の先生たちと競走してみたり、VIP席にも座らせていただき、各自思い思いに、競技場の壮大なスケールを満喫していました。



コヴェントリーの皆さんも英国代表チームを応援します！



最後はフィールドで記念撮影

朝から忙しい一日となりましたが、ソフトボール女子日本代表チームや横浜市の子どもたちとの交流の機会もあり、またオリンピックの舞台となる会場のツアーも体験でき、コヴェントリーから来日した10名の子どもたちと7名の先生方は、大変満足して帰途につかれました。

---

### ～語学ボランティアを務めてくれた生徒の皆さんの感想～

今回のイベントに参加するまでは、自分の英語が英国の小学生に上手に通じるか、とても不安な気持ちが強かったけれど、実際は小学生の皆がとても協力的で積極的に話しかけてくれて嬉しかったです。最後は、とても仲良くなれて参加して良かったと強く思いました。

(横浜商業高校)

英国の小学生の通訳をしたり、日本のことや観光地について話したりできて、普段できないことに挑戦してみて良かったと思う。

言葉の壁があったとしても、スポーツを通してコミュニケーションをとることができるかと再確認できた。オリンピックは来年でもう時間は少なくなっているが、東京オリンピックをきっかけとして英語を使う機会が増えたらいいと思う。

(横浜商業高校)

今回の交流で他の文化を知りコミュニケーションをとることの楽しさや大切さを知ることができたので、これからの英語授業でもたくさんコミュニケーションをとっていきたいと思います。

(横浜商業高校)

私は今回の参加で英語で話すことの楽しさを知りました。だから来年の東京オリンピックで困っている人がいたら、ボランティアとして声かけをして、道案内をしてみたいと思いました。

(篠原中学校)

普段、外国人と交流することはまったくないので、今回のイベントはとてもいい経験となった。

(篠原中学校)

最初はガチガチで緊張していたけど、最初に、ペアの子が積極的に話しかけてくれたので仲が深まりました。またこういう機会があったら誘ってください。

(篠原中学校)

コヴェントリー市の文化など、日本との色々な違いも知ることができました。自分もペアの子に日本について色々な事を伝えることができたと思います。

(大綱中学校)

2020.01.24 ニュース | 横浜市

## 【募集終了しました】英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」



英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」の募集は終了しました！

たくさんのご応募ありがとうございました。

横浜市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおける英国代表チーム事前キャンプを円滑に実施するため、英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」を募集しました。

令和元年 12 月 20 日から令和 2 年 1 月 21 日の応募期間に、募集人数の 100 人程度を大きく上回る **1,431**人の皆様にご応募いただきました。英国代表チームにとってベストな準備環境を作るよう、またサポーターの方々がいきいきと活躍いただけるよう、引き続き準備を進めていきます。

### 【今後のスケジュール（予定）】

#### 令和 2 年

- 1 月末 応募者へ抽選結果を通知、個別オリエンテーション（説明会・面談等）案内通知
- 2 月下旬 個別オリエンテーション実施
- 3 月上旬 「横浜ホストタウンサポーター」決定通知
- 3 月下旬 英国代表チームによる全体オリエンテーション実施
- 5～6 月頃 役割別研修・リーダーシップ研修、ユニフォーム等受取
- 7 月初旬 英国代表チームによる全体研修
- 7 月 活動実施

---

## ◆横浜ホストタウンサポーター 募集概要

### 1. 活動期間

英国事前キャンプ中の主要期間を中心とした、2020年6月下旬から9月上旬  
<主要期間：英国オリンピック代表チームキャンプ期間（7/5～8/5）の32日間>

### 2. 活動日数・活動時間

上記、**主要期間**のうち最低5日以上、休憩時間を含み1日あたり8時間程度  
※ 事前キャンプの時間帯・役割によっては、活動が早朝・夜間となる場合もあります。

### 3. 活動場所

横浜市内ホテル、横浜国際プール（都筑区）、移動のシャトルバス内、その他市内施設や空港など

### 4. 活動内容

ホテル等での受付・総合案内、横浜国際プールでの設営・運営、誘導、通訳 など

### 5. 募集人数

100人程度

### 6. 応募期間

2019年12月20日（金）～2020年1月21日（火）

### 7. 応募方法

「横浜市スポーツボランティアセンター」WEBサイト内の応募用ページ（12月20日開設予定）にアクセスし、応募いただきます。応募にあたっては、事前に「横浜市スポーツボランティアセンター」への会員登録が必要です。

会員登録はこちらから↓

<https://sports.yokohama-volunteer.jp/spo-v/>

## <「横浜市スポーツボランティアセンター」とは>

横浜市スポーツボランティアセンターは、スポーツボランティアの募集・登録をはじめ、横浜市内で開催されるスポーツイベントのボランティア情報、スキルアップにつながる研修会の開催情報の提供などを行っています。

## 8. 応募可能な方

次の7つすべてにあてはまる方が応募可能です。

- (1) 2002年4月1日以前に生まれた方
- (2) 日本国籍を有する方または日本に居住する資格を有する方
- (3) 日本語によるコミュニケーションができる方
- (4) 以下のような英語での日常会話が可能な方
  - ・ 英国代表チームによる英語での研修や活動内容の説明を通訳なしで理解できる。
  - ・ 英国代表チームによる英語での活動指示が理解でき、内容を第3者へ伝達できる。
  - ・ 英国代表チームの選手から質問を受けた際、すぐに理解でき、応答できる。(目安としてTOEIC700点以上程度を想定しています。スコアの有無は問いません。)
- (5) 電子メール、携帯電話での情報伝達が可能な方
- (6) 「横浜市スポーツボランティアセンター」にご登録いただける方
- (7) 上記**主要期間(7/5~8/5)**のうち5日以上活動可能な方、かつ下記にすべて出席できる方
  - ・ 個別オリエンテーション(2月下旬)
  - ・ 全体オリエンテーション(3月下旬)
  - ・ 英国代表チームによる研修(2020年7月を予定)

※フランス語の日常会話ができる方は応募の際にお知らせください。

(英国以外のホストタウン登録国のサポートを行っていただく可能性があります。)

## <募集要項>

詳細は、募集要項をご覧ください。

**募集要項 (こちらをクリック)**

[https://gogb2020.jp/wp-content/uploads/2019/12/yokohama\\_hosttown\\_supporter.pdf](https://gogb2020.jp/wp-content/uploads/2019/12/yokohama_hosttown_supporter.pdf)

## <お問合せ先>

**英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」運営事務局**  
**TEL 045-661-1558 (受付時間：平日 10:00~18:00)**





2020.03.31 イベント | 横浜市

中図書館で GO GB に関するパネル展示と「英国のおはなし会」を開催しました



中区本牧原の横浜市中図書館では、2020年1月17日（金）から2月16日（日）まで、オリパラ関連のパネル展示「英国事前キャンプが横浜にやってくる！」を行いました。



英国オリンピック代表チームや、英国と横浜のつながりをパネルで紹介し、あわせて、英国に関連する本を集めて展示、貸出を行いました。大人向けの一般書のほか児童書も展示し、多くの来館者が手に取っていました。

また、絵本の読み聞かせや、昔話を語る「英国のおはなし会」を開催しました。

2020年1月18日（土）には「ことりの会のおはなし・おはなし～英国のおはなし会～」を行いました。こちらは、語り手が昔話や物語を語る「ストーリーテリング」のおはなし会です。子どもから大人までお話を耳を傾け、英国の昔話や物語の世界を楽しみました。



2020年2月1日（土）には「めぐみ座のおはなし会～英国のおはなし会～」を行いました。

おなじみの『クマのプーさん』や『ピーターラビットのおはなし』をはじめ、英国をテーマに絵本の読み聞かせや本の紹介を行いました。英国の物語の世界をたっぷり楽しんでもらえました。



2020.03.31 イベント | 横浜市

1月20日（月）フォーラム「創造性の広がりがもたらす都市へのインパクト〜クリエイティブ・ダンディーを迎えて」を横浜で開催しました！



横浜市では、東京2020大会に向け英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。

今回、スコットランドの創造産業のキープレイヤーとして活動する「クリエイティブ・ダンディー（Creative Dundee）」から、ディレクターのロリ・アンダーソン氏をお迎えし、また横浜市内外で活躍するクリエイター、オーガナイザーや編集者等のゲストとともに「創造性の広がりをもたらす都市へのインパクト」をテーマにフォーラムを開催しました。

はじめに、ロリ氏からクリエイティブ・ダンディーの取組について紹介していただきました。例えば、市民が選んだ観光スポットを掲載するシティガイドブックの発行やコンペティション形式でプレゼンテーションを行い交流するネットワーキングイベントの開催など、とても興味深い取組が披露されました。また、「創造性はポジティブな触媒になれる」という考えから、特に情報発信、人々をつなぐネットワーキング、他分野との連携（コラボレーション）を柱として事業を実施しているとお話されました。



続く前半のライトニングトークでは、横浜・日本で行われている類似の創造的活動についてプレゼンテーションが行われました。社会課題を多くの人に身近に感じてもらえるよう、例えば温室効果ガスの削減イメージを表すグラフをアーティストがイラスト等の作品に代えてシェアするプロジェクトや建築家が主導するひとり親家庭に対する居住支援サイトなど、創造性が様々な分野に活かされている取組が紹介されました。



後半は会場から寄せられた質問を基にトークが行われました。ロリ氏は、横浜のポテンシャルや都市ビジョンについて、「横浜は人々が創造性について理解し、関与を示していて、ネットワークも構築されている」と評価するとともに、「都市政策のビジョンを定めるには、都市のニーズは何かを見つけ、そのためにどうするべきかを考えなければならない」とお話しいただきました。

■実施レポートはこちら（外部サイト：アートWEBマガジン「創造都市横浜」）

\*Click here to read more (external website, Japanese language only)

<http://yokohama-sozokaiwai.jp/special/20247.html>

■登壇者プロフィールはこちら（外部サイト：横浜市芸術文化振興財団）

\*Click here for more information about the guest speakers (external website, Japanese language only)

<https://acy.yafjp.org/news/2019/15575.html>

2020.04.23 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 東京 2020 大会延期に関する英国オリンピック委員会、英国パラリンピック委員会および UK スポーツによる共同声明



GO GB  
2020

FRIENDS OF GREAT BRITAIN

3月24日（火）、国際オリンピック委員会と東京2020組織委員会は、新型コロナウイルスの世界的な大流行を受け、東京2020オリンピック・パラリンピック大会を延期し、遅くとも2021年夏までに開催することを発表しました。

これを受け同日、英国オリンピック委員会、英国パラリンピック委員会およびUKスポーツは、共同声明を発表しました。

## **BOA、BPA、UK スポーツ共同声明（2020年3月24日）私訳**

英国オリンピック委員会（BOA）、英国パラリンピック委員会（BPA）、UK スポーツは、東京2020 オリンピック・パラリンピック大会の延期のニュースを歓迎します。

### **BOA アンディ・アンソン CEO**

「延期を受け入れるのは非常に胸が痛みますが、COVID-19 が国民、コミュニティ、家族に及ぼした壊滅的なインパクトに照らして勘案すると、我々が支持する判断はこれ以外にありません。UK スポーツおよび BPA とともに、夏季オリンピック・パラリンピックスポーツの国内統括団体、ならびに BOA のアスリート委員会および英国アスリート委員会を含むアスリート代表グループとも協議しました。関係者一同は、COVID-19 がアスリートのトレーニングや大会準備に与えた負の影響は、もはや挽回可能な範囲を超えたという点において一致しています。今は東京2020大会のことを考えるのをやめ、家で安全に家族と過ごす時です。このような時に国内でも世界においてもオリンピックに向けた準備を続けるのは、やはり困難を極めます。延期は正しい判断です。我々は東京2020組織委員会、そして IOC の委員の方々が、この困難な課題から良い結論を導き出すためのご苦労は大変なものであると認識しています。オリンピックは我々の希望の証であり、この暗黒期から世界が再び立ち上がる瞬間を東京で迎えることができると確信しています」。

### **UK スポーツ サリー・マンデイ CEO**

「IOC、IPC および日本による東京2020オリンピック・パラリンピック大会の延期決定を歓迎します。我々が直面している前例のないグローバルな課題を踏まえ、本日発表されたことによって、アスリート、コーチ、サポートスタッフが、この非常に困難な時期に本当に重要なことに専念でき、本人と家族の安全を保つことができるようになりました。COVID-19 によって引き起こされた混乱による延期が、関連する組織等にとっても大きな経済的影響を与えることを認識しており、幅広い影響とシナリオを特定するために懸命に取り組んでいます。夏季オリンピック・パラリンピックのスポーツとアスリートをサポートする最善の方法を確立するため、政府と緊密に連携しています。このような困難な時期に地域社会への支援や自宅にいながらアクティブに活動する姿を見せてくれるなど、さまざまな形で自分のやるべきことを果たしているすべてのアスリートに感謝します。大会は延期されますが、スポーツが再び国民を鼓舞する力になると強く信じています」。

### **BPA マイク・シャーロック CEO**

「英国パラリンピック委員会は、COVID-19 のパンデミックにより東京2020オリンピック・パラリンピック大会を延期する決定を全面的に支持します。この世界的な危機を阻止し、人々の健康と幸福を守るために可能な限りあらゆることを行うことこそが、いま最優先されるべきです。この決定により世界のパラリンピック選手達に明確な方向性が出たことを歓迎します。同時に、今夏東京で最高の結果を出すためにこれまでの4年間努力を続けてきた選手たちにとっては、困難な状況であることは否めません。英国パラリンピック委員会は、我々の選手が2021年に最善の準備ができるよう、緊急事態計画をすでに実行しています。この規模のイベントの延期には、膨大な要素を考慮する必要があり、東京組織委員会、IOC、IPC で活動する我々の友人が直面している課題がどんなに大きなものであるか、理解しています。

今こそ、この世界的な脅威を克服するために私たち全員が協力する時です。スポーツには人々を奮い立たせ、結びつける特別な力があります。東京オリンピックとパラリンピックは、全世界にとって希望の証になると確信しています。この前例のない時代から再び世界が復活することを期待しています」。

オリンピック延期というこの決定が、東京オリンピック・パラリンピック大会を運営する素晴らしい組織である IOC、東京 2020 大会組織委員会、および日本政府の準備状況によるものでは決していないことを明言いたします。

我々の思いは、COVID-19 の影響を受けた家族や個人、およびコミュニティの安全を守るために最前線で働いている方々（UK スポーツ関係の医療従事者を含む）にあります。

また、長い時間をかけてハードなトレーニングを積んできた末に、キャリアと自らの達成目標に影響を受けている英国内外の何百人ものアスリートにも心を寄せています。

来年夏のオリンピックに向けてしかるべき時に、オリンピック・パラリンピックのアスリートと共に東京にうかがうことをお約束するとともに、この大会がいまだかつてない試練の時を経て再興した世界の祝典となることを期待しています。

英国オリンピック委員会(BOA)のページ（英語）

<https://www.teamgb.com/news/boa-bpa-and-uk-sport-statement-on-tokyo-2020>

UK スポーツのページ（英語）

<https://www.uk sport.gov.uk/news/2020/03/24/tokyo-games-statement>

英国パラリンピック委員会(BPA)のページ（英語）

<https://paralympics.org.uk/articles/joint-statement-on-postponement-of-tokyo-2020-olympic-and-pa>

2020.04.27 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

**自宅でカラダを動かそう！ Team GB がワークアウト動画を配信しているぞ！**

新型コロナウイルス感染症対策のため、家で過ごしているみなさん、運動不足になったり、ストレスがたまったりしていませんか？！

そんな時は、英国オリンピック代表チーム「Team GB」の自宅でできるワークアウト動画を見て、カラダを動かしましょう！



ワークアウトとは、エクササイズや筋トレなど体を動かし鍛えるトレーニングのこと。Team GB の動画では、トップアスリートたちが普段運動しない人でも簡単に取られるエクササイズから上級者向けトレーニングまで、様々なワークアウトを紹介しています。

ワークアウト動画はこちらから（外部サイト） ↓

[https://www.youtube.com/playlist?list=PLar7mrt65NAjwEW4aBZdbdxWBqkyeDW1\\_](https://www.youtube.com/playlist?list=PLar7mrt65NAjwEW4aBZdbdxWBqkyeDW1_)



動画はもちろん英語ですが、英語がわからなくても大丈夫！

選手が実演しているので、動きを真似してみましょう。

字幕を見たい人は YouTube の字幕・翻訳機能（※）を使えば日本語の字幕表示も可能です。

動画は全部で 29 種類（2020 年 4 月現在）。

ワークアウトの時間は 1 つあたり 15～20 分程度です。

初心者は、スノーボード競技のエイミー・フラー（Aimee Fuller）選手が紹介するモビリティワークアウト（体の可動域や柔軟性を高める軽い運動）や、飛込競技のレオン・タイラー（Leon Taylor）選手が紹介するヨガの動画からはじめてみてはいかがでしょうか。カラダがとてもほぐれます。

体力に自信のある人は、全力の運動と少しの休憩を限界まで繰り返すトレーニング法、高強度インターバルトレーニング（HIIT）にぜひ、チャレンジしてみてください！

また、体幹や、上半身、下半身に特化したトレーニングもあります。ぜひ、あなたにあったワークアウトを探してみてください。

カラダを動かしたくてウズウズしているみなさん、Team GB のワークアウトで、体を動かしてストレス発散しましょう！継続すればアスリートのカラダに近づけるかも！？

Team GB の公式チャンネルもぜひご覧ください！（外部サイト） ↓

<https://www.youtube.com/user/teamGBtv>

※字幕・翻訳機能の使い方（PC の場合）

- ① 画面の下部にある「字幕ボタン」をクリック
- ② 「設定ボタン（歯車のアイコン）」「字幕（1）」をクリック
- ③ 「英語（自動生成）」をクリック
- ④ 「自動翻訳」が表示されるのでクリック
- ⑤ 「日本語」をクリックして完了！

2020.07.28 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## ‘Dear Tokyo’ 東京 2020 オリンピック 1 年前～ Team GB からメッセージが届きました



### Team GB から東京へ、「オープンレター」という形のメッセージ

東京 2020 オリンピックまであと 1 年となった 2020 年 7 月 23 日、英国オリンピック代表チーム Team GB が、東京に向けた最新の動画を公開しました。「Dear Tokyo」で始まる動画のナレーションを担当するのは、テコンドーでオリンピック 2 度のメダリストとなった、ルタロ・ムハンマド (Lutalo Muhammad) 氏です。

動画では、1964 年にアジアで初めて開催された東京オリンピック競技大会が、復興と平和の祭典として世界をひとつにした様子を紹介するとともに、現在の困難の中において、来夏に延期となった東京 2020 大会が「世界の人々にとって希望の礎となり、東京が私たちが再び団結させる」と、ムハンマド氏が静かに熱く語りかけています。

‘Tokyo is What Makes Us’

<https://youtu.be/BQ79CiIrKtc>

Dear Tokyo,

We first met in October 1964;  
the weather was warm, and the colours of autumn  
were starting to push their way through.

We travelled to see you in all your beauty  
for an event that would symbolize re-emergence and peace.

You united the world, bringing live images into  
our homes and pictures of moments we'd never forget.

Since then, you've held a very special place in our hearts.

Decades have passed but the memories live on.

We were due to meet again this summer,  
but nothing could have prepared us for what happened.

The world is hurting right now, and it needs time to heal.

We'll be apart for another year,  
but they say that absence makes the heart grow fonder,  
and this much we know is true.

When the time comes, we'll be ready to return – to your bright lights,  
your captivating culture and your warm and passionate people.

23 July 2021 stands as a beacon of hope to the world.

An unparalleled celebration of unity,  
It will be you who brings us all together once again.

Until then, we'll keep preparing, keep improving and keep building.

Because Tokyo is What Makes Us.

With love,  
Team GB

### **東京 2020 大会 1 年前に際して Team GB の最高経営責任者および選手団長（シェフ・ド・ミッション）からの言葉**

また、動画の公開に際し、Team GB のアンディ・アンソン CEO とマーク・イングランド選手団長もコメントを寄せています。

#### **アンディ・アンソン CEO**

「これまでとまったく違った状況のもと、我々はもう一度、東京 2020 オリンピック大会の 1 年前を迎えることとなりました。誰にとっても困難であった 4 か月の期間、Team GB の全てのアスリートと、Team GB に関わる全ての人々が示した態度や取組について、我々は非常に誇らしく思っています。

アスリートには国民の心を一つにする力があります。彼らの姿を見ることで、人々は再び来年の夏の東京を待ち望むようになるに違いありません。」

### マーク・イングランド選手団長

「今日は、本来であれば、東京 2020 オリンピック大会の開会式前夜であるということは、とても信じ難いことです。我々が目指すのは、常に Team GB が東京で最も準備が整ったチームになることであり、大会が延期されたとしてもそれは変わりません。ロックダウン以前のチームは、申し分のない状態にあり、貴重なパートナー、関係者、そして舞台裏で辛抱強く取り組んできたチームのおかげで、依然として、同じ状態を保っていると言っても過言ではありません。何よりもまず、この期間に Team GB とその競技のアンバサダーを務めたアスリートに感謝したいと思います。来年の夏、彼らは国民の誇りとなるでしょう。」

英国オリンピック代表チーム(Team GB)のページ (英語)

<https://www.teamgb.com/news/team-gb-demonstrates-its-support-for-tokyo-with-one-year-to-go>

2020.10.22 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 英国パラ陸上のジョニー・ピーコック選手が出演するドキュメンタリー映画が Netflix で公開中



ParalympicsGB



### 東京 2020 大会での金メダルが期待される選手の一人です

来年に延期された東京 2020 パラリンピック開催まで 1 年というタイミングで公開された Netflix オリジナル映画『ライジング・フェニックス: パラリンピックと人間の可能性』は、世界のパラリンピアン半生の半生と、競技にかける思いを取り上げながら、パラリンピックが歩んだ歴史を描いたドキュメンタリーです。

映画では、英国のパラリンピアン、ジョニー・ピーコック（陸上 100m T44）選手の半生が紹介されています。彼は 19 歳の時に出場したロンドン 2012 大会で、大観衆の中、金メダルを獲得した英国のスターの 1 人であり、さらには 4 年後のリオ 2016 大会でも金メダルを獲得しています。100m を 10 秒台で疾走するピーコック選手は、東京 2020 大会での 3 連覇が期待されています。



リオ 2016 大会で優勝したジョニー・ピーコック

### ParalympicsGB の HP（2020 年 8 月 14 日付）でも紹介されています

東京 2020 大会が開催される予定だった日に合わせて、パラリンピックムーブメントに関する衝撃的なフィルム、『ライジング・フェニックス』が、8 月 26 日（水）世界 190 カ国で一斉公開されます。

さまざまな国のパラリンピアンが登場する本作品が映し出すパラリンピック大会の物語には、驚くべきストーリーがあります。第二次世界大戦の瓦礫の中から始まり、この地球上で 3 番目に大きなスポーツイベントとなったパラリンピックという地球規模のムーブメントにより、障害や多様性、人類の可能性に対する人々の考え方は今も変化を続けています。

原文資料➡ParalympicsGB の記事

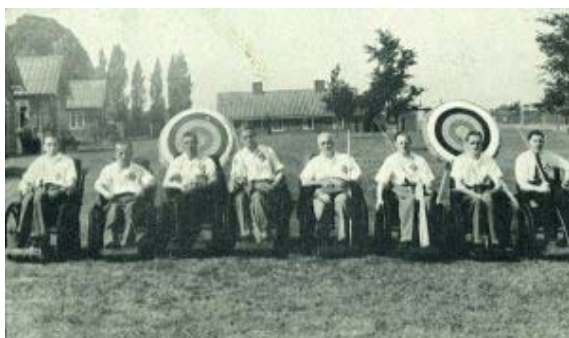
<https://paralympics.org.uk/articles/watch-netflix-release-trailer-for-rising-phoenix-the-story-o>

## 英国のストーク・マンデヴィル競技大会の歴史を映像で振り返る

パラリンピックは、1948年に英国のストーク・マンデヴィルで行われた、負傷兵士による車いす競技大会が発祥とされています。第二次世界大戦で傷を負った兵士たちのリハビリを目的として、スポーツを推奨した医師、ルードヴィヒ・グットマン博士は「パラリンピックの父」と呼ばれています。『ライジング・フェニックス：パラリンピックと人間の可能性』では、グットマン博士の娘が登場し、父親である博士との思い出を語ります。



ストーク・マンデヴィル競技大会で挨拶をするグットマン博士



大会に参加した車いすの選手たち

**Netflix オリジナル映画『ライジング・フェニックス：パラリンピックと人間の可能性』オフィシャルトレーラー**

本作品については、約2分間の予告編をご覧ください（日本語字幕付き）

<https://youtu.be/P2uSjfOl26o>

副音声付きの予告編もあります➡<https://youtu.be/pPMaeBnahaU>

2020.11.05 ニュース | 横浜市 | 川崎市

「ホストタウン」情報発信 Web サイトに英国パラリンピック委員会からのメッセージが掲載されました！



内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局により、国内外の多くの方々にホストタウンを知っていただくことを目的として、全国のホストタウン情報を検索できる専用サイト「世界はもっとひとつになれる Light up HOST TOWN Project」(外部リンク)が開設されました。

このサイトでは、海外アスリート・サポーターの動画も紹介されていますが、英国パラリンピック委員会 大会準備運営責任者のアネリ・マクドナルドさんの温かいメッセージが掲載されていますので是非ご覧ください。

<https://youtu.be/h0Wm6WRck1I>

また、英国のホストタウンである横浜市、川崎市の紹介ページもありますので、併せてご覧ください。

[https://host-town.jp/hosttowns/search\\_result](https://host-town.jp/hosttowns/search_result)

2020.11.10 イベント | 横浜市

【横浜市イベントレポート】英国代表チームに贈る応援メッセージ写真を撮影！@秋のローズ&ガーデンマーケット





素晴らしい秋晴れに恵まれた 10/31（土）、11/1(日)の週末、日本大通りで開催された「秋のローズ & ガーデンマーケット」において、英国事前キャンプ・ホストタウン PR ブースを出展しました。

「来年の東京 2020 大会に向けて共に乗り越えよう!」「私たちは横浜で待っているよ!」「頑張れ英国!」とうメッセージを込めて、英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」と一緒に応援写真の撮影を行いました。2日間で約 180 組 300 人以上の皆様にご参加頂きました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。



これらの写真は英国代表チームへ贈る応援メッセージ動画として、現在編集を進めています。完成次第、GOGB サイト等に掲載する予定ですので楽しみに！

2020.11.20 ニュース | 横浜市

## 「英国オリンピック委員会 マーケティング責任者オンライン講演会」が横浜商業高等学校で行われました。



横浜市では、東京 2020 大会に向け、英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。

2020 年 11 月 18 日(水)、横浜商業高等学校において、英国オリンピック委員会（BOA）マーケティング責任者のエド・ジョーンズ氏が、横浜商業高等学校のスポーツマネジメント科および国際学科で学ぶ 1 年生～3 年生までの生徒を対象に、「An introduction to the Brand and Team GB's campaigns – 英国オリンピック委員会のブランド開発および東京 2020 大会に向けたキャンペーン」をテーマにオンラインで講演会を行いました。



講演する英国オリンピック委員会のエド・ジョーンズ氏

はじめに、ジョーンズ氏から、英国オリンピック委員会が行ってきたブランド開発とその取組について紹介していただきました。Team GB（英国オリンピック代表チームの愛称）のパワー、そしてオリンピックムーブメントの価値を通して、国を一つにし、鼓舞していくため、BOA は様々な手段でブランディングに取り組んでいるとのことでした。

講演会前半では、Team GB が、ブランドを通して、どのように英国国民の関心を高め、英国で最も愛されるスポーツチームとなるまでに認知度を高めてきたのかについてお話されました。アプローチの一つとして、まずは、ソーシャルメディアを上手に活用していくとのことでした。Team GB は、6つのソーシャルメディアチャンネルを通して、300万人のファンを得ており、主要な大会時期以外に

おいても、ファンとの深い関わりを心掛けているそうです。そうすることで、大会時には、国民のより一層高い関わりを促進することにつながるということです。

これらのソーシャルメディアチャンネルを通して、どのようにファンの心に訴えていくのかという点で、まずは、より少なく、より大きい、そしてより良い話をする。加えて、より豊かな関わりを引き起こすために、テーマに一貫性を持たせることが重要だとのこと。こういったアプローチをすべてのチャンネルで行うのですが、それぞれにカスタマイズのアプローチを取り、最もインパクトのあるエリアに焦点を当てていかなければならないとお話されました。

また、このアプローチを成功させるために、コンテンツやプラットフォーム、製品やイベントを通してデジタル環境を整えていくとお話してくださいました。

後半では、ブランド持続のために、BOA が、ロンドン 2012 大会のレガシーとして取り組んできた教育プログラムの紹介や、東京 2020 大会に向け展開されているキャンペーンなどについて紹介していただきました。Team GB が継続的に国からのサポートを受けるため、そしてパートナー、仲間、潜在的なファンから高く評価され、将来的により価値のあるものにするため、パフォーマンスの向上を図り、投資の誘致・拡大につなげていくことに取り組んでいらっしゃるとのことでした。

## 生徒との質疑応答

Q. 今後数か月のうちに、自身のビジネスを立ち上げたいが、低予算で効果的に宣伝広告するにはどうすれば良いでしょうか。

A. まずは、シンプルにデジタルチャンネルに焦点を当てていくと良いでしょう。そこで、ターゲットとなる視聴者は誰か考えましょう。なぜなら、彼らがあなた自身のブランドにとって強力な宣伝効果をもたらしてくれると思います。

常に、なぜビジネスを立ち上げたかという初心を忘れないこと、そして、誰彼問わず、サポートしてくれる人から支援提供を得ましょう。

Q. 日本とイギリスでのオリンピックの盛り上げ方の違いの印象を知りたいです。また、イギリス独自の盛り上げ方を教えてほしいです。

A. 私の見解では、我々は、実際より良い機運醸成の機会へのアプローチを試みています。

ですので、毎日または毎週何かプロモーションを行うということよりは、大きなインパクトを与えるカギとなる瞬間を捉えていくようにしています。

Q. スポーツは、観客が観戦することが一番のマーケティング方法だと思いますが、今、コロナウイルスの影響で観客が入れない状態にあり、マーケティングに関してだいぶ制限されていると思いますが、そのような中で、新しく始めたことはありますか。

A. 以前と現在の違いという点においてあまり時間を割いてはいません。観客数の見通しというのはデジタル上でのファンにつながる興味深い機会であると考え、私自身やチームも取り組んでいます。しかし、これは、以前からやっていたもので、特に何か新たに始めたわけではありません。

時差の関係で、オリンピック大会時は試合の時間が、英国時間では大変遅い時間になってきますので、我々が常に注目すべきは、どのようにデジタルでファンとつなげていくか、東京でのチームの成功を感じていけるようにするにはどうすれば良いかという点です。

私自身、それに焦点を絞り、ソーシャルメディアのコンテンツ等、様々な違うデジタルを通して実践することに気を付けています。



質疑応答の様子

#### 生徒からの感想

##### ★一番心に残った話は？

- 情報通信環境が、世界全体でも発展している中、いかせるものをいかしてスポーツを世界全体で盛り上げていくことが大切だということ。

(1年生)

- スポーツマーケティングでは、毎回大きな話題を取り入れるのではなく、選手の瞬間、瞬間を取り入れている事が印象深かったです。

「キー」となる瞬間をみんなに知ってもらうことで、より多くの人にオリンピックを知ってもらえると私も共感しました。

(2年生)

- マーケティングを展開していくにあたって、ターゲットの幅を絞って応援してもらうために一貫性を持って、多方向からアプローチをしていくことが大切ということ。

(2年生)

- オリンピックは、4年に1度行われるが、その盛り上がりや注目度を一定に保つことに取り組んでいくということが一番印象に残っています。オリンピック自体、競うということがメインになるけど、それを宣伝していくという面で、開催中やその前後だけでなく、常に人々の注目を集めていられるようにという考えはなかったです。それができれば大会も盛り上がると思いました。

(2年生)

★意外だったことや新たに発見したことは？

- とにかくデジタルツールの活用が重要であること。  
(3年生)
- 海外では、チームを盛り上げるため、大会を盛り上げるために多くのデータを取って検証していること。  
(3年生)
- PRの方法が、日本よりも幅広く、積極的に選手を使っていること。  
(2年生)

★全体を通しての感想は？

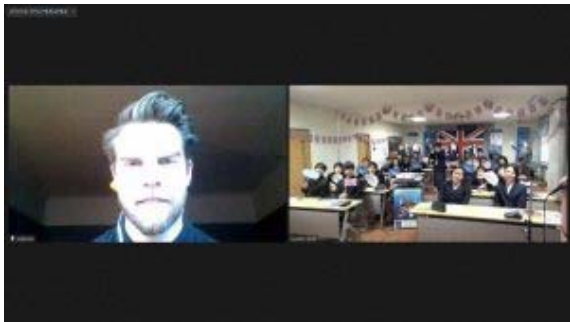
- 映像を使って、企業に売り込むことや国民に対しても宣伝していることが新鮮でした。  
(3年生)
- スポーツマーケティングという職にたどりつくまでにどのようなことをしてきたのかも知ることができて良かったです。  
(2年生)
- ビジネス、マーケティングのことがよく分かりました。またアプローチの仕方や背景、どのようにして選手やチームの認知度を上げるのかが分かりました。将来、役に立てていきたいです。  
(3年生)
- 国民からこんなにも支持されているチームは日本にはないと思い、もっとスポーツとマネジメントについて深く知りたいと思いました。  
(3年生)



スクリーンに映るエド・ジョーンズ氏と記念撮影



講演会の様子



スクリーンショットで記念撮影

2020.11.24 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

東京 2020 パラリンピックを目指す英国選手たちの日常を映し出す  
『Paralympics+1』



## 英国パラリンピック委員会による動画が月 1 回配信されます

英国パラリンピック委員会では、来夏に延期された東京 2020 パラリンピックに向け、パラリンピアンたちがどのような日々を過ごしているかを、インタビューを交えた動画で紹介しています。

「ParalympicsGB+1」と題されたこの動画シリーズは、東京 2020 大会の延期により更なる 1 年の期間を得たアスリートの舞台裏を映したもので、今まで以上にパラリンピアンを身近に感じることができます。動画は毎月配信されます。

シリーズ第 1 弾として公開された動画では、カヌー競技のシャーロット・ヘンショウ選手が登場しました。彼女の練習現場から、当然訪れたニューノーマルな日々で体験した苦労や練習における工夫などを振り返るとともに、コロナによる大会延期と向き合う自身の心情を語っています（約 8 分）。

<https://youtu.be/JDWs-h3J4bk> **動画スタート画面**

さらにシリーズ第 2 弾には、**川崎市で事前キャンプを行う可能性のある、陸上競技のステフ・レイド選手**（走り幅跳び T64）が登場しました。彼女は、ロンドン 2012 大会で銀メダル、リオ 2016 大会でも銀メダルを獲得しています。大会出場時のクラスは、日本人の中西麻耶選手（リオ 2016 大会 4 位）、高桑早生選手と同じ T44 クラスです

## 英国パラ陸上のステフ・レイド選手（走り幅跳び T64）が登場

### ロックダウン中の練習も楽しく前向きに

春から夏にかけて英国では、コロナ感染拡大防止策として、ロックダウンという日本よりも厳しい措置が取られました。選手たちも公式練習はできず、自宅でトレーニングをする日々が続きました。

レイド選手は、2017 年のロンドン世界選手権で金メダルを獲得した後、怪我や事故が重なり、リハビリを経て、東京 2020 大会を目指していましたが、そこにコロナ禍が襲いました。

走り幅跳びに必要な砂場がないため、ロックダウン中はトレーニング用のラダーを購入し、毎週新しいステップを覚えて、楽しみながら身体を鍛えてきました。動画の中でも素早く複雑なステップを披露しています。

東京 2020 大会の延期を知った時は、「すごく残念だった」けれど、彼女は「人生なんて何の保証もないことは分かっていた」と、あくまで明るく語ります。「私の場合、完璧なプランが台無しになった経験は、これが初めてではありません」。

### 15 歳の時に知った「人生に絶対なんてことは何もない」という真実

彼女は、15 歳まではラグビー選手として活躍していました。当時はプロになることが目標だったのですが、ボートの事故で片脚を失いました。

「その時学んだことは、人生は何が起きるか分からない。常に変化するものであり、絶対ということは何もないということです。人生のプランを手放すことは辛いけど、順応すること。それが人生だから」と、話します。

英語のみの動画となりますが、彼女の明るい笑顔と、競技に取り組む姿は、パラスポーツの素晴らしさを言葉よりも雄弁に語っています。ぜひご覧ください（約 10 分）。

<https://youtu.be/INXJh6s31R0>

2020.12.18 ニュース | 横浜市

## 「英国をもっと知ろう」横浜市立北山田小学校でオンライン交流会が行われました。『Paralympics+1』



2020年12月17日(木)、横浜市立北山田小学校（横浜市都筑区）において、横浜市在住英国人、ジェニファー・スミスさんと北山田小学校5年生児童が、オンラインで交流会を行いました。





まずは、スクリーンに登場したジェニファーさんに、児童の皆さんが元気よくご挨拶。  
そして、交流会のスタートです。

最初に、英国代表競泳チームのエイミー・ウィルモット選手から横浜市の皆さんに送られたメッセージ動画を観ました。

エイミー・ウィルモット選手は、2019年に横浜国際プールで行われた、世界水泳大会に向けた事前キャンプにも参加していた選手で、動画の中で、「いつも応援していただきありがとうございます。今度、横浜で行われる事前トレーニングキャンプを楽しみにしています！」とメッセージを送ってくれました。

動画を観たあとは、ジェニファーさんが自己紹介をしてくださり、そして、英国ではどんなスポーツが人気か、英国の首都ロンドンでも、2012年にオリンピックが行われたことなどについてお話してくれました。ジェニファーさんは、マンチェスターのご出身で、マンチェスターには、サッカーの有名なチームが2つあることなどを教えてくれました。

ここで、ジェニファーさんから、英国に関するクイズの時間です。

英国の首都や英国発祥のスポーツに関するものなど、クイズは全部で4問出題されました。

中には、「英国でも人気のスポーツ、サッカーは、英国では何と呼ばれているか」といったクイズもあり、英語の勉強にもなり、児童の皆さんは夢中で答えを考えていました。

ちなみに、英国では、サッカーは“フットボール”と呼ばれているとのことでした。



クイズの途中、ジェニファーさんは、2012年のロンドンオリンピックの思い出についてお話してくださり、大会の開会式では、音楽なども含め、演出にロンドンらしさが散りばめられ、大変印象深かったとのことでした。聞いていた児童の皆さんも、2021年に予定されている東京大会の開催がより一層楽しみになった様子でした。



クイズの後は、今回の交流会メインとなるジェスチャーゲームが始まりました。

ここでもまた、ジェニファーさんから、英語の勉強となるような英単語や簡単な英文を教わり、児童の皆さんも早速、英会話に挑戦しながらジェスチャーゲームを楽しみました。

ジェニファーさんからのお題の中には、オリンピックにちなんだ競技名や用語、さらには、英国文化の一つとも言える“Tea Time”（お茶の時間）を表すジェスチャーなどを出題していただき、児童の皆さんは、積極的に手を挙げて答えてくれました。

また、児童の皆さんも、競技名などに関するジェスチャーに元気よく挑戦してくださり、大変盛り上がった時間となりました。



最後は、スクリーンに映るジェニファーさんと記念撮影。

その後、児童の皆さんから、ジェニファーさんにお礼の言葉が述べられ、ジェニファーさんからも、「これからも英国のことをたくさん学んでください」との言葉をいただき、交流会が終了しました。

今回、元気よくクイズやジェスチャーに挑戦してくれた北山田小学校の皆さん。オリンピックの時に、英国代表チームの選手やスタッフの皆さんが横浜で事前キャンプを行う際も、きっと元気よく英語で応援してくれるでしょう。

2021.01.05 ニュース | イベント | 横浜市

## 「英国の知見から学ぶ インクルーシブ・デザイン オンラインセミナー」の記録映像を公開します！

～共生社会ホストタウン事業～

### インクルーシブデザイン・オンラインセミナー



■日 時:2020年12月11日(金)  
18:00～19:00

■講演者:イアン・マッキノン 氏

横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課  
協力:ブリティッシュ・カウンシル

UK IN JAPAN  
GREAT PARTNERSHIP

横浜市は、東京 2020 大会における英国代表チームの事前キャンプ地・英国ホストタウンとして、また、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーの取組を実施する共生社会ホストタウンとして、これまで様々な取組を行ってきました。

この取組の一環として、英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルや、ロンドンパラリンピックのレガシーとして設立されたグローバル・ディスアビリティ・イノベーション・ハブ(GDI Hub)のご協力のもと、2020年12月に、横浜市内スポーツ団体、スポーツ施設関係者等を対象とした、英国出身講師によるオンラインセミナーを開催しました。

「スポーツ施設におけるインクルーシブ・デザイン」をテーマに、現地英国とオンラインで繋いで行われたこのセミナーは、GDI-Hub オペレーション&インクルーシブ・デザイン部門ディレクター Iain MacKinnon (イアン・マッキノン) 氏を講師にお迎えし、「インクルーシブ・デザイン」というデザイン手法についての説明や、ロンドン 2012 大会の開催経験を踏まえたバリアフリーに関する事例をご紹介いただきました。また、質疑応答では横浜のスポーツ施設におけるバリアフリー化等についてもご意見を頂くなど、当日の聴講者にとっても有意義な機会となりました。

このたび、セミナーの内容をアーカイブとして公開いたします。日本ではまだあまり知られていない「インクルーシブ・デザイン」について、そして共生社会について考えていただくきっかけになればと思います。是非ご覧ください。



▲当日のオンラインセミナーの様子



▲英国事例を説明

★ご視聴になりたい言語の URL よりご覧ください。

**【YouTube 横浜市東京2020関連情報公式チャンネル】**

- ・日本語で視聴したい方は[こちらをクリック](https://youtu.be/kbjPQjyGuNQ)→ <https://youtu.be/kbjPQjyGuNQ>
- ・英語で視聴したい方は[こちらをクリック](https://youtu.be/WljEKtd0Zs)→ <https://youtu.be/WljEKtd0Zs>

**●Iain MacKinnon (イアン・マッキノン) 氏のプロフィール**

グローバル・ディスアビリティ・イノベーション・ハブ (GDI Hub) オペレーション&インクルーシブデザイン部門ディレクター

英国アクセスコンサルタント (NRAC) のメンバーとして、複合施設の基本計画、新旧建築物、製品から会場やライブイベントの運営面まで、幅広いプロジェクトに対して創造的かつ革新的なソリューションを案出し、インクルーシブデザインに関する提言を行っている。

\* GDI Hub とは : 大学および文化機関の協働組織としてクイーン・エリザベス・オリンピック・パークを拠点に、地域コミュニティ、研究者、専門家、障害のある人々を結びつけ、ロンドンパラリンピック競技大会によって培われた経験と、障害に関する最先端の専門性を融合することで、更なるイノベーション、共同デザイン、クリエイティブ・シンキングをグローバルに推進している組織です。

2021.02.01 ニュース | イベント | 横浜市

## Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージで、横浜から英国代表チームへ笑顔を贈ります



横浜市は英国の事前キャンプ地、ホストタウンとして、これまで英国と横浜をつなぐ様々な取組を行ってきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、英国との直接的な交流が難しい状況が続いています。

東京 2020 大会に向けて、英国で地道な努力を行っている、英国代表チームのみなさんに横浜から笑顔と元気を届けたい！その思いを胸に、10月31日（土）、11月1日（日）に横浜、日本大通りで開催された「秋のローズ&ガーデンマーケット2020」にて、英国等事前キャンプ・ホストタウンPRブース」にご来場いただいた市民の皆様の写真撮影を実施しました。

当日は素晴らしいお天気のもと、約180組、300人以上の市民の皆様にご協力をいただき、たくさんの笑顔の写真が撮れました！ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

撮影した写真は応援メッセージと共に3篇のスライド映像に編集し、英国代表チームにもお届けします。

私たちはこれからも、英国と横浜の絆を深め、さまざまな分野で交流が続くことを心から願っています。

【YouTube 横浜市東京2020関連情報公式チャンネル】

スライド映像は、こちらのURLよりご覧ください。

- Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージ Vol 1.

<https://youtu.be/jEHi4UB3-6k>



- Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージ Vol 2.

<https://youtu.be/xPHYJ7VwLS8>



- Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージ Vol 3.

<https://youtu.be/CILRZTbHdII>



2021.03.08 ニュース | 横浜市

## 「英国をもっと知ろう」横浜市立東山田小学校でオンライン交流会が行われました。



2021年3月5日(金)、横浜市立東山田小学校（横浜市都筑区）において、横浜市在住英国人、ジェニファー・スミスさんと東山田小学校5年生児童が、オンラインで交流会を行いました。



まずは、スクリーンに登場したジェニファーさんに、児童の皆さんが元気よくご挨拶。そして、交流会のスタートです。

最初に、英国代表競泳チームのエイミー・ウィルモット選手から横浜市の皆さんに送られたメッセージ動画を観ました。

エイミー・ウィルモット選手は、2019年に横浜国際プールで行われた、世界水泳大会に向けた事前キャンプにも参加していた選手で、動画の中で、「いつも応援していただきありがとうございます。今度、横浜で行われる事前トレーニングキャンプを楽しみにしています！」とメッセージを送ってくれました。

動画を観たあとは、ジェニファーさんが自己紹介をしてくださり、そして、英国ではどんなスポーツが人気か、英国の首都ロンドンでも、2012年にオリンピックが行われたことなどについてお話してくれました。ジェニファーさんは、マンチェスターのご出身で、マンチェスターには、サッカーの有名なチームが2つあることなどを教えてくれました。

ここで、ジェニファーさんから、英国に関するクイズの時間です。

英国の首都や英国発祥のスポーツに関するものなど、クイズは全部で4問出題されました。

中には、「英国でも人気のスポーツ、サッカーは、英国では何と呼ばれているか」といったクイズもあり、英語の勉強にもなり、児童の皆さんは夢中で答えを考えていました。

ちなみに、英国では、サッカーは“フットボール”と呼ばれているとのことでした。



クイズの途中、ジェニファーさんは、2012年のロンドンオリンピックの思い出についてお話してくださり、大会の開会式では、音楽なども含め、演出にロンドンらしさが散りばめられ、大変印象深かったとのことでした。聞いていた児童の皆さんも、2021年に予定されている東京大会の開催がより一層楽しみになった様子でした。



クイズの後は、今回の交流会メインとなるジェスチャーゲームが始まりました。

ここでもまた、ジェニファーさんから、英語の勉強となるような英単語や簡単な英文を教わり、児童の皆さんも早速、英会話に挑戦しながらジェスチャーゲームを楽しみました。



ジェニファーさんからのお題の中には、オリンピックにちなんだ競技名や用語、さらには、英国文化の一つとも言える“Tea Time”（お茶の時間）を表すジェスチャーなどを出題していただき、児童の皆さんは、積極的に手を挙げて答えてくれました。

また、児童の皆さんも、競技名などに関するジェスチャーに元気よく挑戦してくださり、大変盛り上がった時間となりました。



最後は、スクリーンに映るジェニファーさんと記念撮影。

その後、児童の皆さんから、ジェニファーさんにお礼の言葉が述べられ、ジェニファーさんからも、「これからも英国のことをたくさん学んでください」との言葉をいただき、交流会が終了しました。

今回、元気よくクイズやジェスチャーに挑戦してくれた東山田小学校の皆さん。オリンピックの時に、英国代表チームの選手やスタッフの皆さんが横浜で事前キャンプを行う際も、きっと元気よく英語で応援してくれるでしょう。

2021.03.11 ニュース | イベント | 横浜市

「英国パラリンピアンからのメッセージ ～共生社会を考える～」オンラインセミナーをライブ配信します！

## 英国パラリンピアンからのメッセージ ～共生社会を考える～ オンラインセミナー



■日 時:2021年3月19日(金)  
17:30～18:30

■講演者:スージー・ロジャース氏

横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課  
協力:ブリティッシュ・カウンシル

UK IN JAPAN  
GREAT PARTNERSHIP

★～こちらの事業は終了しました～



横浜市は、東京2020大会における英国ホストタウンとして、また、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーの取組を実施する共生社会ホストタウンとして、これまで様々な取組を行ってきました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、英国との直接的な交流が困難となりましたが、オンラインを活用した交流に取り組んでいます。

このたび、オンライン交流の一環として、2016年のリオデジャネイロパラリンピックにて金メダルを獲得した、英国パラリンピアンのスージー・ロジャース氏を講師にお招きし、ご自身の経験をもとに共生社会について考えるオンラインセミナーをライブ配信いたします。共生社会に関する活動を精力的にされている英国のパラリンピアンが現地英国より生出演し、直接メッセージを聞くことのできる貴重なセミナーです。ぜひご視聴ください！

**日 時：**令和3年3月19日(金)17時30分～18時30分(予定)

**視聴方法：**YouTubeライブ配信にて実施します。(無料)

★日英同時通訳により行いますので、日本語配信と、英語配信をご用意しています。ご視聴になりたい言語のURLより、ご覧ください。

#### 【YouTube 横浜市東京2020関連情報公式チャンネル】

・日本語で視聴したい方は **こちらをクリック** → <https://youtu.be/LD8ny2s8OqY>



・英語で視聴したい方は **こちらをクリック** → <https://youtu.be/ee4jAyJwvHQ>



**協 力：**ブリティッシュ・カウンシル

\*当オンラインセミナーで配信した映像は後日アーカイブとして、同チャンネルにてアップロードする予定です。詳細は当サイトにてお知らせいたします。

#### ●Susie Rodgers (スージー・ロジャース) 氏のプロフィール

スージー・ロジャース氏は、2度のパラリンピック大会出場を経験している元水泳選手です。ロンドン2012パラリンピックで、3つの銅メダルを獲得し、リオ2016パラリンピックでは、金メダルと2つの銅メダルを獲得しました。

現在では、英国の外務・英連邦開発省で経済的エンパワーメントにおけるディスアビリティ・インクルージョン\*1に関する顧問を務めています。

また、インクルージョンについてグローバルに講演活動を行っており、英国の海洋保護協会の大使も担っています。さらには、世界経済フォーラムの若きグローバルリーダーであり、ブリティッシュ・カウンシルの障害者諮問委員会のメンバーでもあります。

2017年には、女王陛下から水泳競技への貢献に対して MBE\*2 を授与されました。

\*1 障害のあるすべての人びとが教育、訓練、雇用、社会のあらゆる側面に参加することを促進し、確保し、そうした参加が十分できるために必要なサポートや便宜を提供するという考え方であり、障害のある人もない人も共生し、包摂するという考え方である。

\*2 Member of the Most Excellent Order of the British Empire の略。大英帝国勲章

記者発表資料は**こちらから**

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shimin/2020/0310kyousei.html>



## 📣 ニュース&イベント

2021.06.23 ニュース | イベント | 横浜市

**【横浜市】英国パラトライアスロンチームからのメッセージが届きました！ ～英国と横浜 映像でつながる絆～**



ありがとう  
THANK YOU

5月15日（土）、16日（日）に2021ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会が、徹底した新型コロナウイルスの感染防止対策のもと、2年振りに無観客で開催されました。横浜市は、英国の事前キャンプ地・ホストタウンとして、2018年より横浜大会に出場する英国トライアスロン、パラトライアスロンチームと市内小学校との交流を行ってきましたが、今回は残念ながら直接の交流は実現しませんでした。

そこで、少しでも応援の気持ちを伝えるべく、市民の皆様にご協力いただき制作した、「Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージ」を英国トライアスロンチームへ映像をお届けしたところ、とても喜んでいただきました！

さらに、横浜大会に出場した英国パラトライアスロンチームのコーチと、見事メダルを獲得した選手よりお礼のビデオメッセージをいただきましたのでご覧ください。

【YouTube 横浜市東京2020関連情報公式チャンネル】

<https://youtu.be/3zpxlHckTrc>

・GOGB トライアスロンチームからのメッセージ動画は次のYouTube URL よりご覧ください（英語）

\* 冒頭録音状況により、音声小さくなっております。ご了承ください。

<https://youtu.be/3zpxlHckTrc>

映像の参考和訳は以下のとおりです。

↓↓↓↓↓

[Jonathan Riall] ジョナサン・ライアル コーチ



こんにちは！ジョナサン・ライアルです。英国パラトライアスロンのヘッドコーチをしています。横浜市の皆さま、また英国パラリンピックムーブメントと英国パラリンピックチーム、とりわけ毎年ここ横浜を訪れるトライアスロンチームをサポートくださる横浜の皆さまに深く感謝いたします。我々は、2014年以來、毎年この地を訪れており、もちろんここが大好きです。今日は、ジョージとマイケルがレースに参加し、大変喜ばしいことに、両名とも非常に素晴らしいレースを行い、ジョージが優勝、マイケルが2位という結果になりました。皆さまにサポートいただくことはいつも喜ばしく、また、横浜に戻ってこられることも、いつも嬉しく思います。8月にまた戻ってこられるようお願いしており、もちろん来年も同様で、皆さまに直接お会いできることを願っております。本当にありがとうございました。また近いうちに会いましょう。

[Michael Taylor] マイケル・テラー 選手



皆さんこんにちは。マイケル・テラーです。英国から来ました、パラトライアスロン選手です。今回、このような素晴らしい大会にお招きいただき、横浜市にお礼を申し上げます。この大会は非常に素晴らしいもので、皆さまからのとても温かい歓迎の気持ちを感じることができ、十分楽しむことができました。また、お陰様で、いただいた応援メッセージ動画でモチベーションを維持することが出来ました。そして結果、銀メダルを獲得しました。本当にありがとうございます。また近い将来、戻ってこられることを願っています。

[George Peasgood] ジョージ・ピースグッド 選手



今週送っていただきました応援メッセージ動画ですが、横浜市の皆さんに深く感謝します。動画は本当に感動的で今回の試合に臨む上で、とても勇気づけられました。また、ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会を開催して下さったことに深く感謝いたします。競技が再開できることは非常に喜ばしく、とても素晴らしい雰囲気の中で行われました。僕もレースを非常に楽しむことができました。本当にありがとうございました。

2021.07.01 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

**東京 2020 オリンピック・パラリンピック英国代表チーム 横浜市・川崎市・慶應義塾大学で事前キャンプを開始 -事前キャンプの概要-**



東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた英国代表チームの事前キャンプが、横浜市・川崎市・慶應義塾大学でスタートします。今回の事前キャンプは、英国と横浜市・川崎市・慶應義塾大学の3者が平成 28 年より数年にわたる調整準備を重ねた結果、実現するものです。

事前キャンプの実施にあたっては、大会組織委員会や国等から示された「プレイブック」等に基づき、英国代表チームと横浜市・川崎市・慶應義塾大学が連携し、事前キャンプ期間中の感染症対策を徹底し、安全・安心な事前キャンプを運営します。

## <事前キャンプの概要>

【英国代表チーム全体の規模】 約 600 人（オリンピック）、約 200 人（パラリンピック）

### 横浜国際プール（横浜市）



キャンプ期間 令和3年7月12日～8月5日（オリンピックのみ）

人数 約 50 人（オリンピック）

競技 ●水泳 ・競泳 ・アーティスティックスイミング ・飛込（ダイビング）

### 等々力陸上競技場、補助陸上競技場（川崎市）



キャンプ期間 令和3年7月9日～8月2日（オリンピック）

8月14日～9月2日（パラリンピック）



- 人 数 約 200 人 (オリンピック)、約 100 人 (パラリンピック)
- 競 技 【オリンピック】
- 陸上競技 ●サッカー ●7人制ラグビー
- 【パラリンピック】
- 陸上競技

### 慶應義塾大学日吉キャンパス



キャンプ期間 令和3年7月8日～8月7日 (オリンピック)、  
8月13日～9月1日 (パラリンピック)

人 数 約 400 人 (オリンピック)、約 100 人 (パラリンピック)

競 技 【オリンピック】

- アーチェリー ●ボクシング ●柔道 ●ウエイトリフティング
- バドミントン ●フェンシング ●ホッケー ●テコンドー
- バスケットボール ●体操 ●近代五種 ●卓球 ほか

【パラリンピック】

- アーチェリー ●テコンドー ●パワーリフティング ●柔道
- 車いすフェンシング

**前述の3施設のほか、次の2施設も使用予定です。**

### 横浜カントリークラブ

【利用方法】 一般客が利用していないゴルフコースをランニング

【利用期間】 令和3年7月16日～7月31日 (早朝、夕方)

【競技及び人数】 陸上競技 (ロード) ほか、約 30 人

### パシフィコ横浜ペDESTリアンデッキ

【利用方法】 デッキの一部を市民等との接触がないよう区分し、ジョギングや  
トレーニングなどの軽い運動

【利用期間】 令和3年7月9日～7月28日 (午前のみ)

【競技及び人数】 ボクシング、サッカー、ホッケーほか、約 50 人

- ※ 7月1日から各施設で順次、英国オリンピック委員会（BOA）スタッフによる事前準備を実施。
- ※ 複数施設で練習する選手がいるため、各施設の人数は重複していることがあります。
- ※ 上記の内容は現時点の情報であり、今後、変更となる可能性があります。

2021.07.01 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 安心・安全な事前キャンプ運営に向けた感染症対策



英国代表チームの皆様が安心して事前キャンプを実施し、市民の皆様も安心して英国代表チームの皆様をお迎えしてもらうため、三密の回避、社会的距離の確保、マスクの着用、手洗い・消毒などの基本的対策を徹底するとともに、「プレイブック」（IOC、IPC、大会組織委員会）や国からの指示等に基づき、主に次の対策に取り組みます。

なお、昨年末以降の変異株の発生・流行など、日々刻々と変化する状況や求められる対策等に適切に対応してまいります。

（下記の対策は令和3年6月30日時点の内容です。）

## **(1) 英国代表チームの出入国時における感染症対策**

- ・ 出発 2 週間前から隔離措置を始め、隔離生活期間中に合わせて 5 回検査を実施する。
- ・ 出国前 3 日間、毎日検査を実施し、陰性証明を取得し、検疫又は入国審査時に提出する。
- ・ 入国前 14 日間の健康モニタリングを提出する。
- ・ 入国時、空港にて検査を受検する（検査結果判明まで指示した待機場所に留まる）。

## **(2) 英国代表チームの事前キャンプ期間中の感染症対策**

### **ア スクリーニング検査**

- ・ 事前キャンプ地に滞在中の選手等に対し、毎日検査を実施する。

### **イ 選手等の行動管理**

- ・ 選手等の行動は、宿泊施設と練習会場等の用務先の往復のみに限定する。

### **ウ 市民等との接触を避けるための対策**

- ・ 公共交通機関は利用せず、専用車両で移動する。
- ・ 宿泊施設において、他の宿泊客との接触を避けるため、宿泊フロアや動線を分離する。
- ・ 食事は他の宿泊客等との接触を避け、宿泊施設内の専用会場で摂ることを原則とする。
- ・ 練習会場は、貸切を原則とし、関係者以外の立入りは不可とする。

## **(3) 事前キャンプ関係者の感染症対策**

- ・ 事前キャンプに関わる市職員や宿泊施設・練習会場などの関係者には、ワクチン接種（任意）や、活動に従事する 14 日前から検温・体調チェックを実施する。
- ・ 英国代表チームとの接触の度合いに応じて、定期的に検査を実施する。

2021.07.09 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック英国事前キャンプに向けて 英国オリンピック・パラリンピック代表チーム団長がコメントを発表



横浜市・川崎市・慶應義塾大学で行われる英国代表チームの事前キャンプに向けて、英国オリンピック代表チーム団長のマーク・イングランド氏、英国パラリンピック代表チーム団長のペニー・ブリスコー氏がコメントを発表しました。

英国代表チームの皆様が、大会で最高のパフォーマンスを発揮していただけるよう、横浜市・川崎市・慶應義塾大学で連携し、感染症対策を徹底して事前キャンプを運営します。

### 【英国オリンピック委員会 参考和訳】

東京 2020 オリンピック英国代表チーム選手団長、マーク・イングランド (Mark England) 氏からのコメントです。

「大切なパートナーである横浜市・川崎市・慶應義塾大学のご支援のおかげで、オリンピック開催前に英国代表チームの選手にとって重要な事前キャンプを実施できることになり、心より御礼申し上げます。」

「私たちは市民、選手、選手団の健康と安全を最優先に考えております。また、私たちはこの後訪日しますが、全員の安全を守るために事前キャンプ関係者の皆様が準備を重ねてこられたことに感謝いたします。」

東京 2020 組織委員会と日本政府によって共同製作された東京 2020 大会の公式「プレイブック」と「ホストタウン等における選手等受入れマニュアル」（内閣官房）に基づいて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、英国との協力のもと、安全・安心な事前キャンプを運営します。オリンピック・パラリンピック英国代表チームと市民の全員の健康と安全を守るため、「プレイブック」等に基づいて、次のとおり新型コロナウイルス感染症対策を徹底します。

① 選手団の出入国時における感染症対策

- 入国前に 14 日間の自己隔離を実施し、新型コロナウイルス検査を計 5 回実施する。陰性結果証明書を取得し、検疫または入国審査時に提出する。
- 入国前に 14 日間の健康観察を実施し、その記録を提出する。
- 空港到着時、新型コロナウイルス検査を受ける（検査結果が判明するまで専用の場所で待機する）。

② 事前キャンプ期間中の感染症対策

- a. スクリーニング検査 - キャンプ地に滞在している選手等は、事前キャンプ期間中を通じて毎日スクリーニング検査を受ける。
- b. 選手団の行動管理 - 選手等の移動は、宿泊施設と練習会場などの用務先の往復のみに限定する。
- c. 市民との接触を避けるための対策 - 選手等の移動には、公共交通機関ではなく専用車両を使用する。他の宿泊客との接触を避けるため、チームの宿泊フロアや動線を分離する。食事は専用の食事室のみで行う。

③ ホストタウン関係者の感染症対策

ホストタウンの事前キャンプに従事する市職員、宿泊施設や練習会場の関係者は、ワクチン接種を受け（任意）、従事前 14 日間の健康観察を実施する（毎日の検温を含む）。接触の度合いに応じて、定期的にスクリーニング検査を受ける。

以上

**【英国パラリンピック委員会 参考和訳】**

**東京 2020 パラリンピック英国選手団長、ペニー・ブリスコー（Penny Briscoe）氏からのコメント**です。

「選手の事前キャンプを運営するため、パートナーである横浜市・川崎市・慶應義塾大学と緊密に連携・協力してきました。また、英国と日本のチーム全体で、選手団や市民の健康と安全を最優先に考え、入念な計画を立ててきました。」

『プレイブック』に基づき、チーム全員の安全を守るために、検査を含むさまざまな感染症対策を徹底します。パートナーの皆様との緊密な協力のおかげで事前キャンプを実施できることになり、心より御礼申し上げます。選手たちは、皆様が私たちのためにご尽力いただいたことに感謝しており、訪日を心待ちにしております。」

【原文】

**Team GB Chef de Mission for the Tokyo Olympic Games, Mark England, said:** “We are extremely proud and grateful for the ongoing support that we have received from our valued partners in Yokohama, Kawasaki and Keio University in ensuring that we can provide the optimum Preparation Camp for Team GB athletes before they compete at the Tokyo Olympic Games. ”

“The health and safety of the Japanese public and of the athletes and our delegation remains our number one priority and we know that our Preparation Camp partners have gone above and beyond to guarantee the safety of everyone when we arrive in country later this month.”

We will fully comply with all COVID-19 Countermeasures pertaining to the official Games ‘Playbooks’ produced by Tokyo 2020/Japanese government and ‘Host Town Acceptance Manual’ to deliver safe and secure preparation camps in cooperation with the UK.

To safeguard all members of the Team GB and Paralympics GB and the local residents in Japan, we will fully comply with COVID-19 Countermeasures upon the official Games ‘Playbooks’ (IOC, IPC, Tokyo 2020) and ‘Host Town Acceptance Manual’ (Cabinet Secretariat) as follows;

① Measures upon entry into and departure from Japan imposed on the delegation

- All delegates need to self-isolate 14 days prior to the departure and have five COVID tests in total. They must obtain negative test certificate and submit it to the Quarantine Officer and/or at immigration control when they arrive in Japan.
- All delegates need to do 14 days of health monitoring prior to departure and submit the record.
- All delegates need to complete COVID-19 testing on arrival of the airport. (They will wait at the designated waiting area to get their test results).

② Measures during the Preparation Camps

- a. Screening Test – All delegates who stay at camp sites will complete screening tests every day during their preparation camps.
- b. Behavioral Management of the delegation – All delegates are restricted to travel only between their accommodation venues and their business destinations such as training venues.

c. Measures to avoid contact with the local residents – All delegates will use dedicated Games vehicles and do not use public transport. Any floors with Teams' rooms booked will be blocked and separate flows to avoid contact with other hotel guests. The delegation also use their private dining room

③ Measures for Host Town staff

All staff members, who engage the preparation camps, in local governments, accommodation venues and training venues at Host Towns will be vaccinated (optional) and do 14 days of health monitoring including taking daily body temperatures. Also, they will have regular screening tests, depending on how close they get.

Ends

**ParalympicsGB Chef de Mission for the Tokyo Paralympic Games, Penny Briscoe, said:**

“We have been working closely and collaboratively with our partners in Yokohama, Kawasaki and Keio University to ensure that we can deliver successful Preparation facilities for our athletes. There has been a lot of planning across our teams in the UK and in Japan to prioritise the safety of our delegation and the health and safety of the Japanese public.”

“We will go beyond the measures outlined in the playbooks in a number of areas including testing to deliver a safe environment for the team. We are very grateful to our Japanese partners for working so closely with us to achieve this and our athletes are very aware of how hard everyone is working on their behalf and are looking forward to arriving in Japan.”

2021.07.12 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜市】港北区役所、日吉商店街、KEIO2020project が英国代表チームに送る応援動画を公開！



～横浜から英国代表チームにエールを～

***“Welcome to Yokohama!” “Rooting for you!”***

英国代表チームの事前キャンプがいよいよ始まりました！横浜市港北区では、慶應義塾大学で滞在サポートを行う学生プロジェクト KEIO2020project と共に、感染症対策を徹底しながら、英国代表チーム応援動画を制作しています。



写真：日吉商店街の花屋さんでの動画の撮影風景



セミの鳴き声が聞こえてきた6月24日、日吉商店街で動画の撮影を行いました。「ようこそ横浜市へ！」という“おもてなし”の気持ちと、「頑張れ！英国！」という“親愛の情”を込め、地域のみなさまとともに発信します。

動画：日吉商店街（別添）



★こちらのURLよりご覧ください。 <https://youtu.be/QAMId2nYENU>



写真：日吉商店街の動画の撮影風景

～メッセージをバトン形式で繋ぎます～

日吉の商店街、港北区役所及び KEIO2020project が一体となって撮影した**各 15 秒程度のメッセージ動画を Instagram にリレー形式で配信しています。**

KEIO2020project 公式ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください！

URL : <https://ipe.hc.keio.ac.jp/keio2020project/>

私たちはこれからも、英国と横浜の絆を深め、さまざまな分野で交流が続くことを心から願っています。

2021.07.14 ニュース | 横浜市

## 【横浜市】ようこそ英国水泳代表チーム！北山田駅前広場に「GOGB 2020」のデザインマンホール設置！



東京 2020 大会開催に向けて、横浜国際プールでは、英国水泳代表チームの事前キャンプを行っております。

事前キャンプに合わせ、『GOGB！ガンバレ英国！』のロゴマークをデザインした 11 枚のマンホールの蓋を北山田駅前広場に設置いたしました。

区民一同、東京 2020 大会に向けて練習をしている英国水泳選手の皆様にエール送ります。



【北山田駅前広場に設置されたデザインマンホール】

コロナの影響に伴い、選手のみなさんは公共交通機関も利用できないため、直接見ていただくことはできませんでしたが、横浜国際プールの練習会場内にレプリカを展示し、英国選手団の皆様にご覧いただきました。



【横浜国際プールに展示したレプリカ】



【英語の説明も添えて】

2021.07.20 ニュース | 横浜市

## 【横浜市】都筑区のオリンピック・パラリンピック教育推進校が英国オリンピック水泳代表チームと交流を行いました！！



いよいよ始まる東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、7月 12 日から英国水泳代表チームが横浜国際プールで事前キャンプを行っています。



英国事前キャンプの開始に合わせて、都筑区のオリンピック・パラリンピック教育推進校である東山田小学校、北山田小学校、牛久保小学校の児童が、オンラインによる交流のほか、GOGB旗など3種類の旗にチームを歓迎し応援するメッセージを記入して贈る取組を実施しました。



## ■ オンライン交流

北山田小学校 5年生、牛久保小学校 5年生、6年生の児童の皆さんにご協力頂き、両校の教室と横浜国際プールをオンラインで結び、英国水泳選手やコーチ等とオンラインによる交流を行いました。



児童の皆さんは選手たちに熱心に質問した後、各クラスから心のこもったエールをおくるなど、貴重な交流の機会となりました。

## ■ 応援メッセージ入りの旗の作成・展示・寄贈

東山田小学校 5、6年生、北山田小学校 1～6年生、牛久保小学校 5、6年生の3校の児童の皆さんが、英国チームを歓迎及び応援する思いのメッセージを書いたGOGB旗・英国国旗・都筑区旗の3種類 14枚を作成しました。



キャンプ期間中は、横浜国際プール内の装飾も兼ね、英国選手等が練習するエリアに掲出し、選手はもとより、英国チームに大きな力を与えてくれました。これらの旗は選手村に発つ際に英国水泳代表チームに寄贈しました。



2021.07.21 ニュース | 横浜市

**【横浜市】東山田小学校の児童等が横浜国際プールで事前キャンプを行った英国オリンピック水泳代表チームをサプライズでお見送りをしました！！**



7月20日（火）、横浜国際プールで事前キャンプを行った英国オリンピック水泳代表チームが、選手村に向けて出発しました！！

英国代表水泳チームが、横浜国際プールでの練習が最後になったこの日、サプライズで東山田小学校5年生と6年生が校庭から英国選手のお見送りをしてくれました。



校庭から元気に声援を送ってくれた子どもたち

バスに乗り込む英国の選手のみなさんは、思いがけない突然の交流にとっても驚いていました。



バスに乗り込む前に、手を振り返してくれた選手のみなさん

フェンス越しに子どもたちは手旗を振りながら「GO GB！（ゴージービー・がんばれ、英国）」コールで選手にエールを送り、バスに乗り込む前に選手達も、子供たちに向けて手を振り、とても嬉しそうにエールに応えてくれました。



GO GB の旗を手に元気にお見送り



声援に応える選手のみなさん

選手を見送った子どもたちは、短い時間でしたがオリンピック代表選手を間近に見る貴重な機会に興奮していました。



2021.09.30 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 英国オリンピック委員会最高経営責任者アンディ・アンソン氏からのメッセージが届きました。



英国オリンピック委員会 CEO アンディ・アンソン氏

東京 2020 オリンピック競技大会は、関係者の懸命な努力と選手たちの並外れた能力を結集した、他に類を見ない大会として人々の記憶に刻まれることでしょう。

通常のオリンピックの開催でさえ困難なものではありますが、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが世界中で発生し、英国代表チームが目指す目標をすべて達成することは大変難しく思えました。

しかしながら、パートナーである慶應義塾大学、川崎市、横浜市による熱心で献身的なサポートのおかげで、私たちは世界トップレベルの総合的な環境でトレーニングを実施することができました。私たちが直面するすべての課題や問題を解決するために、パートナーの皆様はチーム一丸となってそれぞれの専門知識を結集し、一生懸命に、積極的にサポートしていただきました。皆様の力添えがあったからこそ、英国代表チームは東京 2020 で素晴らしい成功を収めることができました。

パートナーの皆様が、私たちのために膨大な時間を費やし、尽力いただいたことに感謝します。東京 2020 の思い出を心に刻み、友好関係が未永く続くことを願っています。

ありがとうございます。

英国オリンピック委員会 CEO  
アンディ・アンソン

The Tokyo 2020 Olympic Games will be remembered as a Games like no other – one of sheer human endeavour and extraordinary sporting prowess.

They were always going to be a highly complex Olympic Games to deliver and that was before the Covid-19 pandemic, which complicated further the task of delivering on all of Team GB's ambitious targets.

At the heart of our operation was a comprehensive and world-leading performance environment that we delivered with the integral support, enthusiasm and commitment of our partners at Keio University and the cities of Kawasaki and Yokohama. The support, expertise, diligence and positivity that their teams brought to every task and challenge we faced was vital to the ultimate success of Team GB at Tokyo 2020 – we couldn't have done it without them.

It is not just the time and effort from our partners in Tokyo that was so important but we will be forever grateful for the friendships that have been formed that will last well into the future. We hope that it is a future inspired by the memories of Tokyo 2020.

Arigato gozaimasu,

Andy Anson  
CEO, British Olympic Association

2021.10.30 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 英国パラリンピック委員会最高経営責任者マイク・シャーロック氏からのメッセージが届きました。



英国パラリンピック委員会は、横浜市・川崎市・慶應義塾大学との素晴らしいパートナーシップを通じて、英国代表チームの事前キャンプを実施させていただいたことを非常に誇りに感じております。今回の事前キャンプは、大会に向けた重要な要素であり、チームの成功にも不可欠なものでした。パートナーの皆様は、コロナ禍の困難で複雑な状況の中、世界トップレベルの施設と最高の環境を英国代表選手およびスタッフに提供してくださいました。

更に、提供いただいた施設・環境では、『スポーツを通じ、障害を持つ人々にとってより良い世界をインスパイアする』という我々の理念が反映されていました。施設へのアクセスの改修を通じて、また、

市民の皆様とのパンデミック前の対面での交流や現在のオンラインでの交流イベントを通じて、お互いに学びや変化のきっかけを得ることができました。皆様方の懸命なご尽力と温かい心遣いに深く感謝申し上げます。また、このパートナーシップが今後も未永く続くことを期待しております。

ありがとうございます。

英国パラリンピック委員会 CEO  
マイク・シャーロック

The British Paralympic Association is incredibly proud to have worked with Keio University and the cities of Yokohama City and Kawasaki City to deliver our pre-Games Preparation Camp. This camp was an essential part of our Games time operations and vital to the success of our team at the Games. Our partners embraced the complexity that the pandemic posed and delivered world class facilities and the best possible environment for our athletes and staff to prepare in.

More than that though, they embraced our vision to use sport to inspire a better world for disabled people. Through accessibility modifications to facilities and engagement events with local citizens both in person pre pandemic and now virtually we have inspired change and learnt from each other. We are very grateful for the warmth and enthusiasm of everyone we worked with and look forward to continuing our work together in the future.

Arigato gozaimasu

Mike Sharrock  
CEO, British Paralympic Association

2021.11.05 ニュース | 横浜市

英国代表チームから横浜市へ、感謝を含めた記念品が贈呈されました！



事前キャンプが無事終わり、英国代表チームから事前キャンプ受入の感謝を含めて、選手のサイン入り写真パネルやユニフォームなど、様々な記念品が贈呈されました。

贈呈された記念品や、英国代表チームが練習施設や宿泊施設で装飾に使用していた物品は、2021年9月から10月にかけて、横浜市庁舎アトリウムや横浜国際プール、都筑区役所等で展示されました。横断幕や色紙には、サインだけでなく選手たちのあたたかい感謝のメッセージがたくさん書き込まれ、中には日本語で「Arigato」の文字も。展示の際は事前キャンプ中の写真も飾られ、市庁舎などを訪れた多くの方々の目に触れる機会となりました。

記念品の一部は練習施設となった横浜国際プールや横浜カントリークラブ、宿泊施設、代表チームと交流した小学校に寄贈されました。横浜国際プールでは選手たちのサインなどが常設展示されていますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。



2021.12.01 ニュース | 横浜市

## 【横浜市】英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」感謝会が行われました！



10月31日(日)、「横浜ホストタウンサポーター」の感謝会を行いました。開港以来英国との縁の地・横浜市イギリス館を会場に、横浜市庁舎や都筑区で巡回展示された、英国代表チームからの感謝が沢山書き込まれたサインの数々や、実際に英国チームがキャンプで使用した装飾、活動中サポーターの方々に作成いただいたプラカードなどを展示。英国らしさやキャンプ当時の雰囲気溢れる中、皆さんにも活動時のユニフォームを着てお集まりいただき、事前キャンプ終了以来の久しぶりの再会にまるで同窓会のような和やかな雰囲気でも、感謝会がスタートしました。

まず初めに、英国代表チーム事前キャンプを写真とともに振り返り。様々な記憶が懐かしくよみがえった後は、感謝を含めて、英国代表チームと横浜市からサポーターの皆さまへ記念品贈呈式です。英国オリンピック委員会からはキャンプで使用されたポスターやネックストラップ、英国パラリンピック委員会からは一人ずつ名前が入った感謝状など、ボランティア活動の記念となる品々が贈られ、横浜市からは横浜国際プールで英国チームが使用した大きな横断幕をリサイクルして製作したエコトートバックと活動記録集などを贈呈。お一人ずつコメントいただき、活動時の思い出や印象に残ったエピソードなどを共有いただきました。

最後は英国オリンピック委員会、英国パラリンピック委員会など計6名の方々から、英国事前キャンプを2か月に渡り毎日力強く支えてくださったサポーターの方々に、10分以上に渡る感謝のビデオメッセージを放映。GO GB 2020のフラッグを手に全員で記念撮影を行い、感謝会が終了しました。

あっという間の一時間半でしたが、皆さま笑顔で、またいつの日か再会できることを祈りつつ会場を後にしました。





2019.05.19 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート  
500Days To Go! フェスティバル取材



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回のレポートは、2019年3月に開催された「500日前イベント」についてです。  
それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

---

東京五輪まで残り500日を切りました。それにあたって、日本では今、東京五輪に関する様々なイベントが行われています。私たちジュニア記者も、東京五輪に関するイベントの1つ「500Days to go!」フェスティバル〜東京2020まであと500日!〜という新横浜公園一帯で行われている、イベントに参加してきました。

広範囲でおこなわれていて、英国ホストタウンに関する展示もありました。たくさんあるメニューの中から子どもたちが選んだのは、メインステージでのコンサート。デュオアーティスト「アルケミスト」が岡村小学校の子どもたちと一緒に、小学生と一緒に作った歌「あの空」披露しました。NHK2020 応援ソング「パプリカ」を歌う小学生5人組ユニット「Foorin（フーリン）」と大会マスコットによるステージなどを楽しみました。



体験コーナーでは、主にパラスポーツに関する体験をしました。スポーツ義足を体験したり、車椅子バスケットを体験したり。こういった体験をすることで、より競技を身近に感じ、応援に熱が入りそうです。



日産スタジアムで、ステージイベントを楽しみました。最初にアルケミストスペシャルステージ with 岡村小の人たちの歌を聞きました。とても素敵でした。ミュージシャン、アルケミストの2人組の1人は、手に障害を持っています。手に障害を持っていることを隠すことなく、堂々と歌っていて、とてもカッコよかったです。その後、「パプリカ」を一緒に踊ろう！とステージにも参加しました。ステージを見終わった後、車いすバスケット体験をしました。車いすに乗っているため、手の力だけでシュートを決めるのは、結構大変でした。でも慣れると、シュートする回数が増えてきて楽しくなりました。テレビなどで、活躍している選手は、軽々しくやっているのに、本当はこんなに大変なのかと実感しました。

草郷 緑彩

私は、目の不自由な人が後ろに乗る、2人乗り自転車を体験しました。私が後ろに乗り、係の人が前で運転してくれました。途中、「目をつぶってみて」と言われ、目をつぶってみました。カーブで、体が揺れて怖かったです。目が見えない人は、前の人をみないで、息を合わせていることがすごいなと思いました。

片井美礼

障がい者スポーツは普段あまり見る機会がありませんでした。イベントでは、義足、車いすレース、車いすバスケットなどの沢山の競技の体験ができました。足に義足をつけて歩く体験をしました。弾む感じがして歩きずらかったです。車いすレース体験では、競技用の車いすに乗って、その場でタイヤを回し、スピードを計測してもらえました。車いすを早く回すには何度もタイヤをまわさなければいけません。そのためとっても疲れます。僕は13.7キロを出すことができましたが、終盤はとっても辛くなり、7キロしか出せませんでした。

鈴木翔大

一番、心に残っている体験は、ゴールに向かってボールをけて何キロ出るか、はかってくれる体験です。3回やった結果、48キロでした。その日の最高記録は、87キロだったのでもう少し伸ばしたかったです。他にも、車いすバスケットや目隠しマラソンなど楽しそうな体験がいっぱいありました。

藤江凜太郎

とてもたくさんのイベントが行われていましたが、私が一番印象に残ったのは、義足体験です。実際に義足をつけて歩いてみると、とても重く少し違和感を感じました。足に障害のある選手は、この重さで歩いたり、走ったりしているんだと考えるとすごいなと思いました。また、車いすバスケットの体験もしました。車いすに乗ったまま、シュートを打ってみるとなかなかシュートが打てませんでした。シュートがうまく打てた時はとても嬉しかったです。オリンピックはもちろん、そして、パラアスリートの人達を、これからも全力で応援したいです。

山田真白



## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2019.06.28 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

**イギリス選手がやってきた！～「2018 ジャパンパラ水泳競技大会」を取材しました。【2018 年 10 月】**



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回のレポートは、2018 年 10 月に開催された「2018 ジャパンパラ水泳競技大会」についてです。それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

---

## ジュニア記者取材レポート：イギリス選手がやってきた！～「2018 ジャパンパラ水泳競技大会」

2018 ジャパンパラ水泳競技大会が北山田の横浜国際プールで行われ、ジュニア記者 12 名が応援に行きました。会場でもらったプログラムをみながら、どんな選手が出ているのかをチェック。イギリス選手がでるとみんなでイギリス国旗を掲げて「GO GB」と叫び応援、それ以外のときには「ニッポン、チャチャチャ」と楽しく応援し、盛り上がりました。イギリス選手にもきっと記者たちの応援が聞こえたと思います。

それぞれの記者たちの感想です。

僕は、イギリスの選手が出場するたびに新記録を達成していて驚きました。これからの 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、もっとイギリスとの絆を深めていきたいと思いました。

久保心之介

ジャンパラ競技大会は、手の不自由な方や足の不自由な方が活躍していました。選手みんなが頑張っている大会でした。最下位でも一生懸命泳いでいる姿や、障がいがあったとしても頑張る姿を見て、すごいなと思いました。

これからも選手に頑張ってもらいたいです。

山田咲幸

今回のジャパンパラ水泳競技大会で、一番心に凝のこったことは、片手だけで泳いでいた選手のことです。片手だけでも関わらず 100 メートルをみごとに泳ぎきり、スピードも私と同じくらいでおどろきました。この大会を見ることができよかったと思いました。

四方あかり

私は、今回初めて、障害者の方が参加されているスポーツを見に行きました。なかなか「生」では見れない貴重な体験だと思ったので、始まる前からワクワクしていました。

出場国は、「アメリカ」「カナダ」「メキシコ」「コロンビア」「イギリス」「スペイン」「オーストラリア」「ニュージーランド」「日本」の 9 か国で、どの国のどの選手も泳ぐのがとても速くて、びっくりしました。さらに、今日の大会で大会新記録や日本新記録という素晴らしい記録を出された方も多くいらっちゃって、「わあ、すごいなあ！」と感激しました。選手達は泳ぎが速いだけでなく、泳ぎのフォームもきれいで、自分も見習いたいなと思いました。

私が特に、注目した団体は、イギリスです。（もちろん日本チームも応援しています！）イギリスチームは、日本の環境になれるためのオリンピック事前キャンプをしますが、その場所として都筑区が選ばれました。

日本の皆さんが、日本チーム同様に温かい目でイギリスチームに声援「GO GB（GREAT BRITAIN=英国の略）」と送ってあげたらイギリスの方たちも、もっと日本が大好きになると思うので、みんなで応援したいと思います。

田中希和

午後に行われた決勝の試合を見に行きました。まず最初に驚いたのが、客席にかなりの人がいたことです。片側は企業の方々がいて、もう片側には一般の方が入っていましたが、年配の方から小さな子どもまでさまざまな方が見に来ていました。

この写真は、女子 100 メートル自由形の S 6 の表彰式の写真です。サマー・ニュートン メイジーさんが表彰台にのぼりました。小柄であるにもかかわらずパワフルな泳ぎで思わず応援してしまうような泳ぎでした。



次は同じ種目の S 10 の表彰式です。マルーリー ザラさんは私の 1 つ歳が上で、まだ高校生なのに大会に出ていると知りとても驚きました。男子の 50 メートルバタフライでは小学生や中学生も出場しており、また 30-40 代の方も出場していて、年齢層の厚さを感じました。



これは男子 100 メートル自由形の sS12 の表彰式です。クレッグ ステファンさんが大会新記録で優勝を飾っていました。視覚障害でありながらも一般の大会さながらの泳ぎで圧倒されました。同じ種目の 1 組目では、背泳ぎで出ている選手もいて、自由形=クロールという概念にとらわれず、自由に泳いでいるのを見て、こういった考え方もあるのだなと感じました。



日本での開催ということで観客はほとんどが日本人でした。しかし、日本人、外国人、と区別せずに皆が応援していて、一体となって応援できるのはパラスポーツの良いところなのではないかと思いました。

また、今回の結果を見ると、外国人の方も多く優勝していましたが、日本人の選手もかなり表彰台にのぼっているなと感じました。パラリンピックに向けて、日本人がメダルを狙える競技なのではないかと思いました。世界にはもっと早い選手がいて、世界の壁は厚いけれど、2020 年に向けて、日本人の選手、さらにはさまざまな国の選手にも目を向けて応援をしていきたいです。

中島万賀

取材：久保 心之介、桑野 煌己、高橋 那菜子、山田 咲幸、山田 真白、四方 あかり、松岡 莉香、森 結里、長谷川 絢美、田中 希和、中島 万賀

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2019.10.01 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## 英国代表チームが横浜国際プールにやってきた！GOGB!! がんばれ、英国！【2019年7月】



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集部」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回のレポートは、2019年7月に実施された英国水泳代表チームのプレ事前キャンプについてです。それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

---

### ジュニア記者編集取材レポート：英国代表チームが横浜国際プールにやってきた！GOGB!! がんばれ、英国！

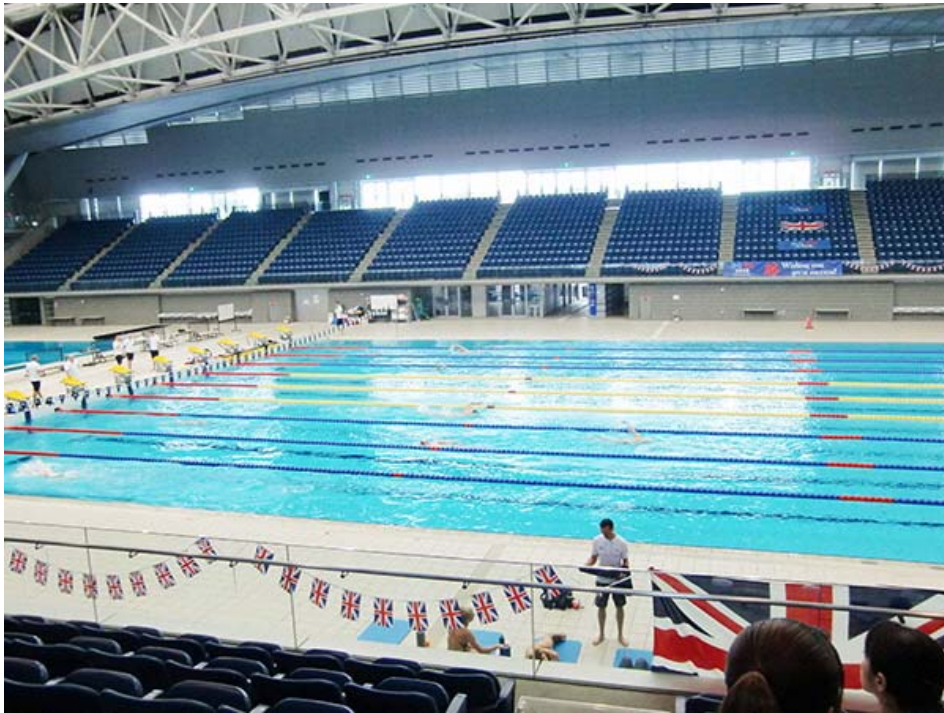
7月12日～28日に韓国光州で開催された世界水泳2019に出場する英国選手が横浜国際プールで練習するところ、そして最終日に地元の人たちと交流する送迎レセプションを、取材させていただきました。

#### | 7月13日英国プレ事前キャンプ：練習のようす

私たちジュニア記者は、プールサイドで練習を見させていただきました。他にも中学校の水泳部など、地元の若者たちが集まって熱心に見学していました。

施設の方のお話によると、プールの温度が27度と低めにしたり、水も深くしたりして、競技用に合わせてプールのコンディションを調整します。今回、選手は、毎日午前中と午後2時間、9日間続ける練習をします。





観客席から、練習の様子をずっと見せてもらいました。選手たちは 立て続けに 1500M を泳いだり、片手を上げたままクロールを泳いだり、また4人で息を揃えてバタ足をしたりするなどの練習をしていました。基本的にはゆっくりとしたペースで泳いでいましたが、タイムを計る時には、一転してその倍くらいのペースで泳いでいるように見えました。ゆっくり泳いでいるときには、見ている私たちに手を振ってくれたりして、とてもうれしかったです。

練習のあと、インタビューに答えてくれました。記者たちは、がんばって調べてきた英語で質問しました。答えは通訳の方に教えてもらいましたが、選手に「英語上手だね」とほめられました。



## | 選手にインタビュー！

Q.国際プールのプールはどうですか？

A.とても優秀な施設のスタッフがいてくれて、コンディションをよくしてくれるので、とても泳ぎやすく、すばらしいです。

Q.一日どのくらい泳ぐのですか？

A.練習のときには、だいたい1日12 km～14 kmを泳ぎます。

Q.水泳をはじめたきっかけは何ですか？

A.12歳の時、憧れの水泳選手がいたことから、水泳をはじめたいと思いました。

Q.水泳のどういうところが面白いのですか？

A.水泳をするようになって、大会などで外国に行くことが多くなりました。外国旅行がたくさんできる楽しみもあります。

Q.スランプなどのとき、どのように気持ちを切り替えますか？

A.上手く泳げなかったとき、どうして出来なかったかを考えて、1からやり直しています。

Q.選手の皆さんは泳ぐ前にどんなものを食べていますか？

A.選手の間にはそれぞれ食べるものが違います。私はプロテインと野菜をよく食べます。

取材) 菊池直希 古林沙羅 森結里 清水一葉 清水麻緒 石嶋愛華 足立理子 長谷川絢美  
田中希和 鈴木翔大

## | 7月16日歓送レセプション



レセプションでは、始めに国際プールで練習しているコーラスグループが、「ビリーブ」という曲を歌って選手たちをむかえました。選手たちが、「練習したことを発揮して成果を出せることを信じている」という理由でこの曲を選んだそうです。

選手たちが全員イスにすわると、北山田小学校が選手ひとり一人に宛てて書いた、メッセージカードを手渡し、プレゼントしました。それは、四季の森小学校のみなさんが、横浜の花を押し花にしてカードにしたものに、北山田小学校のみなさんがメッセージを書いたものです。

次に、東山田小学校から「世界の約束」という曲をリコーダーで演奏しました。スポーツを通して世界の平和を、という願いを込めてこの曲を選んだそうです。最後に英国選手達からお礼の言葉と、額縁にはいったメッセージボードをいただき、全員で集合写真を撮りました。

選手達が、退場するとき、こどもたちみんなで花道のトンネルを作りました。選手達は、みんなにタッチしてくれました！水泳選手の人たちは、みんな手が大きく、私たちの顔の一つ分はありました。背も高くて、すごいなーと思いました。

取材) 月岡結菜 古林沙羅 草郷緑彩 長谷川絢美 田中こころ 野口明日美 廣田心乃



## | ジュニア記者の感想

すごい距離を泳いでいるのに、疲れを見せない姿は本当にすごいと思いました。これがアスリートといわれる人たちなんだと感動しました。ミニレセプションでは、小学生から手作りのプレゼントをもらおううれしそうにしていました。世界水泳では練習の成果を発揮して頑張ってください。

小学6年 長谷川絢美

レセプションでは、選手の入場を、歌で出迎えました。選手はみんな、背が高く、用意したパイプイスが小さく見えました。身長が高いとゴールするのも速くタッチできるのかなと思いました。英国選手も日本の選手と同じように応援したいです。2020年に向けて練習をがんばってほしいです。小学5年 月岡結菜

選手たちが、レセプションのギリギリまで練習して疲れていると思うのに、子どもの作ったトンネルをくぐる時、優しい笑顔をみせてくれたのが、印象的でした。ぜひ、世界水泳でも、頑張ってください。

小学5年 野口明日美

英国選手のチームワークがよかったです。一番チームワークが良いと思ったのは、飛び込みです。もし飛ぶ人がミスをしてしまったら練習のサポートをしている人が怪我する、そんな構図でした。それを見て私は「相手を信頼しているな」と思いました。私も練習することがあったら、協力していくことが大切だと改めて感じました。

小学6年 足立あやこ

レセプションの終わりに、英国選手達を通りかかったので、思い切って「GO GB!」と後ろから叫びました。そしたら選手達が、「Oh,Thank You!」と言ってくれたので、うれしかったです。

小学6年 草郷緑彩

英国選手と交流出来る場に参加できたことは本当に良い経験だったと思います。言葉を超えて会話するという楽しさや英国に対する興味を持てたので、今後は、世界水泳や東京2020大会などを通して、もっと英国について知る機会を作りたいです。

小学6年 田中希和

今回、英国チームの取材に行くととても感激しました。練習を見学していると、とても長い時間泳いでいるのに、自分たちに手を振ってくれたり、質問にやさしく答えてくれたり。また、小さな子には選手のカードを配ってくれて、ハイタッチをしてくれました。このように優しくしてくれる英国チームの練習を「GO GB!」の旗を振って応援できたのがとても嬉しかったです。来年の東京オリンピック・パラリンピックでは、英国チームも応援して、チームに貢献できるようにしたいと思いました。

小学6年 菊池直希

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港150周年・都筑区制15周年の節目にあたる2009年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学5年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2019.10.07 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## 日本の中のイギリス ～ 「英国大使館」 を取材しました！ 【2018年8月】



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回のレポートは、2018年8月に取材した「英国大使館」についてです。

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

---

### 日本の中のイギリス～「英国大使館」を取材しました。

都筑区は2020年オリンピック・パラリンピックのとき、イギリス代表チームの「事前キャンプ地」になることが決まりました。今回は、つづきジュニア編集局では、もっとイギリスを知りたい、2020年に自分たちがホスト地としておもてなしができることってなんだろう？という思いから、東京都千代田区にある駐日英国大使館を取材させていただきました。



まず入っておどろくのはその広さ。1人で行ったら迷子になりそうです。中にはアニメに出てくるようなドングリの木や家があり、なんともかわいらしかったです。大使館の敷地内には桜の木などが多く植えられていて、中にはエリザベス女王が植樹をした、という木もありました。他にも大使館職員のためのプールなどがあり、おどろきの連続でした。案内してくれた大使館の方から、「みなさんの中でイギリスに行ったことがある方はいますか？」という質問があり、ジュニア記者からは手があがりませんでした。 「いえいえ、いまもうここは実はイギリスなんですよ」と言われて、みんな、わーっとなりました。確かに建物や景色が、すっかりイギリスにいるようでした。



英国大使公邸の中は真紅のカーペットがしかれ、頭上ではシャンデリアが光っています。応接室には英国政府のアートコレクションから借りている絵画や大きなだんろがあり、まさに「お城」の中のような感じでした。素敵な家具、きれいで神秘的なオブジェなどがあってとても感動しました。

1階はお客様を迎える場所になっていて、毎日のように会合などが行われているそうです。日英関係のサポートや日本にいる英国の方々への援助を行っているこの大使館は1875年にこの場所につくられ、大使公邸は1931年に建て替えられたもので、大使はここに住んでいらっしゃるそうです。



私たちは、英国大使館のすてきな広間で、アフタヌーンティのおもてなしをうけ、本格的な紅茶とビスケットをいただきながら、インタビューさせていただきました。

---

## ここからは、記者たちからのインタビューです。

インタビュー相手：**オリンピック・パラリンピック参事官 Greg Mulheirn (グレッグ・マルハーン)**さん

宮下 敦行：なぜ日本の大使館で働こうと思ったのですか？

答え：英国政府の中でも外務省で働いていることで、色々な国に行けるチャンスがありました。たくさんの国がありますが、とりわけ英国と関わりの深い日本で働けるのは実に魅力的でした。今は、毎日日本食が食べられるのが楽しみです。

四方あかり：外国の方から見た日本人の印象を教えてください

答え：日本人は、細かいところによく気がつき、物事を完ぺきにこなすところがすばらしいですね。

田中希和：ロイヤルファミリーの方々は東京五輪に来られるのでしょうか？

答え：まだどなたが来られるかは分かりませんが、ロイヤルファミリーの中に元五輪の馬術の選手の方がいるので、来日されるかもしれません。

中島万賀：2020年、オリンピックのときにイギリスの選手が日本に来た際、どのように日本人を紹介しますか？

答え：日本の文化を紹介します。日本人はシャイだよということも紹介しますね。

久保心之介：イギリス人の人たちにとって、日本にはどのようなイメージがありますか？

答え：イギリスでも日本の武術や漫画、和食などが人気であり、高い技術と伝統的な文化が共生していることが日本の特徴です。また日本は交通も正確で、とても便利です。

藤江凜太郎：2020年のオリンピックで、横浜国際プールにイギリスの選手が練習にくるようになっていますが、何か私たちでも手伝えることはありますか？

答え：そう思っていることを知ったらイギリスの選手は喜ぶよ！！日本の選手を応援しながらイギリスの選手も応援してくれるととても喜ぶと思います。

清水麻緒：イギリスで最も人気のある観光地はどこですか？

答え：ピーターラビットの舞台にもなっている、湖水地方が人気です。他にも様々な観光地がたくさんあります。ぜひイギリスに来てみてください。

菊池直希：オリンピックが終わったあとも、都筑区との交流はありますか？

答え：今はオリンピックが終わった後にイギリスと都筑区でどういう交流ができるか具体的な計画はまだないが、これから2020年に向けてたくさん選手が来たり、また大会に参加するなかでたくさんの文化交流が生まれて、それがオリンピックの後に続いていくよう願っています。





## 記者たちの感想

今回、英国大使館の取材に行き、大使館の中の様子や、参事官のお話を聞くことによって、イギリスと日本の強い結び付きを感じました。私達も選手を迎える側として、イギリスの文化を理解しつつ、日本の文化を伝えられるようになにか出来ればいいなと思いました。 中島万賀

大使館の中に入ったらもうイギリスだということに驚きました。たくさんの職員の人たちが、声をかけてくれたり、建物の説明をしてくれて、とても分かりやすかったです。最後には参事官の方と名刺交換をすることが出来てうれしかったです。 菊池直希

イギリスでは、日本食や漫画が人気だそうです。日本の技術が優れていて、文化と祭と技術がまざっている所以日本は人気だと言っていました。オリンピックのときには、イギリスを応援したいと思います。 小森志穂

英国大使館に行ってみて予想以上に庭が広くて驚きました。

他にも、プールやテニスコートがあり私も住んでみたいなと思いました。 清水麻緒

僕は英国大使館に行って、実際にイギリスに行ってみたくなりました。僕の友達に以前ロンドンに住んでいた子がいて少し興味を持っていましたが、今回、大使館に取材をして、イギリスへのイメージが湧いてきました。2019年、横浜で開かれるラグビーワールドカップや、2020年東京オリンピックではイギリスの選手たちも活躍するので、選手の応援だけではなく、日本に観光に来たイギリスの人たちにもなにかサポートができればいいなと思っています。 久保心之介

英国大使館では、想像以上に警備が厳しいことに驚きました。そして、敷地の広さが学校1つ分もあることや、大使の家が敷地内にあることにもびっくりしました。 桑野煌己

私は英国大使館、イギリスに行かれてとても嬉しかったです。イギリス風のビスケットや紅茶がすごく美味しかったです。質問は、恥ずかしくて出来なかったけれどみんなの質問文やその答えが知れて良かったです。貴重な取材ができてとても嬉しかったです。 片井美礼

私は駐日英国大使の家に入ったとき、とても広く、ゴージャスでいいなと思いました。しかし暮らしは普通の人と同じだと感じました。

取材するときに、紅茶とビスケットを食べながら取材を受けたのですごく贅沢な気分になりました。おじょうさまになった気分になりました。 草郷緑彩

この取材を通じて、英国に対する興味がより深まりました。皆さんも、英国のことをもっと知ろうと思いました。 宮下敦行

英国大使館という普段入れないところにいれてもらい、すてきな建物や中の装飾など、すてきで驚きの連続でした。2020年の東京オリンピックで、日本とイギリスの友好関係がさらに深まるとよいですね。 四方あかり

取材の際に、シェフさん手作りの美味しいビスケットと美味しい紅茶を頂きました。本当にすてきな空間で感動しました。今回は貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。 田中希和  
ぼくは、イギリスのことについてあまりしらなかったのでインターネットで調べたり、友達に聞いたりしてイギリスのことについてできる限り調べてから取材にいきました。一番びっくりしたのは、大使館が広いことです。駅から大使館が見えたのに門まで行くのに5~10分かかったからです。そして中に入ってもすごく広くてとてもおしゃれなことにびっくりしました。 藤江凜太郎

取材：宮下敦行、四方あかり、草郷緑彩、藤江凜太郎、田中希和、片井美礼

桑野煌己、久保心之介、清水麻緒、中島万賀、小森志穂、菊池直希、長谷川絢美田岡美優、竹下奏

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港150周年・都筑区制15周年の節目にあたる2009年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学5年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2019.10.19 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## 英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」パネル&横浜国際プールを取材しました！



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回のレポートは、ひつじのショーンパネルと横浜国際プールについてです。

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

---

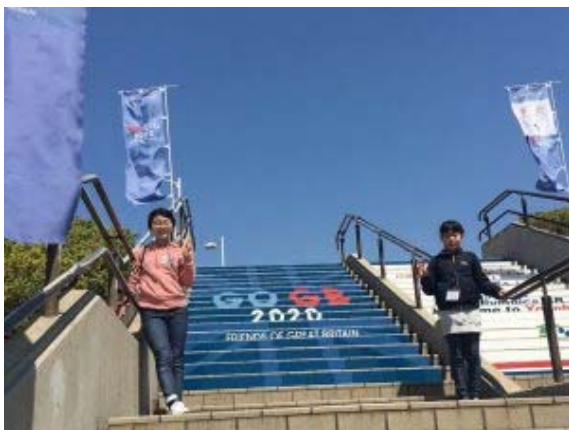
横浜市は東京2020大会の英国のホストタウンです。大会を盛り上げるため、英国のアニメ「ひつじのショーン」に親善大使になってもらうことになりました。6種類のパネルがデザインされ、そのうち2つのパネルが、都筑区役所と横浜国際プールにおかれています。今回私たちは、GOGB取材として、パネルを見に行ってきました。

都筑区役所では、区役所関連の展示があるときには1Fホールに展示されますが、普段は5Fの地域振興課の窓口近くに置いてあります。



国際プールでは、メインエントランスとメインプールの間の広いフロアにパネルが置いてありました。とてもかわいらしいパネルで、記念撮影にはぴったりです。

館内には、イギリスについてのクイズがパネルで展示されていたり、パンフレット等も置いてありましたし、北山田駅から国際プールに登る階段には、のぼり旗と階段にGOBGと書かれていました。ひつじのショーは昨年の都筑区民まつりのときには、ショーをしてくれて盛り上げてくれましたが、これからも英国と日本をつなげるための講座やイベントがたくさん企画されているそうです。楽しみです。



国際プールでは、今年の夏、イギリス選手が事前キャンプをすることが決まっています。忙しい選手の方たちと交流ができるかどうかは、わかりませんが、もしもインタビューできたら、ぜひしてみたいです。国際プールのスタッフの方に国際大会などを行うときの水泳競技の水温について伺ってみると、「季節によって水温を変えている。一般の方の温度よりも競技のときには低い温度に保つように調整している」との答えでした。私は1年中、一定の温度を保っていると思いましたが、予想外の回答でした。今回の取材でイギリスにさらに興味を持つことが出来ました。都筑区民のひとりとして、オリパラを盛り上げていきたいです。

取材：四方あかり、田中希和

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2019.12.26 事前キャンプを知ろう

『日本財団パラアリーナ』を取材！ハリー王子と交流しました！  
【2019 年 11 月】



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回は、日本のパラスポーツの拠点である「日本財団パラアリーナ」を取材しました。

また、この日はちょうどラグビーワールドカップ 2019TM 決勝戦（11月2日横浜国際総合競技場開催）のため来日された、英国王室のハリー王子がパラアリーナを訪問されることになりました。ハリー王子のご臨席を知らなかったジュニア記者は、突然の訪問に驚きながらも、しっかりとパラアリーナを取材してくれました。

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

みなさんは来年開催される東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見に行きますか？

私たちは、お台場にある『日本財団パラアリーナ』に取材に行きました。

『日本財団パラアリーナ』は、東京 2020 パラリンピック競技大会に向け、競技の強化やパラリンピックのことを多くの人に知ってもらうために、建設されました。このパラアリーナは、パラリンピック日本代表選手の合宿に使われたり、クラブチームの練習場所として利用することができたりします。また、海外の選手の方が日本語や日本文化を学ぶこともでき、全国的にも数少ない貴重な施設です。

まず、中に入ってみるとそこには巨大なアート作品が。そのアート作品はレゴブロックでできていて、香取慎吾さんがデザインしたそうです。この作品には、スカイツリーや東京タワーがあらわされていて、まちも含めてみんなで一つになろうという気持ちが感じられました。



施設には、ユニバーサルデザインが取り入れられていて、誰にでもわかりやすいようになっています。点字ブロックやスロープ、車いす同士でもすれ違える幅の通路など、完全にバリアフリー化されています。ドアのほとんどは幅が広くスライド式になっていて、競技用車いすでも通りやすいようになっています。実際、私たちの近くでも車いすに乗った方がスルスルとスムーズに通行していました。

私たちは、「アリーナ」というところに入りました。そこは体育館のようになっていて、中では車いすラグビーや、ポッチャの練習を行っていました。ポッチャとは、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う競技です。選手は、一生けんめい狙いを定めてボールを転がしていました。すごく真剣に取り組んでいるようすが伝わってきました。

車いすラグビーも初めて見ました。ボールを持ったら40秒以内にトライしなければいけないなど、他にも細かいルールがいくつかあるそうです。選手が乗っている車いすは、よく見ると私たちが普段見たことのある車いすとは違い、タイヤがハの字に取り付けてありました。そして、攻撃と守備でもまた車いすの作りが違っていました。選手同士がぶつくと、ドーン！という大きな音がアリーナにひびいていました。私は少しこわい競技だなと思いました。選手のみなさんはぶつかったり倒れたりしてこわくないのかな、痛くないのかな、と思いました。

そして、私たちが練習のようすを見ていると英国のハリー王子が、このパラアリーナに入ってきたのです！そして、私たちにも話かけてくださいました！

ハリー王子はイングランドのラグビー協会の名誉総裁を務めています。とてもスポーツ振興に熱心な方で、今回はラグビーワールドカップの決勝を見るために来日されました。



## 子ども記者の感想

僕の中でのハリー王子は、スーツを着てボディーガードに守られている、堅いイメージがありましたが、王子はカジュアルな服装で、ボディーガードもおらず、意外でした。

僕の斜め前に座り、周りの人に笑顔で接していて、僕にも「英語は話せますか？」と声をかけてくださいました。僕が「少しだけできます」というと、「それだけで十分だよ」と優しく答えてくれました。

いつもテレビで見ている王子が近くにいる、とても感動しました。しばらくすると王子は車いすラグビーやボッチャのほうに歩いていきました。王子が選手たち一人一人に声をかけている姿を見てやさしい方だなと思いました。ハリー王子と会い、とても親しみがわきました。オリンピック・パラリンピックでは、日本のチームも英国チームも応援しようと思いました。スポーツの魅力は無限大！来年が楽しみです。 小6 菊池直希

ハリー王子は、車いすラグビーや、ボッチャを熱心に見学していました。見学されている時、練習していた選手や、取材していた私たちにも楽しそうな笑顔で話しかけてくださりました。予想以上に優しく楽しそうな笑顔に感動しました。 小5 野口明日美

ハリー王子は背が高く笑顔でいねいにお話ししてくれました。私は、ハリー王子に「学校にプールはありますか？」と聞かれました。その事が気になりあとで調べたら、イギリスの学校にはあまりプールがないということがわかりました。日本の学校にはプールがあるのが普通なのでびっくりしました。私は、今は英語を話せないなので今回はハリー王子とお話しできませんでした。これから英語を勉強したいと思います。そして外国の人たちと一緒におしゃべりしたいです。 小5 月岡 結菜

パラアリーナの中に王子が入ってきた時に、ガラッと空気が変わって少しドキドキしたけど、ハリー王子は、私たちと話すとき、自分がしゃがんで目線を同じにして話してくれました。私は王子と会話と言うより、「心の優しい人」と会話しているようで温かく心が包まれました！ 小5 古林 沙羅

ハリー王子は、僕たちジュニア編集局のこどもたちに、「hello！」と声をかけてくれ、とてもフレンドリーな方でした。僕は王子の「今夜のラグビーでどちらの国が勝つかと思う？」や「学校にプールはありますか？」などの質問に答えました。来年、横浜にイギリスの選手が来るのがとても楽しみです。小6 藤江 凜太郎

私はハリー王子に自己紹介をすることができました。ハリー王子は笑顔でとてもフレンドリーに話してくれました。ボッチャの選手や車いすラグビーの選手のみなさんとも楽しそうに話していました。思いがけないハリー王子との交流に私はとてもドキドキして感動しました。貴重な体験ができました。 小5 廣田心乃

ハリー王子は私たちと一緒にパラリンピック競技のボッチャと車いすラグビーを見学されました。その後、全選手の近くに行って楽しそうに熱心に話をされていました。ハリー王子は背が高く、やさしい方でたくさんの方に話しかけていました。僕にも少し話しかけてくれました。とてもうれしかったです。少ししか会話できなかったのですが、もう少し長く話がしたかったです。 小6 鈴木翔大

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、

取材に行き、記事を書いています。



2019.10.19 2020.03.31 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## ★ようこそ！横浜へ ①みなとみらいおすすめスポット編



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集部」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回は、視点を変えて、英国代表チームのみなさんにぜひ訪れてもらいたい、横浜市や都筑区のおすすめスポットを紹介させていただきます。

今は外出がなかなかできない時期ですが、英国代表チームのみなさんが来年事前キャンプにいらしたときは、ぜひ参考にいただければと思います！

それでは、ジュニア記者によるレポートをお楽しみください。

---

### ■みなとみらいおすすめスポット編

・カップヌードルミュージアム 山本 承太郎（やまもと じょうたろう）

突然ですが、忙しくて夜遅くに帰宅したり、ふと小腹が空いていることに気づいたりしたとき、あなたはどのようにしますか？いちから自分で料理を作りますか？それとも仕方なく我慢しますか？私だったら、短時間で楽ちんにおいしい食事が得られるインスタントラーメンを食べます。

ということで、そんなインスタントラーメンについて楽しく学べる“カップヌードルミュージアム”を紹介したいと思います！



そもそもカップヌードルとは、日本の食品加工会社である日清食品が発売している即席麺・米飯のブランドであり、当時世界初のインスタントラーメンを開発した安藤百福社長の発明記念館がカップヌードルミュージアムなのです。

館内に入ってすぐに目にとまるのが、おっきなカップヌードルのオブジェ！最初にここで記念写真を撮る人が多いです。そして2階に上がると、そこには今日までのカップヌードルに関する展示物がずらっと並んでおり、どのようにしてインスタントラーメンが生まれたのか、安藤社長の苦悩や発想とともに分かりやすく学ぶことができます。

さらに上の階に上がると、今度は日清のインスタントラーメンを実際に作ることができるブースがあります。ここは特に人気があり、小麦をこね、のばすところから商品を手作りできたり、スープや具材を好みで選んで世界で一つだけの“オリジナルカップヌードル”を作ることができたりします。他にもカップヌードルが出荷されるまでの過程を体感できるアスレチック（入場は小学生以下）や、そこでしか買えない様々な商品が売っているお土産屋さんもあります。老若男女問わずどんな方でも楽しみながら学べるので、ぜひインスタントラーメンという分野でのクールジャパンを体感しに、カップヌードルミュージアムに足を運んでみてはいかがでしょうか？

・日本丸メモリアルパークの魅力 松山もこ（まつやま もこ）



日本丸メモリアルパークはランドマークタワーの前に広がっている広場です。そこには、「日本丸」というとても大きな船があります。この広場は坂になっているため、広場の芝生を駆け回るだけで、いい運動になります。日本丸メモリアルパークのいいところは、まだあります。それは、広場の坂になっている一番上に行くとも景色がいいんです！カシの木と似た形の木や、観らん車など見えるものはたくさんあります。それは、みなとみらいならではの絶景です！ぜひ日本丸メモリアルパークに行ってみてください。わたしは、日本丸メモリアルパークが大好きです。

・歴史だけでなく、未来の世界にも残り続ける、ドックヤードガーデン  
山本未来（やまもとみらい）



私が育ったまち、横浜は歴史的建造物と近未来的な建物が調和し、緑や花があふれる美しいまちです。そんな横浜のシンボルは、ランドマークタワーです。

ランドマークタワーの建っている場所は、もともと造船所でした。その造船所である、「旧横浜船渠第2号ドック」は、日本に現存する商船用石造りドックとしては、最も古いものです。そんな貴重なドックを残そうと復元されたのが「ドックヤードガーデン」というものです。今回私がオススメするのが、この「ドックヤードガーデン」です。



ドックヤードガーデンは、今たくさんの飲食店に囲まれています。家族や友人とわいわい楽しめるにぎやかな場所になっています。

そして夜には「プロジェクションマッピング」が開催されています。私も家族とあの大人気映画の「STAR WARS」のプロジェクションマッピングを見たことがありました。あまりに大迫力すぎてびっくりしました。また、歴史ある「ドック」で最新のプロジェクションを見ることができるのが不思議で、おもしろかったです。みなさんもぜひ行ってみてください。

#### ・大さん橋からの景色 平石莉子（ひらいしりこ）



私が紹介するみなとみらいスポットは「大さん橋」です。大さん橋は約130年前に前身となる鉄棧橋が完成し、6度の建設・増改築を経て2002年に完成した、横浜港における国内および国外客船のターミナルです。

大さん橋の最も特徴的なところは、客船ターミナルでありながら、屋上が公園として市民や観光客に24時間解放されていることです。屋上は環境に優しいウッドデッキ仕上げで、芝生の緑地もあります。海に浮かぶ雄大なくじらをイメージさせる外観から、「くじらのせなか」として親しまれ、大型客船の入出港時には多くの人で賑わいます。

大さん橋は横浜港に突き出しているため、大観覧車「コスモクロック21」や赤レンガ倉庫、ランドマークタワー、ヨットの帆をイメージしたヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル、また反対側には横浜ベイブリッジといった、みなとみらい地区を象徴する観光名所を一望できます。



私が特にオススメするポイントは夕方の景色です。夕日に照らされたみなとみらいの背景に浮かび上がるように見える富士山はとても美しく、きっと1日の疲れも吹っ飛びます。

みなとみらいの景色を一枚の写真に収めるなら、大さん橋がオススメです。ぜひ行って、横浜で過ごした思い出を写真に残してみてください。

---

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港150周年・都筑区制15周年の節目にあたる2009年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学5年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2019.10.19 2020.03.31 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## ★ようこそ！横浜へ ①みなとみらいおすすめスポット編



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回は、視点を変えて、英国代表チームのみなさんにぜひ訪れてもらいたい、横浜市や都筑区のおすすめスポットを紹介させていただきます。

今は外出がなかなかできない時期ですが、英国代表チームのみなさんが来年事前キャンプにいらしたときは、ぜひ参考にいただければと思います！

それでは、ジュニア記者によるレポートをお楽しみください。

---

## 月岡結菜（つきおかゆいな）



私は、都筑区のすてきなところをしょうかいします。都筑区には、人気ランキング一位の国際プールやいちご狩りなど、スポーツできる場所から気分転換できる場所まで、幅広くいろいろな場所があります。大きなショッピングモールなどもあり、多くのお店が並んでいるので、みなさんも足を運んで自分が好きなものや、お店を見つけてみて下さい。



私が一番おすすめしたいのは、それぞれの場所やけしきがきれいだということです。たとえば、みなさんも行くかもしれない国際プールのすぐ近くにある山田富士公園にはちいさな山があり、その山をのぼると、都筑区を一望できるところがあります。そこから見る景色は、絶対に忘れないと思います。そして中川駅には、おしゃれな歩道橋があり、ドラマの撮影にもつかわれたりもしています。ほかにもたくさんのきれいな、オシャレ、面白いがいっぱい見つかります。時間があったらぜひ行ってみてください。みなさんには日本で全力を尽くしてほしいです。オリンピック・パラリンピックに向けてがんばってください。おうえんしています。

## 菊池直希（きくちなおき）



2019年7月の取材では、迫力のあるかついい練習を見学させていただきありがとうございました！選手のみなさんは、僕が思っていた以上に優しく、ユーモアがあふれる方ばかりで、交流できたことが、とても楽しかったです！

みなさんは、都筑区で気に入っているところはありますか？

ぼくは、たくさんのショッピングセンターがある中で、田んぼや畑、緑道など、たくさんの緑に囲まれたこの都筑区は、本当に暮らしやすいと思っています。

英国には中華街があるということ調べて初めて知り、驚きました。僕たちの住んでいるこの横浜にもとても大きな中華街があるので、ぜひ行ってみてください！

この取材を通して、オリンピック・パラリンピックでは日本のチームだけではなく、英国代表チームの皆さんも応援してみようと思いました！ GO GB！！

## 田中希和（たなかきより）





私は、GOGB取材に参加したことで、英国との関わりについて、より詳しく学ぶことができました。2019年には、ジャパンパラ水泳競技大会、英国大使館、今年度は、英国事前キャンプ取材に参加させていただきました。この2年間でオリンピック&パラリンピックに関係するさまざまな方とふれあい、国や言語を超えて話すことができてすごくうれしかったです。

私は、英国自体に行ったこともないし、文化やスポーツなどあまりわからないことがたくさんありました。でも、実際に英国文化を体験することで、知識を深めることができました。文化の違いや似ているところを探したり新たな発見もたくさんありました。

私は、今まで海外の方とふれあう機会があまりなかったけれど、取材をしたことで、親近感を持ち、一生懸命練習に励んでいる選手たちを見て勇気をもらえました。英国代表選手もオリンピック・パラリンピックに向けて頑張っていてほしいと思います。

### 清水麻緒（しみずまお）

私は、幼稚園の頃からずっと大好きな水泳をやっています。私にとって水泳とはとても身近なものです。2019年の夏、横浜国際プールで実際にオリンピックに出場する英国代表選手のみなさんの練習を見たり、水泳をやるうえで日々心がけていることを聞いたりすることができ、とてもいい経験になりました。そして、毎日12km~14kmを泳ぎこなし、自分のコンディションによって、食べるものも工夫しているところなどが真のプロなのだなど、しみじみ実感しました。

私はジュニア記者として英国大使館の取材に行き、英国のおもてなしや文化に触れました。そのことで、英国への親しみを覚え、興味が深まりました。水泳や陸上など様々な競技で活躍している英国代表選手の輝いている姿が見られることを、心待ちにしています。厳しい練習を乗り越えて、たくさんのメダルを獲得できるよう応援しています！

### 月出幸輝（つきでゆきてる）



都筑区は、小松菜の生産量が日本一です。小松菜の特徴は、どんな料理にもあうことです。例えば、ペペロンチーノやちりめんジャコと干しエビの炒め物、豚肉とキクラゲの炒め物などです。小松菜の栄養素はカルシウム、鉄分、ベータカロチンが多いです。特にカルシウムと鉄分は野菜の中で、トップクラスです。

また、都筑区の方は、とてもやさしく親切なので、困ったことがあったら、何でも気軽にきいてみてください。

ぼくは、都筑プールのスイミング教室に通っているのですが、オリンピックでは水泳の試合を見に行きたいです。応援しますので、頑張ってください。

## 廣田心乃（ひろたこのの）



英国代表選手のみなさん。私たちの住んでいる横浜市都筑区には、みなさんに紹介したいポイントがたくさんあります。中でも代表的なおすすめポイントは、都筑区で収穫される野菜と緑豊かな公園です。都筑区で収穫される野菜の旬は、主に、春はキャベツ、夏はキュウリ・ジャガイモ・トマト・ナス、秋はキャベツ・ナス、冬は小松菜・ほうれん草・大根・里芋・人参です。

その中でも一番は小松菜がおすすめです。平成 15 年には都筑区での小松菜の収穫量が全国で一位になったそうです。英国代表選手の皆さんにも是非おいしい小松菜をたくさん食べてほしいです。

次のおすすめポイントは都筑区にたくさんある公園です。都筑区の公園は緑にあふれていてとてもきれいです。中でも都筑中央公園は、春になると公園に植えられている桜の木が満開になります。とても美しい桜の花を見ながら広い公園を散策するのも楽しいです。他には山田富士公園もおすすめです。ここには梅の木があり、桜とはまた違う魅力があります。梅にはとても日本らしさを感じられます。英国代表選手の皆さんにも日本を感じながら公園散策を楽しんでもらいたいです。オリンピックが無事に開催されて、英国代表選手の皆さんと都筑区で会えるのを本当に楽しみにしています。

---

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2020.11.06 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

【横浜市】『ホッチポッチミュージックフェスティバル 2020』出演の、ジェラルド・ミュヘッドさん取材！英国伝統の楽器バグパイプの音色、衣装に触れて【2020年10月】



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集部」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

昨年度までは英国をお迎えするホストタウンとして、英国の文化やスポーツ、人に触れて、さまざまなレポートを記事にしてきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、人と人との直接の交流が大変難しくなっています。

そんな中、10月18日(日)「ホッチポッチミュージックフェスティバル2020」の音楽イベントが新市庁舎1階のアトリウムで開催されました。

今回は、このイベントにご出演された英国出身のジェラルド・ミューヘッドさん取材してくれました。ジェラルドさんは、英国の伝統的な楽器、バグパイプの演奏者です。それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

## ■バグパイパーのジェラルドさん

モロー・プリンセス

バグパイパーのジェラルドさん取材しました。ジェラルドさんがバグパイパーになった理由は、おじいさんもバグパイパーで、バグパイプは身近な存在だったからでした。また、ジェラルドさんが絵のコンテストで優勝し、チケットをもらって行った演奏会のときに、バグパイプの演奏を聞いて、その伝統的でカッコいい音色を好きになったからだ、と言っていました。

私は、「バグパイプは何種類あるのか」と聞いてみました。昔は、なんと世界中に30種類ものバグパイプがありましたが、現在は、アイルランド、イングランド、スコットランド、スペインのバグパイプの4つが有名で、受け継がれています。ジェラルドさんが演奏するスコットランドのバグパイプの重さは4kg以上あり、とても重いそうです。

ジェラルドさんは、エリザベス女王の前での演奏経験やジブリのゲド戦記の音楽を担当するなど、さまざまに活躍されていて、すごいなと思いました。私も将来ジェラルドさんのようにみんなに尊敬される人になりたいです。



子ども記者みなさんとジェラルド氏

## ■バグパイプって面白い！

宮下愛紗（みやしたあいさ）

私たちは、日本で活躍するバグパイプ奏者の、ジェラルド・ミューヘッドさんの演奏を聴き、そしてインタビューをしました。バグパイプとは、リード式の民族楽器で、笛の取り付けられた数本の音管を留気袋につなぎ、ためた空気を押し出すことでリードを震わせて音を出す楽器のことです。

インタビューではたくさん質問をしました。

Q：どうしてバグパイプを始めたのですか？

A：理由は2つあります。1つ目は、祖父がバグパイプをやっていたことです。2つ目は、私は昔、絵を描いていて、絵画のコンテストで入賞した時にバグパイプコンサートのチケットをもらい、聴きに行って、すてきだと思ったからです。

Q：ネットに、ジェラルドさんが2006年にジブリのサウンドトラックで演奏したと書いてありましたが、何のジブリ作品だったのですか？

A：「ゲド戦記」です。

Q：かぶっている帽子は、何でできているのですか？

A：ダチョウの羽です。この帽子をかぶると大きく見えるため、軍隊も使っていました。

Q：バグパイプを演奏するのは、難しいですか？

A：はい。ピアノのように、どこを押したらどの音が出ると決まっておらず、息の量を自分で調節して吹くので難しいです。

Q：バグパイプの、女性奏者はいますか？

A：昔はいませんでした。しかし、今はいます。全体の95パーセントは男性です。女性奏者は男性奏者より少し小さめのバグパイプを吹きます。

バグパイプの種類は、スコットランドのほかに、アイルランドとイギリスとスペインのものがあるそうです。また、バグパイパーの正装の帽子とベルトについているシカのバッジは、「大きくて強い」男性の象徴を表しているそうです。シカが多く生息するスコットランドならではの、文化を感じました。

## ■流麗なるスコットランド

橋本みなみ（はしもとみなみ）

10月18日に、横浜市新市庁舎のアトリウムで開催された「ホッチポッチミュージックフェスティバル」で、ジェラルド・ミューヘッドさんのバグパイプ演奏を聴いてきました！

ジェラルドさんは伝統的なスコットランドの衣装、キルトを着て登場しました。金糸で縁取られた黒のジャケットの上に、赤いタータンチェックの布を巻き付け華やか、かつシックな装い。合間にバグパイプの仕組みや衣装の説明をしながら5曲演奏されました。

スコットランドの伝統的な「勇敢なるスコットランド」は勇ましく、格調高い曲でした。実際に戦場で演奏されていた曲だそうです。あの有名な「アメイジンググレイス」の演奏も聞くことができました。美しい旋律と会場を包む音色に、まるでスコットランドの草原にいるような心地よい感覚を覚えました。

ジェラルドさんは、毎年この「ホッチポッチフェス」に出演されています。しかも黒いファーの帽子をかぶり最高レベルの正装で演奏しているそう。ぜひ来年の「ホッチポッチ」に来てスコットランドの文化に触れてみてください。



伝統的な衣装を纏い演奏するジェラルド氏

#### ■すてきな伝統を残していくことの大切さ

林愛凜（はやしあいら）

10月18日ホッチポッチフェスティバルで、ジェラルド・ミュヘッドさんがバグパイプを演奏するのを見て、取材しました。ジェラルドさんがバグパイプをはじめたきっかけは、おじいさんがバグパイプをやっていて、すごく身近な存在だったことからです。ジェラルドさんは昔とても絵が上手で絵のコンテストでとてもよい賞をもらい、その賞品でバグパイプのショーのチケットをもらいました。そのショーをみて、自分もやってみたくておもったのです。その後ジェラルドさんは、国際バグパイプコンテストで最優秀賞を受賞し、エリザベス女王の前で演奏するまでになりました。スタジオジブリの映画「ゲド戦記」でも演奏をしているのだそうです。来年のオリンピックでも演奏をしたいと話していました。

次にバグパイプについてです。バグパイプには、大きく分けて4つのタイプがあるそうです。昔は30タイプあったといわれています。1番有名なのはスコットランドのバグパイプです。ものすごく重く、4kgもあるそうです。2つ目はアイルランドのバグパイプです。このタイプはすわって、わきでふくろをおして演奏します。3つめはイングランドです。とても小さく音も、小さな音がでます。4つめはスペインです。

ちなみにジェラルドさんの演奏しているバグパイプは、1番有名なスコットランドの物です。「バグパイプは男性のイメージが強いですが、女性はいるのですか？」と質問しました。

昔はいなかったのだけれど今は、95%が男性で残りの5%が女性だそうです。女性は指が細く、すばやく動かせるので、いま期待されているそうです。

私はこの取材を通して伝統とはなにか知ることができました。 こういった大切なものを残していきたいとおもいました。



ジェラルド氏の説明に興味深々の子ども記者

#### ■バグパイプ演奏会の感想

峯岸りさ (みねぎしりさ)

私は、バグパイプを演奏するところをはじめて観ましたが、迫力がすごくて驚きました。チャンスがあれば1回は演奏してみたいです。私は、音楽が好きなのでとても楽しかったです。日本のみんなを楽しませてくれる演奏会を計画してくれてありがとうございました。

#### つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして 取材に行き、記事を書いています。

2020.11.12 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## 【横浜市】『ローズ&ガーデンマーケット 2020』 日本で活躍されている、英国人ガーデナーのマーク・チャップマンさん取材！【2020年11月】



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区で活動している、「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

新型コロナウイルス感染症拡大のため、横浜市でも様々なイベントが中止されていましたが、10月31日（土）、11月1日（日）に「秋のローズ&ガーデンマーケット2020」が青空のもと、感染症予防策を十分にとったうえで日本大通りにて開催されました。

横浜市オリンピック・パラリンピック推進課は、このイベントに「英国事前キャンプ・ホストタウンPRブース」を出展！ご来場の方々にご協力頂き、英国代表チームへ応援ムービーを送るための写真撮影を行いました。

今回は、ジュニア記者の皆さんがブースの出展の応援とともに、英国出身のガーデナー、マーク・チャップマンさん取材してくれました。マークさんは、このイベントに花を添えた「ひつじのショー」と「ガーデンベア」のウェルカムガーデンの制作者です。

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。





英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」のスタチューも展示



ガーデンベアとジュニア記者

● 「気持ちでつながる秋のローズ&ガーデンマーケット」 山本 未来（小6）

10月31日、日本大通りで「秋のローズ&ガーデンマーケット2020」が開催されました。日本大通りは出店でとても賑やかでした。

そこで私たちは、最初に英国事前キャンプ・ホストタウンPRブースを手伝いました。そのブースの目的は、東京オリンピック・パラリンピック英国の代表選手に「一緒に頑張ろう！」というメッセージを含め、メッセージボードを持って、イベント会場に来た方に写真を撮ってもらうというものです。私たちは、会場で、子どもから大人の方まで、いろいろな方に声をかけたり、グッズを組むことに大忙しでした。少し疲れましたが、たくさんの人の笑顔を見て嬉しい気持ちになりました。



英国事前キャンプ・ホストタウン PR ブース準備中！



サイレントメッセージ用の写真撮影テスト中！

また、私たちは、ガーデンデザイナーのマーク・チャップマンさんに取材することができました。マーク・チャップマンさんが担当したウェルカムガーデンは、いろいろな大きさや色の植物がバランス良く並んでいて、とても綺麗でした。英国・横浜の親善大使の「ひつじのショーン」やマスコットの「ガーデンベア」が引き立っていて素敵でした。

マーク・チャップマンさんは、4歳の時からイギリスでおじいさんと一緒にお庭のお手入れなどをしていたそうです。大学の時には、デザイナーの勉強をしていたそうです。そして、いまから23年前に仕事で日本の長野県に来たそうです。マーク・チャップマンさんは、ヘッドガーデンというガーデンデザイナーのトップであり、いろいろな知識を教えてください、興味深かったです。日本の気候を知るため、ガーデン日誌を毎日つけていたと聞きました。その日の気候や温度などいろいろな情報を書き留め、後で見返し、もっといいお庭を目指しているそうです。私は、学者さんみたいだなと思いました。そんな、マーク・チャップマンさんは「ガーデンデザインは言葉では表せないけど、気持ちではつながれます。ひつじのショーンと同じです」と教えてくれました。その言葉を聞いて、ブースで手伝いをしていてお客さんの笑顔を見て、言葉がなくても気持ちで、言葉以上につながることもあるのだなと思いました。

僕たちは、日本大通り・横浜公園で行われた、「秋のローズ&ガーデンマーケット 2020」に行き、マーク・チャップマンさんにお話を伺いました。チャップマンさんは、ヘッドガーデナーという、お仕事をしています。ヘッドガーデナーは、ガーデニングをした後の花の手入れまで手がけるすごいお仕事です。チャップマンさんは、イギリスで生まれ、4歳の時からしていたガーデニングと、イギリスの大学で学んだデザインの知識を生かし、ヘッドガーデナーになったそうです。日本には、もう23年も住んでいて、とても流暢に日本語を話される方でした。

そんなチャップマンさんにインタビューをしていて、僕が驚いたのは、日本に住み始めてからの数年間、毎日天気をメモしていたということです。日本の気候はイギリスの気候と全く違い、植物を育てるにあたって、日本の気候の特徴をしっかりと理解しなくてはならなかったそうです。そのために毎日毎日天気をメモしていました。

もう一つ僕が面白いと思ったのは、チャップマンさんが好きな植物です。その植物とは、「Gunnera(グンヌラ)」です。日本では、オニブキとして知られています。約1億5千万年前から生息していて、世界で最も大きな葉をつける植物とされています。この植物が好きだということを知り、さすが何年もガーデニングをしてきた方だなと思いました。今回の取材で、全く知らなかったガーデニングとガーデナーについて知ることができました。とても大事な仕事だということを知り、ガーデナーのことについて、もっと伝えていきたいと思いました。

● イギリスからやってきたガーデニング博士、マーク・チャップマンさん取材 廣田心乃（小6）

今回のローズ&ガーデン GOGB 取材では、英国事前キャンプ・ホストタウン PR コーナーのお手伝いや、マーク・チャップマンさんへの取材をし、とても印象に残りました。チャップマンさんはガーデニングデザイナーです。小さいときからガーデニングにかかわっていました。ガーデニングデザイナーは、植物に合った土のことや、土地の環境、気候、その他たくさんを知っていないとはいけません。チャップマンさんは、植物の名前からその植物の出身地がわかると言っていました。すごいなと思いました。



英国出身のガーデナーのマークさんにインタビュー

日本には、仕事で来たのがきっかけです。その後日本に暮らすようになり、20年になります。日本に来て一番印象に残った仕事は何かを聞いてみました。それは、長野県の白馬村スキー場のガーデンデザインだったそうです。チャップマンさんが大切にしているのは、「植物の勉強と未来のことを考える」ということです。

チャップマンさんはこのすべてのことをジェスチャーをしながら、わかりやすく教えてくれました。私は植物のことをあまり知らなかったのですが、チャップマンさんの取材を通して植物について少し知ることができて、さらにもっと植物のことを知りたいと思いました。私は今回の取材を通して、植物を大切にしていきたいという気持ちが強くなりました。

### 感想+++++

マーク・チャップマンさんは、イギリスから日本に来て、お庭を作ることになってから、日本の気候のようすをすべて書きとめたということです。たとえば「気温の差が激しい」「しとしと雨が多い」などです。そこからガーデナーとしてのさまざまな情報を得ていることがすごいと思いました。マーク・チャップマンさんは、良い庭を作るために一生懸命メンテナンスしたり、豊富な知識を得ている事がわかりました。そして、その庭の未来を考えた上でのランドスケープデザインにしたり、庭で花々を長く楽しむ為に球根を植えるなどしていることに感動しました。（月岡 結菜）

私はローズガーデンを見て、デザイナーのマーク・チャップマンさんはスゴいなあと思いました。花で「ひつじのショーン」や「ガーデンベア」などを飾っていて、お花でこんなにキャラクターをもっと可愛く出来るなんて思ってなかったからです。（モロウ・プリンセス）



ショーンを囲んでマークさんとジュニア記者で記念撮影！

### つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして 取材に行き、記事を書いています。

2020.11.12 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## 【横浜市】『共生ホストタウン・バリアフリーマップ作成まちあるき体験』誰にでも優しいまち「横浜」であるために【2020年12月】



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区で活動する「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回は、東京 2020 大会を契機とする共生社会の実現に向けた理解促進の取組として、横浜市内で大会会場となる横浜スタジアム周辺及び聖火リレーセレブレーション会場となる赤レンガ倉庫周辺について、つづき・MM ジュニア記者の子どもたちに、バリアフリーマップを作成するためのデータ収集の調査に参加して頂きました。

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。



バリアフリー調査のための車いす体験

2020年12月13日、私たちジュニア記者は、オリンピック・パラリンピックのとき、聖火リレーの会場の一つとなる赤レンガ倉庫周辺の、バリアフリーマップ作りのための調査に参加しました。マップを作る前に、NTTクラリティで働く障がいのある方より、当事者の立場から、「心のバリアフリー」というお話をオンラインで聞きました。

今回のお話は、視覚障がいの方と身体障害（車いす）の方からで、初めて聞く話ばかりでした。お話の中で、国内で障害を持っている方は13人に1人ということを知りました。



心のバリアフリー講座を熱心に聞く様子

また、障がいの中にも色々な種類があることが分かりました。例えば視覚障がいだと、全盲で全く見えない人や、弱視で視力が弱く少し見えづらい人がいるということです。パソコンに書いてある文字やメールの内容などを音声読み上げで確認しているということで実際に聞かせてもらいましたが、音声再生はすごいスピードで驚きました。

また、目の見えない方に方向を教えるのに時計の文字盤で表すとよいそうです。手助けするときには、何か最初に声をかけてから助けて欲しいと教えてもらいました。

午後、私たちは「象の鼻チーム」「万国橋チーム」「新港チーム」「馬車道チーム」の4つに分かれてまちあるきをし、マッピーズ (MaPiece) を使って調査をしました。マッピーズ (MaPiece) とは、バリアフリーマップをつくるためのアプリです。このアプリでは、タブレットなどを使って、横断歩道の傾斜 (勾配) を計ることもできます。傾斜が2度から3度だと車いすでも通れるそうです。でも、5度ぐらいだと車いすにとってはきびしいと教えてもらいました。また、段差が2センチメートル以上でもバリアとなってしまいます。



マッピーズ (MaPiece) を使ってまちあるき

さらに信号の有無、音のなる信号機がついているか、方向制限があるか点字ブロックがあるかなども、タブレット上の地図上に入力しました。

チームの中で、それぞれ車いすに乗って車いす視点から見る人、車いすを押す人、紙にまちあるきで気がついたことを記録する人、マッピーズ (MaPiece) に入力する人などに分かれて、みんなで交代に担当しました。後半からは、車いすを自分自身で押して移動する体験もしてみました。私たちは必要とされた範囲の調査を無事終えることができ、最後に調査で感じたことを大人のみなさんの前で発表しました。

地図が完成して、世界中の人に役立つといいなと思います。

調査、取材：

(つづきジュニア記者) 浅谷 凜果、小川 悠樹、澤田 篤紀、長谷川 路彰、林 愛凜、宮下 愛彩、森 結花、モロウ プリンセス、山田 万里奈

(MM ジュニア記者) 小林 廉、橋本みなみ、山本 承太郎、山本 未来

**みんなの感想++++++**

車椅子を始めて乗ってみて気づいたことは、私たちには、気づかないほどの低い段差も乗り越えるのが難しいということです。そして、車椅子に長時間乗っていると車に乗った時のように酔ってしまいました。バリアフリーマップを作ってみてたくさんの発見があったし、障がいがある人の気持ちを知ることができました。

(山田 万里奈 小6)

ぼくは、今回のバリアフリーの取材でたくさんの発見をしました。そのひとつが公衆電話に車イスが入れないことです。公衆電話の中には、スロープもなく、段差があり、幅が狭くて車イスが入れないものもありました。公衆電話は、緊急時に必要なものだから、まちなかに設置されている公衆電話はなおさらバリアフリー化してほしいと思いました。

(澤田 あつき 小6)

まちなかにあるきでは実際に車椅子に乗りました。そうすると今まで当たり前のように思っていたことが障害者には大変だということが分かってきました。例をあげると、まちなかにある掲示板です。私たちはふつうに見やすい高さだと思っていますが、車椅子に乗っている人は少し高く感じ、昼などは日が反射して見えにくいです。また他に、横断歩道に信号があるか、そしてその信号は音が鳴るかなどいろいろなことを調べました。私は来年オリンピックが開催され、今回の調査が役に立つことを楽しみにしています。

(浅谷凜果 小5)



障害当事者と一緒にまちなかにあるきをして学ぶことが沢山ありました

今回私はとても貴重な体験をしました。障がいのある方々の大変さがわかり、現在のまちなかの状況も知ることができました。ゴミや落ち葉がじゃまになることもあると知り、私もバリアフリーにつながるようなゴミ拾いなどをしていきたいです。

(林 愛凜)

みなさんは、いつも通っている道路や横断歩道に不便さを感じていませんか？私たちは、「バリアフリーマップ作成のためのまちなかにあるき」に参加させていただきました。

私は実際に、車イスに乗ってみました。すると後ろから押してもらうときは楽だったけれど、いざ一人でこぐとなると、歩いているときは気づかない程度の道の傾斜でも、苦しかったです。また、道に設置されている自動販売機が高く、車イスではとても届きませんでした。普段、まちなかのバリアフリーは整っている方だと思っても、実際に障害者視点で考えてみると、まだまだバリアフリーは足りないところがあるなと思いました。これからは街のバリアフリーが進むといいなと思います。

(宮下愛彩 小5)





傾斜をはかるために地面において測定

実際に車椅子にも乗ってみて、馬車道駅から赤レンガ倉庫の周辺の「バリアフリー」と「バリア」を調査しました。

「この辺はバリアフリーが進んでいるエリアです」と事務局の方が言っていました。確かにその通りだったのですが、それでもまだ階段や音が出ない信号機など、バリアフリー化されていない所もありました。僕は横浜のすべてがバリアフリー化して、どんな障がいのある人でも、安心して外出できるようなまちになってほしいと思いました。

(長谷川路彰 小5)



バリアフリー調査後の振り返り。たくさんの気づきを各班で発表

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして 取材に行き、記事を書いています。

2021.03.06 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## 【横浜市】GO GBの活動を発表！こどもメディアシンポジウム 2021 in Yokohama【2021年2月】



横浜市では、英国の事前キャンプ練習会場「横浜国際プール」のある都筑区で活動している、「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回は、ジュニア編集局の皆さんが企画し実施した、「こどもメディアシンポジウム 2021 in Yokohama」における、GO GB ウェブサイトの取材など、自分たちの活動報告を含めた発表や展示等についてレポートしてくれました！

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

2月28日に、こどもメディアシンポジウム 2021 in Yokohama が横浜市役所のアトリウムで開催されました。

このシンポジウムは、こどもメディアの活動の魅力と価値をつたえたいという目的で開催されました。そして横浜で活動する、横浜市都筑区での「つづきジュニア編集局」と横浜市西区を中心とした「みなとみらいジュニア編集局」の活動を広く知ってもらうことも大きな目的です。シンポジウムでは、ゲストとして石巻や千葉、岩手、アメリカなどからも Zoom で参加していただきました。

当日はパネル展示も行いました。現在まで発行した新聞のパネル、各地域の新聞や活動資料などの展示の他、GOGB 関連のパネルも展示しました。東京オリンピック・パラリンピックで、英国のホストタウンとなっている横浜のことをお知らせするパネル、ジュニア記者も手伝って作成された、聖火リレーのコースの赤レンガ倉庫周辺のバリアフリーマップなどです。

コロナ禍のため入場制限される中での開催でしたが、おおよそ 80 人が会場でリアル参加し、そしてその様子を YouTube ライブ配信し 300 ビューがありました。

こどもたちが中心になって行われたこのシンポジウム。司会もみなとみらいジュニア記者の高校 3 年生、橋本みなみさんとジュニア記者出身で現在社会人の 21 歳になる百崎佑さん。こどもたちの発表の中ではオリンピック・パラリンピック関連の取材について以下のような発表がありました。



メディアシンポジウムの様子

#### ●発表者① モロウ プリンセス **Morrow Princess, Speaker**

私たちジュニア記者は、日本大通りで行われた、「秋のローズ&ガーデンマーケット 2020」のお手伝いをしました。当日 PR ブースに来てくれた人たちに、英国選手へのメッセージをおくる写真撮影をお願いしました。たくさんの方がオリンピック・パラリンピックを楽しみにしていて、写真撮影に参加してくれました。

また、秋のローズ&ガーデンマーケットのガーデンデザイナーのマーク・チャップマンさんにインタビューしました。チャップマンさんは花で「ひつじのショーン」や「ガーデンベア」などを飾っていて、お花でこんなにキャラクターをかわいくしているのがすごいと思いました。



Jr 記者が熱心に取材をする様子

●発表者② 林 愛凜 Airi Hayashi, speaker

私たちジュニア記者は、オリンピック・パラリンピックのとき聖火リレーの場所となる赤レンガ倉庫周辺の、バリアフリーマップ作りのための調査に参加しました。私たちは4つのチームに分かれてまちあるきをし、マッピーズ (MaPiece) を使って調査をしました。マッピーズとは、バリアフリーマップをつくるためのアプリです。今日、地図が完成したので会場に置いてあります。ぜひ見てください。世界中の人に役立つといいなと思います。



GOGB の PR や共生社会の取組みに参加した成果展示の様子

その他にも、石巻日日こども新聞や四街道こども記者クラブからの活動報告の他、コロナ禍での緊急メッセージとして、こどもたちにコロナ禍でのアンケート調査報告などもありました。今回のシンポジウムは、反響が大きく、事前記事は東京新聞、横浜経済新聞、事後記事は、朝日新聞や読売新聞などにも取り上げられました。

以下、こどもメディアシンポジウムにおけるジュニア記者たちの感想です。

僕は、こどもメディアシンポジウムに参加し、他の地域のジュニア記者の発表を聞き、ある共通点に気付きました。それは、この活動を通して自分たちのまちのよいところを知ってもらおうとしていることです。ジュニア記者の活動が大切なことだと改めて実感しました。その後、本物の記者の方が僕たちに質問する「記者会見」がありました。僕は、がんばってすべての質問に回答しました。僕は、都筑区のことをさらに知りたいし、都筑区をたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。

小川悠樹（オガワユウキ）



Jr 記者の OGOB がオンラインで参加し、トークセッションを実施

シンポジウムでは、ジュニア記者の発表に対して、本物の新聞記者の方々が質問をしてくれました。私もいろいろな考え方ができるようになりたいとシンポジウムを通して思いました。

田岡 優月（タオカユツキ）

コロナ禍のなかでも、ジュニア編集局では Zoom などを使ったオンライン取材や、感染対策をした取材を行っていました。これからもこんな状況だからできない、行えないと思わずに、工夫して取材したいです。

広瀬 文香（ヒロセフミカ）

このコロナ禍でもこのような発表をすることができてうれしかったです。自分の発表が思い通りに行きました。記者のみんなも楽しめてよかったなと思いました。

峯岸里沙（ミネギシリサ）

石巻日日こども新聞の太田さんの発表で、震災にあったこどもたちがワークショップで作品に「死」と書いたことが、こども新聞の始まりだと知りました。こどもたちが、震災後も心が深く傷つけられているのを知り、このようなことも取材したいと思いました。

モロウ プリンセス



オンラインで繋ぎ発表をする Jr 記者

私は今回のシンポジウムで本当の記者会見のような場所で発表できたことが楽しかったです。また、学校や塾以外の新しい友達もでき、楽しく過ごせました。発表前の準備ではみんなと協力しながらでき、本番では達成感がありました。

浅谷凜果（アサヤリンカ）

いろいろな人に、こども記者について知ってもらうことができよかったです。また、今回のシンポジウムで、話すということが上手くなったような気がします。楽しかったです。

林愛凜（ハヤシアイリ）

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして 取材に行き、記事を書いています。

2021.03.24 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

すべての人をつつみこめる社会へ～英国パラリンピアンからのメッセージ「共生社会について考える」オンラインセミナーを視聴して

## 英国パラリンピアンからのメッセージ ～共生社会を考える～ オンラインセミナー



■日 時:2021年3月19日(金)  
17:30～18:30

■講演者:スージー・ロジャース氏

横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課  
協力:ブリティッシュ・カウンシル

UK IN JAPAN  
GREAT PARTNERSHIP



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区で活動している、「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

去る3月19日、ブリティッシュ・カウンシル協力のもと、英国のパラリンピアン、スージー・ロジャースさんに生出演いただき、共生社会について考えるオンラインセミナーが実現しました。セミナーにご参加いただいたジュニア記者さんに、今回のセミナーについてレポートをしていただきましたので、ぜひご覧ください。

英国のパラリンピック金メダリストのスージー・ロジャースさんの「共生社会について考える」をテーマにしたオンラインセミナーに参加しました。1時間ほどの短い間でしたが、幅広い分野のお話を聞くことができ、貴重な体験でした。

スージー・ロジャースさんは、バタフライと自由型を得意とする水泳選手でした。ロンドン五輪では3部門で銅メダルを獲得し、次のリオ五輪では金メダルを獲得し、銅メダルも2つ獲得するという華々しい功績をもつ人です。引退されてからは、「インクルージョン」についてグローバルに講演を行い、ブリティッシュ・カウンシルの障がい者諮問委員会のメンバーとしてや、障がいのある人をサポートする活動を行なっているそう。水泳選手として海洋生物や地球の生態系を守る活動も行なっているとのことでした。

「インクルージョン」とは、障がいのあるすべての人が教育、雇用、余暇、社会などあらゆる分野に参加することを確保し、そのために必要なサポートや体制を提供するという理念で、障がいのあるひと、ないひとと共生し、つつみ込んでいくという考え方です。ロジャースさんは、セミナーの中でこれをよく口に出していました。障がいのある人だけを特別扱いするのではなく、怪我をしている人や体調の悪い人、高齢の方や小さい子ども、妊婦さんも、そして私たちのためにもできるだけバリアを減らしていくべきだと思いました。

また、物や施設のバリアフリーだけでなく、心のバリアフリーも大切だと言っていました。心のバリアフリーを進めていくためには、多くの障がい者の人を知る機会が大切です。すると、パラリンピックで見ることができる、カッコいい選手たちは、私たちが障がい者のことを知る最初のきっかけになりうるのではないのでしょうか。いろいろな人が集まって協力するパラリンピックを理想の形（ロールモデル）とし、日常生活に役立てて欲しいと、ロジャースさんはメッセージをくれました。

私は2020東京パラリンピックのボランティア資格が残念ながらありませんが、機会があったらパラリンピックのボランティアに参加したいと強く思いました。

（橋本みなみ）

ジュニア記者から質問することができました。（広瀬文香）

Q.パラリンピック選手になったきっかけはなんですか？

A.私はパラリンピックの大会をよく見ていました。見る中で、すばらしいチャンスがあるのだということを感じていました。そして、ロンドンで開かれることになって、自分の国でやるなら、大会に出たいと思いました。そのために大会にでるために、とにかく一生懸命練習しました。



Q.金メダルを取るために工夫した事はなんですか？

また、金メダルを取るために苦労した事を教えてください。

A.怪我や病気が多く、それを克服していくことがたいへんでした。トレーニングをはげしくすると順調に練習していたと思ったら、急に病気になったりして、一貫して練習できないということは苦しかったです。大会と大会の間の4年間に実績を残すためにできることはすべてやったと言えると思います。そんな中、心の支えだったのは家族です。家族はどんなときも応援してくれました。自分ひとりではない、チームで戦っているという気持ちがいつもありました。そして、コーチやスタッフのサポートがあったからこそです。

今まで僕は、障がいのある方に出会ったとき、どう対応すればいいかをむずかしく考えすぎていたと気がつきました。どうやって対応すればいいかを考え過ぎていたために、距離を置いてしまっていた。

今回、スージー・ロジャースさんが話していたことでいちばん印象に残った言葉があります。「障がい者の障がいに目を向けるのではなく、その人自身に目を向けて接してほしい」という言葉です。このことを聞いて、これからはもっと障がいのある者の方々に、気軽に接していこうと思いました。差別や偏見のない社会になっていけるように、僕もできることを努力したいと思いました。

(長谷川 路彰)

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの視線と力をフルにいかして 取材に行き、記事を書いています。

2021.08.02 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## ジュニア記者による英国事前キャンプに関するインタビュー



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区で活動する「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回は、ジュニア記者の皆さんが、キャンプディレクターであるティム・ジョーンズさんと、英国の事前キャンプ地となっている国際プールの吉田館長にお話を伺いました。

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

## ■ 国際プールで見つけたオリンピック精神 / 山本承太郎

「GO GB」は、オリンピック・パラリンピックにおいて、英国の事前キャンプ地である横浜市、川崎市、慶應義塾大学が掲げた合言葉です。「GO」は「頑張れ」、「GB」はイギリス本土がある島の名前「グレートブリテン」を意味しており、イギリス選手団を応援するメッセージとなっています。今日、私たちは都筑区にある横浜国際プールに赴きました。先程も述べましたが、横浜市は英国のホストタウンを担っていて、横浜国際プールはオリンピックの競泳、飛込の事前キャンプ地となっています



キャンプディレクターのティムさんにオンラインでインタビューする様子

取材の前半は事前キャンプのディレクターとして来日していたティムさんに、リモートでお話を伺いました。ティムさんの主な仕事は ①若い人材を発掘し、②選手他たちにベストなスケジュールを立てることだと言います。選手を含め、英国チームは慶應義塾大学の日吉キャンパスに宿泊しているそうです。ここで一人の記者が選手の食事の内容について質問をしたのですが、これに対しティムさんは、日本食とイギリスの食事をミックスしていると答えたので、私は驚きました。少しでも慣れた食事を摂った方が選手のパフォーマンスに良い影響を与えるのではないかと考えていたからです。しかし、お話を聞いて、オリンピックの意義として「スポーツを通じた人間育成」のほかに「世界平和」があることを思い出しました。もちろん本番で良い結果を出すということも必要ですが、それと同じくらい多文化を理解することも平和への一歩として大事だと気づかされました。ちなみにティムさんの好きな日本食はギョーザでした。

後半は横浜国際プールの館長である吉田さんのお話を聞きました。想像よりも明るく親しみやすい方でした。キャンプ地としての準備は約5年前から始まっていて、横浜市や都筑区の職員や、旅行会社の方と協力してサポートしています。ただでさえ選手たちの要望に合った環境づくりが求められるのですが、今年はCOVID-19対策のため、さらに多くの配慮が必要となったそうで、大変だと感じました。しかし、そのような私の感想とは裏腹に、横浜国際プールがキャンプ地に選ばれたことについて吉田館長は『非常に光栄です！「国際プールはメダルが取れるプール」となれば良いですね』と笑顔で答えていました。このような状況での開催だからこそ、その中心にいる人たちには吉田館長のようなポジティブさが大切だと感じました。

## ■ 横浜国際プール取材しました！ / 折下陽琉

横浜国際プールは英国代表チームの事前キャンプ地になっています。私たちは、オリンピック期間中の7月28日、横浜国際プールの館長の吉田文雄さんと英国代表競泳のコーチをしているティムコーチにお話を伺いました。

横浜国際プールは、国内最大級のプールです。プールは床の高さを調節することができます。一番深いと3.5メートルの深さにすることができます。



約四千席の観客席があり、長さ50メートルのメインプールは、冬は床が設置され、体育館として使われます。変更をするときは、ひび割れがないかなど、念入りなチェックをしているそうです。メインプールのほかに、5メートルの飛び込みダイビングプールとサブプールがあり、サブプールは50メートルのプールを25メートル2つに分けることができます。

横浜国際プールでは、コロナ対策に気を使っています。体調管理、検温、消毒、換気、三密対策をしています。館長の吉田さんは、国際プールで練習している英国選手がメダルをとると、自分のことのようにうれしくなる、と話してくれました。

ティムコーチは、かつて選手をしていて、選手時代には、一日に6時間、6キロほど泳いでいたそうです。水泳を通して世界中を旅しているそうです。今回コロナの影響で、英国から日本に来るのが大変だったそうです。

日本の食べ物で好きなものは餃子だそうです。

今回取材をして、プールの床が変わることを知らなかったので、驚きました。

英国選手のお話は聞けませんでした。ディレクターお話を聞いて、選手の日頃の練習量はすごいと思いました。オリンピックで英国選手が活躍したら嬉しいです。

## ■ 『「支える」は温かくする』 / 山本未来

今回は、2人の心強いオリンピック競技のサポーターの方々に取材しました。1人目の方は、私たちのまち(横浜)に事前キャンプで訪れた英国選手のキャンプディレクターであるティム・ジョーンズさんです。

英国事前キャンプディレクターとは、大物選手のたまごのような若い選手を発掘することをする方です。キャンプディレクターの役割はそれだけではありません。選手の皆さんが競技でベストを出せるようにサポートすることが1番大事な役割です。ティム・ジョーンズさんは、元英国代表の水泳選手であり、元オリンピックのコーチをやっていたらっしゃいました。ティム・ジョーンズさんは、選手とコーチ両方の経験者だからこそ選手のベストを引き出せるのだなと思いました。

イギリス代表の水泳選手の皆さんは、1日に多くて6時間もの練習をしているそうです。そのため、ティム・ジョーンズさん含め選手をサポートする皆さんは、選手がベストを出せるようにするためいろいろな工夫をしていました。食事のメニューを考えたり、日本人サポーターの人と選手の皆さんの居場所を完全に分けて、オンラインでのやりとりを行うことでコロナの感染者を抑えたり。とても大変だなと思いました。

最後にティム・ジョーンズさんは、「自分が強いと信じてレースに集中するのが大切だ」と教えてくださいました。私は、人生のレースも前向きに進んでいくのが大事なのかなと考えました。2人目の方は、英国事前キャンプ施設の一つである横浜国際プールの館長の吉田さんです。



吉田館長にインタビューする様子

吉田さんも、ティム・ジョーンズさんと同じ英国代表選手のサポーターです。国際プールを通して選手のみなさんにとっての最高のコンディションを提供していたのです。

例えば、国際プールでは5年前から準備・打ち合わせを、また2年前には事前キャンプの練習も行ったそうです。コロナ対策の面でもサーキュレーターなどの最新技術を用いて安心安全の環境が整えられていました。そのため、英国選手からも国際プールは事前キャンプ施設として好評でした。吉田さん自身も、英国選手の事前キャンプについて「とても光栄です」と話していました。



国際プールを見学の様子

そして、この横浜国際プールの施設には秘密がいっぱいありました。国際プールには 3 つのプールがあります。最大 3.5 メートルまでに中の水を入れたまま深さが変えられるメインプール・プール内の壁が動き 25 メートルプール 2 つにも 50 メートルプール 1 つにもなるサブプール・深さ 5 メートルもあるダイビングプール。どれも使う用途に合わせて細かく設備の設定を変えられるのです。

また、5 月から 9 月の間はプールとして使い、10 月から 4 月の間は、プールの底を平らになるまで上に引き上げ、床を取り付け体育館として使う。夏は水泳・シンクロ・とびこみの教室、冬は、サッカー・ダンス・テニスの教室なども行われています。つまり、一年中多くの人に利用されているということです。

最後に吉田さんは、私たちに特別なニュースを教えてくださいました。オリンピック終了後には、国際プールのロビーに英国選手のサインボードと今回の事前キャンプでの選手の様子を提示するそうです。是非また行きたいと思いました。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック。新型コロナウイルスにより大会が延期になったり、無観客で行ったりと今までにない新しいかたちでの開催となりました。パラリンピックはこれから開催されます。

また世の中では、開催に対する反対の声や政府の問題点などたくさんの方がネット上でもあげられました。たくさんの方のトラブルに見舞われましたが、私は今回 2 人の方にお話を伺ったことで「支える」ことは人の心を、そして世の中を温かくするのだなということを感じました。

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして取材に行き、記事を書いています。

## 東京2020大会を終えて、様々な場面で全力で頑張る姿に感動！！

横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区で活動する「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いています！

今回の東京 2020 大会は新型コロナウイルスの影響で、無観客開催となり、ステイホームが推奨されている中、自宅でテレビ観戦をしてくれたジュニア記者の皆さんが、それぞれの思いを記事にしてくれました。

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

### ■家族みんなで応援しました！ 内野 聖火（うちの せい）

私は都筑区にある横浜国際プールで行われる英国競泳チームの事前キャンプの選手を応援するために、北山田の地区センターでガラスアートを家族で描きました。ガラスアートは日本の名所や応援している絵をプールサイドに飾り、練習中の選手に見てもらいます。私は奈良の大仏と応援している子どもたちの絵を描きました。

取材当日にプールサイドに行った時にガラスアートが貼られていたのを見ました。選手の皆さんも見に来て、練習の励みになったそうです。そしてガラスアートを見てくれた選手が本番の大会で金メダルを取ってくれてうれしかったです。また都筑区で大きな国際大会があったらガラスアートを描きたいです。

オリンピック本番では、英国競泳チーム平泳ぎ 100m 男子を応援しました。応援したのは、リオオリンピックでも金メダルを獲得したアダム・ピーティ選手です。

試合ではスタート直後はあまり差がなかったのですが、折り返してから他の選手よりも圧倒的な強さで金メダルを獲得しました。力強い泳ぎが格好よかったです。

競泳チームは、オリンピックで4つ、パラリンピックでは8個もの金メダルを取りました！

私の父はオリンピック・パラリンピックのボランティアに応募し、選手の送迎を担当しました。ケニアの金メダリストのキプチョゲ選手やエルサルバドルの関係者を乗せて、運転したそうです。コロナでどこにも遊びにいけない中、私の家族は、オリンピック準備から本番まで、家族みんなで、楽しみました。

## ■「男子車椅子バスケット 日英の名試合」 山本 承太郎（やまもと じょうたろう）

私は8歳の頃からバスケットボールをやっていて、始めてから11年目になった今も高校の部活動でプレーしています。普段は日本のバスケットリーグであるBリーグやNBAなどをテレビで観るのですが、今年は4年に1回の（今回は5年ぶりでしたが）オリンピック・パラリンピックが開催されるということで、そっちばかりを観ていました。

特に私が熱狂した種目は車椅子バスケットです。日本が勝ち進んでいたという理由もありますが、普段身体に障害を持たない選手たちの試合しか観ない私は、驚きと発見と尊敬の念でいっぱいになりました。

男子準決勝で日本はイギリスと対戦しました。英国チームは世界大会の覇者にもなった車椅子バスケット強豪国の1つです。一人一人のプレースタイルがはっきりしていて、パス回しも素早く、日本が苦勞して得た得点をいとも簡単に、そして何度も取り返すところに凄みを感じました。結果は日本がなんとか勝利を収めることができましたが、日本が予選で負けたスペイン相手にイギリスチームは3位決定戦で白星を挙げています。なので、本当にどっちが勝ってもおかしく無い試合だったと思います。

私は車椅子バスケットについてこれまで書きましたが、通して今回のオリンピック・パラリンピックはどちらも、多くの様々な人々を熱狂させてくれました。英国選手やスタッフの皆さん、感動をどうもありがとうございました。次の冬季も頑張ってください！

## ■個性豊かなパラリンピック 橋本みなみ（はしもと みなみ）

オリンピックが終わり、8月24日に行われた開会式で東京パラリンピック2020は始まりました。東京2020開会式・閉会式4式典総合プランニングチーム クリエイティブ・ディレクターを務めた栗栖良依さんは、みなとみらいにある「象の鼻パーク」を活動拠点にして障がいのある方とアーティストとのコラボ商品などを開発する「SLOW LABEL」のディレクターを務めている人です。「象の鼻パーク」は散策でよく訪れる場所なので、今回の式典はとても身近に感じました。出演されたみなさんが、それぞれの個性を出した自由なパフォーマンスをしていました。オリンピックの式典より壮大で圧倒され、あっという間の式典でした。

この式典を横浜のアーティストが関わっていると思うと、とても誇らしかったです。そして会場にいる選手全員を応援したいという気持ちになりました。

さて、このパラリンピックで見つけた素晴らしい選手がいます。英国のパラサイクリスト、サラ・ストーリーさんです。彼女は先天性の左手の発育不全という障害を持っています。以前はパラスイマーでしたが、現在はパラサイクリストとして4大会で12のメダルを獲得しています。私が心を打たれたのはサラさんの勇気ある、貪欲な姿勢です。27歳から新しい競技を始め、努力を重ね、現在はパラスポーツを飛び出し健常者の自転車競技の大会にも出場しているそうです。いつかオリパラ両方出場を叶えてくれるかもしれません。彼女の、常に挑戦しパワーアップする姿は、尊敬せざるを得ません。



今回のパラリンピックでは、数々の選手たちが素晴らしく、個性豊かなプレーを見せてくれてコロナ禍に明るい風を吹き込んでくれました。出場した選手みなさんに感動と興奮をありがとうと伝えたいです。

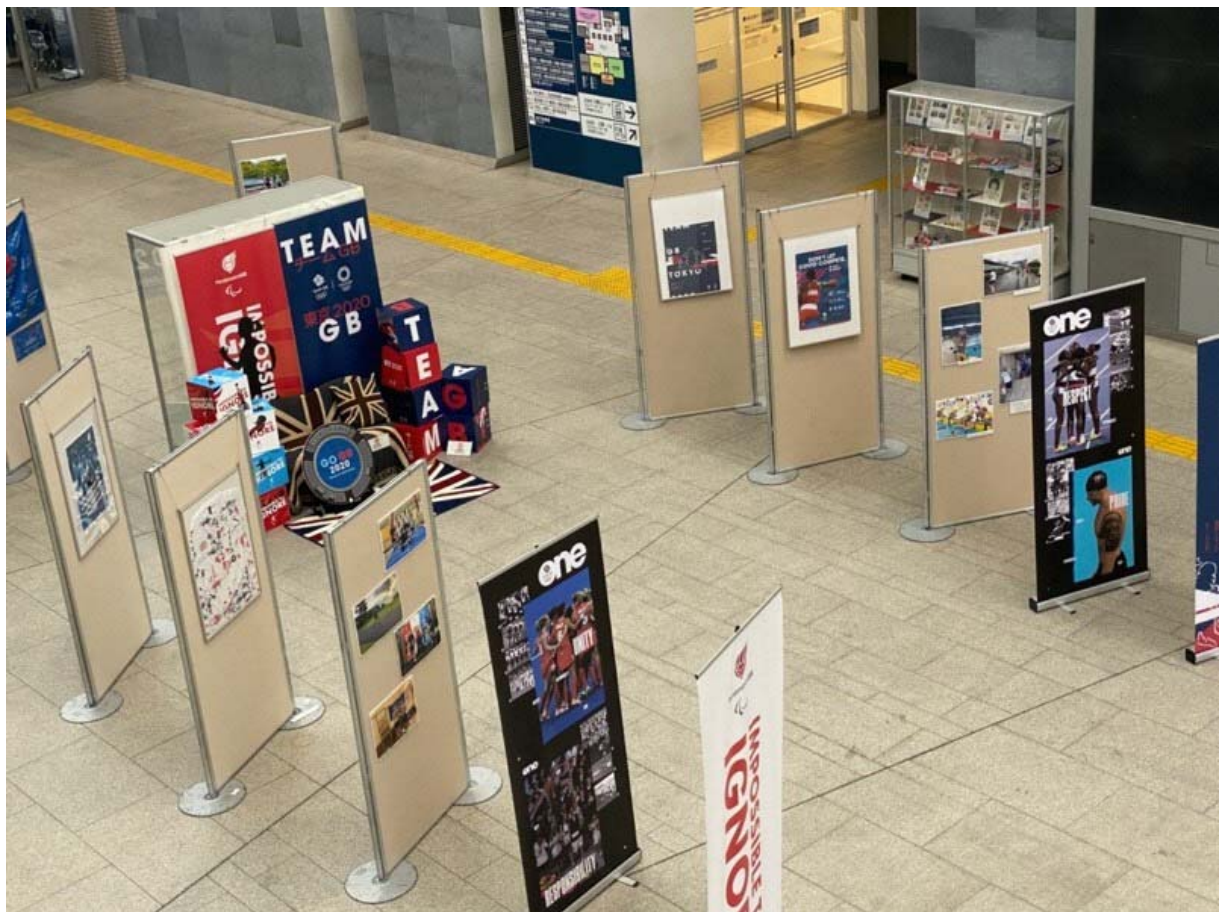
## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして 取材に行き、記事を書いています。

2021.10.14 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## 「GOGB2020 TEAM GB パネル展」



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区で活動する「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回は、都筑区総合庁舎で行われた GO GB 2020 Team GB パネル展の様子を、取材してくれました。それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

都筑区にある横浜国際プールでは東京オリンピック・パラリンピックのイギリスの水泳選手の事前キャンプが行われました。オリンピック・パラリンピック終了後の10月に都筑区総合庁舎1階の区民ホールで「GOGB2020 TEAM GB パネル展」が行われたので取材をしてきました。

区民ホールにはキャンプ地や競技会場、選手村で使われたり、飾られたりしたフラッグやソファーなどが展示されていました。市民局の方に解説してもらい、その展示品フラッグやソファーはイギリスから持ち込まれたことを知りました。選手のみなさんが気分を高めるために持ち込まれたのでしょうか。イギリス国旗のラグはかっこよかったです。



他にも今回のオリンピック・パラリンピックでの競技写真やユニフォームも展示されていて夏の感動がよみがえりました。



これらの展示品は、日本大通りにある都市発展記念館に保存されると聞いて、大事にされることがわかり、安心しました。コロナ禍で選手と直接会えなかったのが残念でしたが、実際に使用されたものが見られたのでうれしかったです。



## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして 取材に行き、記事を書いています。

## 横浜ホストタウンサポーター感謝会@イギリス館



横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区で活動する「つきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回は、ジュニア記者のみなさんが、先日、山手にあるイギリス館で行われた横浜市ホストタウンサポーターの感謝会を取材してくれました。

それでは、ジュニア記者による取材レポートをお楽しみください。

私たちは先日、英国代表選手をサポートするボランティアの方々（以下、サポーターと略）の感謝会を見学させていただきました。

向かったのは、元町中華街駅から坂を上がったところにある、イギリス館です。イギリス館には多くの部屋があって、二階には寝室のような当時を復元した部屋もあり、私たちの控室となっていました。

一階には、さまざまな展示物が並び、選手のサイン入りのものもありました。感謝会は、展示室の隣の部屋で行われました。この感謝会には28人のサポーターが参加しました。サポーターの中には、大学生や自分達の親よりも年上の人もありました。サポーターに応募したのは、自宅が国際プールの近いからという人やイギリスに何年か住んでいたから恩返しをしたいという理由の人もありました。

感謝会では、スクリーンでスライドを使った振り返りやプレゼント付抽選会、そして最後に、英国のオリンピック・パラリンピック関係者の方々からのメッセージがありました。

スライドでの振り返りによると、サポーターの活動は、個別オリエンテーション、オンラインセミナー・説明会を含めて52日間に及んだそうです。

抽選会では、サポーターの方々が、事前に引いておいたくじの番号順に前に出て一言話した後に、プレゼントをもらっていました。ちなみにそのプレゼントは、英国国旗の横断幕を切って作ったバッグに入れられていました。

サポーターの方々からは、こんな話が出ていました。

（サポーターの活動を通して）「経験が豊富になった」「英語の勉強になった」「得るものが大きかった」。また、「自分が役に立てるかわからなかったけど、今は誇らしい気持ちだ」「選手団からコロナの感染者が出なくてほっとした」ということを話している方もいました。他にも「国を越えてスポーツが楽しめることを知った」「英国と日本両方応援できて楽しかった」「英国の金メダルを取った選手のインタビューで、サポーターのおかげで金メダルが取れた、と言ってもらえてうれしかった」などの声がありました。

印象に残ったこととして「選手が階段を二・三段飛ばしで歩いているのを見て、さすがアスリートだなと思いました」と話す人もいました。

英国関係者の方々からのメッセージでは、「とても素晴らしかった」「感謝している」など感謝の言葉がたくさん伝えられていました。

今回色々なコロナ対策をしたそうで、選手が泊まるホテルは選手以外の人は入れない所を通ったりして他の人とは会わないようにしていたそうです。

選手は、横浜スタジアム・横浜国際総合競技場・横浜国際プール・等々力陸上競技場・横浜カントリークラブ等を使っていました。中でも、横浜カントリークラブでトレーニングをしていたと聞き、驚きました。

お話をきいて、オリンピック・パラリンピックサポーターをやってみたくなりました。いろいろな大会のサポーターがあるので18才になったら、やりたいです。

記事：井上慎太郎 宮下愛彩 赤津百音

写真





## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。

今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして取材に行き、記事を書いています。

2022.01.13 事前キャンプを知ろう | こども記者レポート

## つづきジュニア編集局 活動の振り返り

横浜市では、英国の事前キャンプ地「横浜国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんに、「英国を知る」ためのレポートを書いていただいています！

今回が最終回ということで、これまで 4 年に渡り取材してきた集大成として、ジュニア記者の皆さんに活動を振り返った感想を記事としてまとめていただきました。

それでは、ジュニア記者によるレポートをお楽しみください。

★2021年延期していた東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。私たちMMジュニア記者はオリパラに関する取材をいくつか行ってきました。特に横浜市は英国代表チームの事前キャンプ地となっており、“GO GB（がんばれ、英国）”を合言葉にした活動を中心に、PRしている方々やキャンプ地の方々などにお話を聞いたり、イギリスの文化を学んだり、バリアフリーマップをつくるなど、多様な取材をすることができました。

COVID 19の流行のため、完全な形で大会開催は実現できませんでしたが、そのような制約の中でもベストを尽くすために日々励む選手、そして工夫を凝らしてオリパラを支える方々は立派で、その現場の熱量を少しでも垣間見て肌で体感できたことはとても貴重な経験だったと思います。

また、取材を振り返って、日本生まれ日本育ちの私にとって、東京オリンピック・パラリンピックは異文化に触れ交流できる大きな機会であるということに再認識しました。

多文化理解は“世界平和”への第一歩です。普段、海を越えた遥か向こうの場所で暮らしている人と、今私は話しているのだ（まだまだ通訳さんを介してですが…）、と考えると、なんとも言えない緊張感があり、胸に奇妙な高鳴りを覚えました。今回、自国で世界中の人々に出会えるという最大のチャンスが無観客に終わってしまったことは残念ではありますが、今回の取材から、この先自分が自立したら、今度は生の迫力あるオリンピック・パラリンピックを再取材したいと思いました！

山本承太郎（やまもとじょうたろう）

★オリンピック・パラリンピックの聖火ランナーが走る予定だった、赤レンガ倉庫の周辺のバリアフリーマップづくりに参加しました。その調査に参加できたことで、障がいのある方たちのことを知り、いままでも何気なくまちをみていた視点が変わりました。パラリンピックの競技に関心を持つようになり、障がいのある方たちが健常者を超えるパワーで競技をしているのを見て感動しました。

小川悠樹（おがわゆうき）

★ジュニア記者として取材したことで、よりオリンピック・パラリンピックに興味を持ち、大会を見ました。もっとイギリス選手の方たちと交流したかったです。それができなくてとても残念でした。

長谷川路彰（はせがわみちあき）

★私はバグパイプのジェラルドさん取材して英国の文化について知ることができました。バグパイプの演奏はすばらしかったです。イギリス文化に興味をもったので、これからもイギリスの文化や特色などを学んでいきたいです。

宮下愛彩（みやしたあいさ）

★オリンピック・パラリンピックを記者として取材し、知らない名前の競技をたくさん知りました。パラリンピックの競技がいろいろな分野で分かれていたりして、見どころがあってあきなかったです。

橋本芽依（はしもとめい）

★イギリスチームの取材がインターネット会話になってしまったことが残念でした。でもイギリス選手を間近に感じることでよかったです。

折下陽流（おりしもひりゅう）

★私はオリンピック・パラリンピックの水泳のキャンプマネージャーのティムさんに取材をしてキャンプ中の食事やトレーニングのことについて教えてもらうことができ、貴重な体験をしました。

赤津百音（あかつももね）

★私は、いくつかのオリパラに関する取材、英国代表チームに関する取材に参加しました。現在から3年前弱に行われた「500Days to Go! フェスティバル ～東京 2020 開催まであと 500 日！～」では義足体験や車椅子バスケット体験をし、義足の不安定さや狭い場所で車椅子を動かすことの困難さを知りました。アルケミストさんの「あの空」とFoorinの「パブリカ」歌唱ステージも見ることができ、非常にパワーをもらいました。

英国のヘンリー王子と対面しお話しする機会もありました。私たちは東京パラリンピック出場を目指す車椅子バスケットの選手たちとヘンリー王子の交流に同席しました。ヘンリー王子は一人一人とアイコンタクトをとり笑顔で会話をしてくれ、その英国紳士ぶりに圧倒されました。また、スコットランドバグパイプの演奏者、ジェラルドさんとのインタビューも強く印象に残っています。黒と赤いタータンチェックでシックな装いのジェラルドさんが奏でた「アメイジンググレイス」の美しい旋律は素晴らしいです。

東京オリンピック 2020 はコロナウイルスのため、テレビで試合を観戦するという形でしたが、英国代表選手たちが登場すると「横浜に来てくれたんだろうな」と親近感を持ち、オリンピックが行われている実感を持っていました。この取材を通して、スポーツの力と素晴らしい英国文化をリアルで学ぶことができました。貴重な経験をありがとうございました。（橋本みなみ）

## つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学 5 年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。



2019.01.27 事前キャンプを知ろう | ホストのオススメブリティッシュポイント

## 横浜で英国を感じるお散歩コースガイド（関内～元町編）



英国代表チーム事前キャンプ地でもある横浜市は、歴史を振り返ると、幕末期の開港前後から英国との関係がありました。

これを機に、横浜の街をお散歩しながら、英国と日本の交流歴史を知ってみるのはいかがでしょうか。

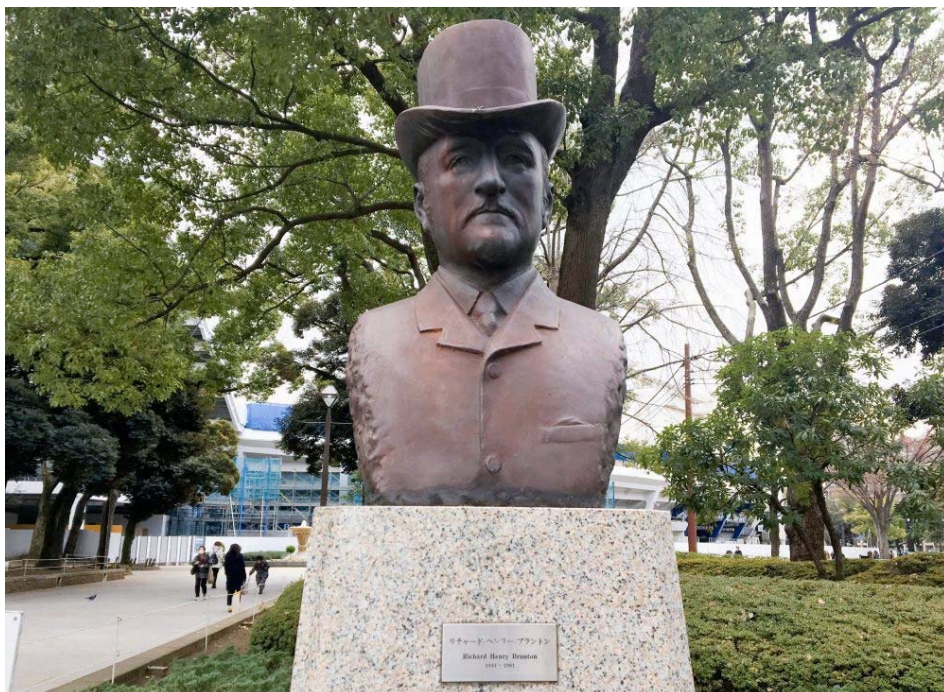
そこで今回は、GOGB コラム編集部がオススメする、横浜の中でも関内から元町をルートとした、横浜で英国を感じるお散歩コースガイドをご紹介します。

## 日本大通り



まずは、関内エリアにある日本大通りからスタートです。この付近は、1866年の大火で日本人の居住地だけでなく外国人の居留地も大きな被害を受けたことから、近代的な道路の整備、防火対策などが急がれていました。そこで、横浜公園も手がける英国の設計士、リチャード・ブランTONの設計により、日本初の西洋式道路が建設されたのです。

通りの一角にはブランTONの胸像があります。



また、通りに埋め込まれたタイルは横浜の開港の歴史を伺い知ることができます。

神奈川県庁や横浜開港資料館、横浜地方・簡易裁判所などの建物が並び横浜港へと続くこの通りは、秋はイチョウ並木が美しく、冬はイルミネーションに彩られ、季節によって異なる景観が楽しめます。道幅も広くゆとりがあり、自分が英国映画のワンシーンにいるような気分にも浸ることができますよ。



### 【日本大通り】

住所：神奈川県横浜市日本大通

最寄駅：みなとみらい線日本大通り駅徒歩 1 分・JR 関内駅徒歩 15 分

---

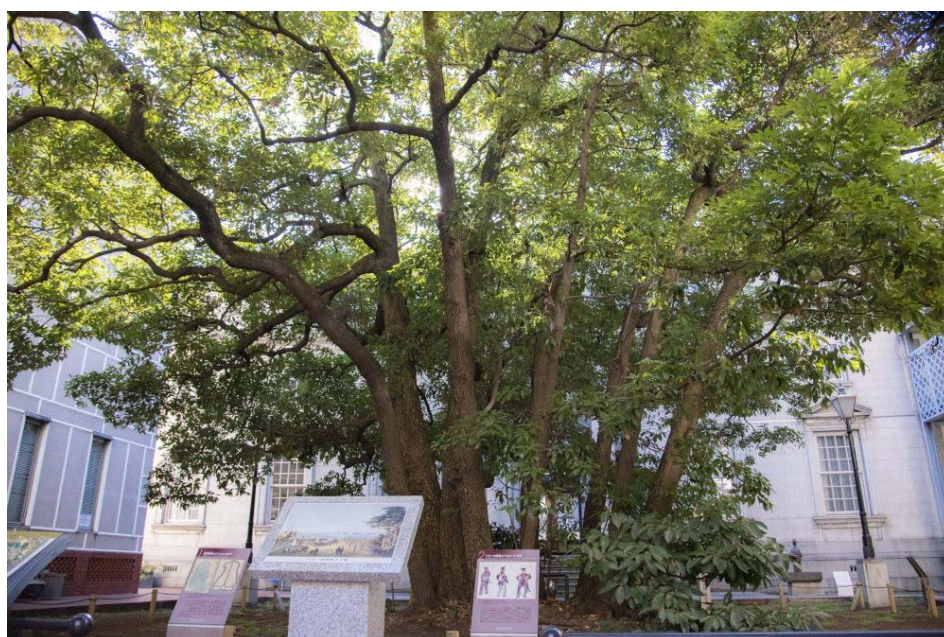
## 横浜開港資料館



横浜開港資料館は新館、旧館の二つの建物からなり、海岸通りに面した新館と、中庭を挟んで小ぶりな旧館が建っています。旧館は元々英国総領事館として建設されました。英国工部省の設計、資材は全て英国から運んだこだわりの建物で、外観、内観から英国の雰囲気を感じることができます。

館内は、港町として発展した横浜港の歴史が、写真や当時の新聞、模型など用いて分かりやすく展示されていますので、お子様でも歴史を楽しく学ぶことができます。

中庭には開港資料館のシンボル、たまくすの木が植えられています。



江戸時代からこの場所に根付き、開港の歴史を見届けてきたのだなあとと思うと、立ちそびえる木の貫禄を感じます。

#### 【横浜開港資料館】

神奈川県横浜市中区日本大通 3

TEL : 045 (201) 2100

開館時間 : 午前 9 時 30 分～午後 5 時まで

休館日 : 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始、ほか

最寄駅 : みなとみらい線「日本大通り」駅 3 番出口から徒歩 2 分・JR 関内駅から徒歩 15 分

URL : <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/index.htm>

## カフェ：オージャルダンドウペリー



横浜開港資料館の一角にあるカフェ「オージャルダンドウペリー」は、元は旧英国総領事館の守備室として使われていました。カフェに面している「横浜開港広場」は日米和親条約が調印された場所でもあり、港町の歴史を感じながらのんびりお茶休憩するのも良いですね。



### 【オージャルダンドウペリー】

神奈川県横浜市中区日本大通 3 横浜開港資料館

TEL : 045-662-8345

営業時間【火～金】 8:00～17:00 【土・日・祝】 8:00～18:00

定休日：月、年末年始、その他

## シルクセンター（シルク博物館）



1859年の開港以降、横浜港には多くの外国人商社が社屋を構えました。

シルクセンターは、元は開港当初に生糸貿易などを行なった英国の大きな総合商社ジャーディン・マゼソン商会横浜支店（英国一番地）があった場所です。





シルクセンター内には「シルク博物館」があります。



シルク博物館は横浜開港百年記念事業として 1959 年に開設されました。横浜港の発展に貢献したシルクの歴史だけでなく、ワークショップや、ミュージアムショップでシルク製品を探すなど、見て触れて楽しめます。



横浜港を一望できる見晴らしの良さも、お散歩のオススメポイントです。

#### 【シルク博物館】

神奈川県横浜市中区山下町 1 番地 シルクセンター2 階

TEL : 045-641-0841

開館時間 : 9:30~17:00 (入館 : 16:30 まで)

最寄駅 : みなとみらい線「日本大通り」駅 3 番出口から徒歩 3 分・JR 関内駅から徒歩 15 分

URL: <http://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

---

#### 日本郵船氷川丸 (山下公園)





シルクセンターから横浜港沿いを歩いていくと山下公園があります。ここは関東大震災後のがれきを埋め立てて作った公園です。

その山下公園沿いの横浜港に浮かぶ氷川丸は、かつては『北太平洋の女王』と呼ばれた貨客船で、山下公園前に係留されています。

1930(昭和 5)年、アメリカ・シアトルとの航路用に建造された氷川丸は、太平洋戦争前には英国出身の喜劇王チャップリンや、秩父宮ご夫妻が英国国王ジョージ六世の戴冠式から帰国される際に乗船されるなど、大活躍しました。

役目を終えた氷川丸は、今でも港町横浜で国の重要文化財として、当時の面影を濃く残しています。船内を見学しながら、当時の華やかな船旅に想いを馳せて港を見渡すのも感慨深いですね。

#### 【日本郵船氷川丸】

神奈川県横浜市中区山下町山下公園地先

TEL : 045-641-4362

最寄駅：みなとみらい線「元町・中華街駅」4番出口徒歩3分 ・JR 根岸線「石川町駅」または「関内駅」徒歩15分

URL : <https://hikawamaru.nyk.com/>

---

## 横浜イギリス館



山下公園を過ぎ、元町方面に進むと港の見える丘公園に隣接する横浜イギリス館があります。英国総領事が当時家族と住んでいた英国総領事公邸です。



玄関脇の王冠入り銘板や正面脇の銅板が、この建物が由緒正しいものであることを証明しています。また正門左手の小さな門は使用人たちの出入り口であり、英国の階級社会の歴史を垣間見することもできます。館内に入ると、白垂の外装と調度品や内装から当時の暮らしを伺うことができ、当時の英国にタイムスリップしたような気分になります。

【横浜イギリス館】

神奈川県横浜市中区山手町 115-3

TEL : 045-623-7812

最寄駅：みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩 8 分

URL : <http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/yamate-seiyokan/british-house/>

---

## 横浜山手聖公会



横浜山手聖公会は、英国国教会の流れをくむ日本聖公会の教会堂です。外形は大谷石を使い、中世英国のノルマン様式の聖堂をもつ、横浜山手地区のランドマーク的存在です。

実は現在の建物は三代目。現在の場所に建てられたのは二代目でしたが、関東大震災で崩壊。その後仮設聖堂を経て現在の建物になりました。この辺りでは一際大きく重厚感のあるこの建物は、当時から人々の信仰を支え続けた歴史が感じられます。

### 【横浜山手聖公会】

神奈川県横浜市中区山手町 235

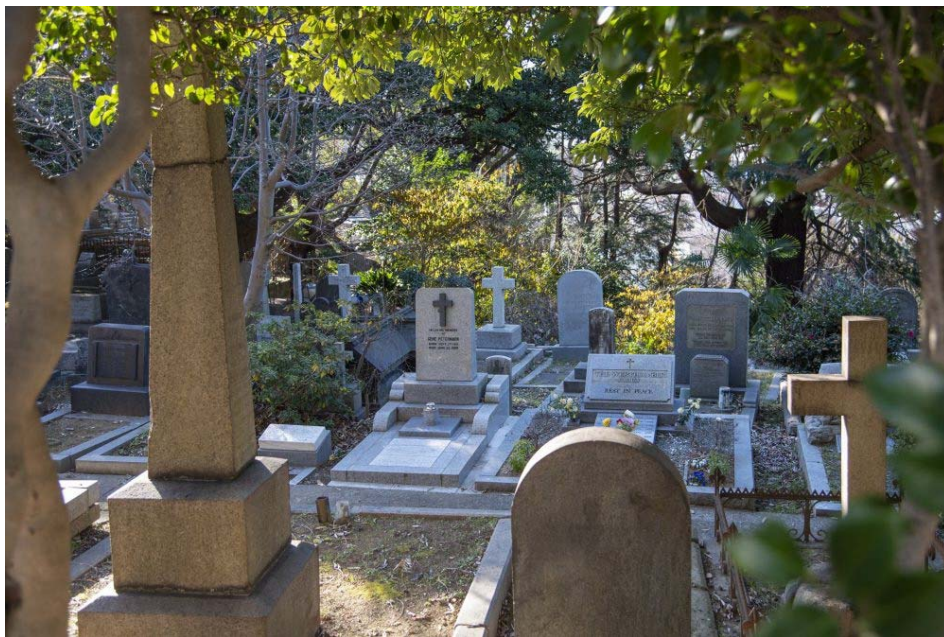
TEL : 045-264-8156

最寄駅：みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩 7 分

URL : <http://anglican.jp/app-def/S-102/yamate/>

---

## 横浜外国人墓地



ここにはたくさんの日本で亡くなった外国人が埋葬されていますが、中には第一次世界大戦時に日本から戦地に行き亡くなった英国人など、多くの英国人が埋葬されています。また、墓地に隣接して横浜外国人墓地資料館があります。



幕末からの歴史はもちろん、明治時代に、日本の近代化に貢献してきた英国人の技術師や、著名人の墓所であることも、解説と写真で知ることができますので、歴史好きな方には特にオススメなスポットです。



【横浜外国人墓地・横浜外国人墓地資料館】

神奈川県横浜市中区山手町9-6

開館時間：10時～17時

休館日：月曜日

最寄駅：みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩3分

URL：<http://www.yfgc-japan.com/index.html>

---

## 横浜元町ショッピングストリート



横浜外国人墓地から元町・中華街駅方面に坂を下ると、横浜元町ショッピングストリートが広がります。横浜開港当時、山下町の外国人居留地と、山手地区の居留地を結ぶ場所に外国人向けの店が集まったことで発展した商店街です。当時としては珍しく、店が海外の名店から直輸入できるように各国の商店街と姉妹提携を結びました。

英国ロンドンのストランドストリートとは他の5つの商店街と共に昭和42年に姉妹提携を結び、街を発展させてきました。上質な陶器やアンティーク輸入雑貨店なども並び、見ているだけでも買い物心が捗られます。通り各所にベンチが設けられているので、街をのんびり見渡しながらか休憩するのも良いですね。

【横浜元町ショッピングストリート】

みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩0分

---

## ウチキパン



最後にご紹介するのは、元町商店街の中にある明治21年から愛される老舗ベーカリー「ウチキパン」。中でも創業以来100年以上作り続けられる英国スタイルの山型食パン「イングランド」が有名。



他にもフランスパンやドーナツ、あんぱんなど、パンの種類が豊富ですので、翌日の朝食用におみやげパンはいかがでしょう。

【ウチキパン】

横浜市中区元町 1-50

TEL : 045-641-1161

最寄駅：みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩 2 分

定休日：毎週月曜日

横浜で英国を感じるお散歩コースガイドはいかがでしたでしょうか。

英国代表チーム事前キャンプ地となる横浜市が、幕末時代の横浜港開港から、明治時代の近代化まで、歴史の至るところで英国との交流があることを散策を通して知ることができ、より英国が身近に感じられました。歴史を知るだけでなく、横浜の異国情緒溢れる景色も楽しめますので、ぜひこの機会に楽しんでみてはいかがでしょうか。

取材：GOGB コラム担当ライター：平尾美絵

撮影：GOGB コラム担当カメラマン：末吉理

2019.04.09 事前キャンプを知ろう | 事前キャンプの現場から

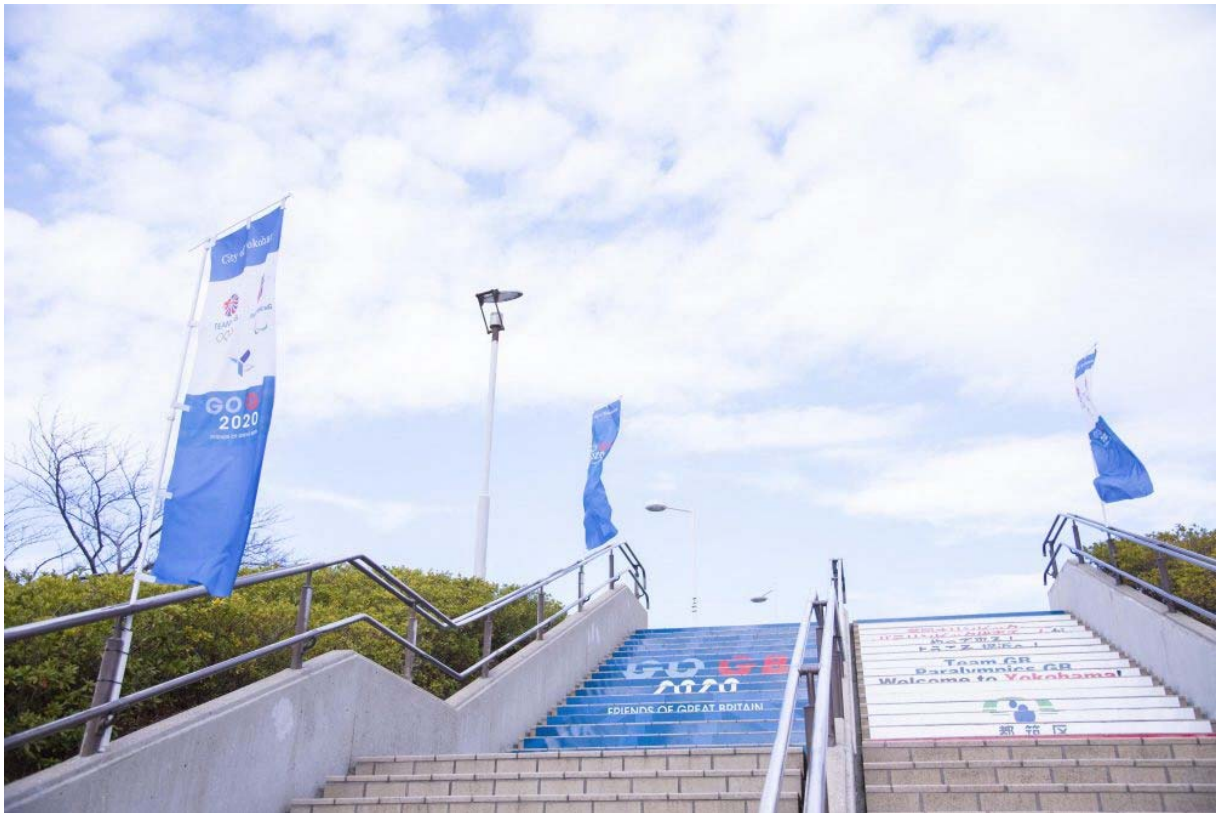
## 国際レベルのプールの秘密に迫る！横浜国際プールってどんなところ？



横浜市にある横浜国際プールは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック英国代表チームの事前キャンプ施設です。

国際公認プールとしても知られており、イアン・ソープや北島康介といったトップスイマーが参加したパンパシフィック水泳選手権大会をはじめ、数々の国際大会を開催してきました。





最寄りの「北山田」駅から横浜国際プールへ続く大階段には、「GO GB 2020」の階段メッセージと  
のぼり旗が立てられて、階段を上がるにつれ、英国代表チーム歓迎ムードが盛り上がってくる

今回は、横浜国際プール指定管理者であるコナミスポーツ株式会社のマネージャー 阿部弘美さん  
に、施設の特長や英国代表チームの受け入れ体制についてお話を伺いました。

---

## 地域に愛される施設として、国際公認プールとして



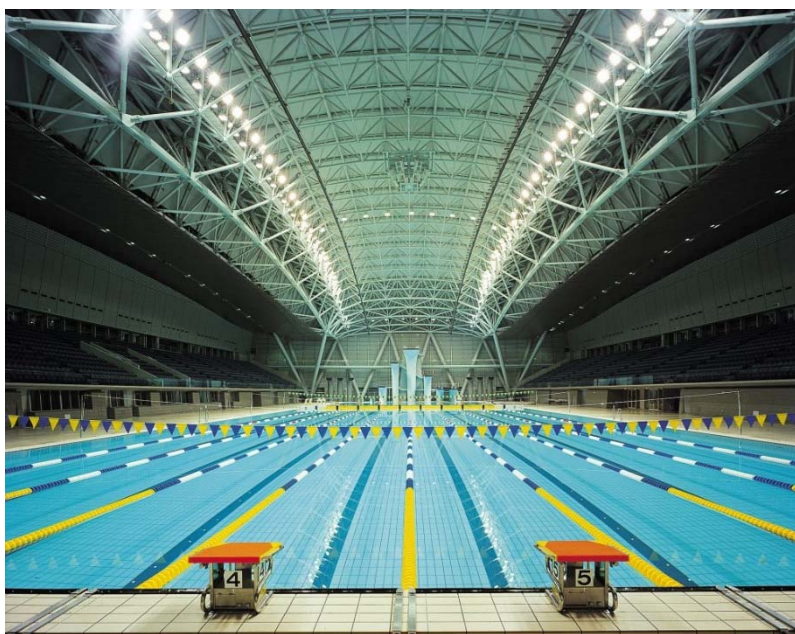
## 阿部さん：

横浜国際プールは、市民の皆さまが利用されるスポーツ施設であり、国際公認プールとして国内外の大規模な大会を開催する総合競技場でもあります。私はマネージャーとして約 100 人のスタッフと共に、ふだんのお客さまの対応と安全面の管理、大規模な大会開催時の準備と運営全般を担当しています。

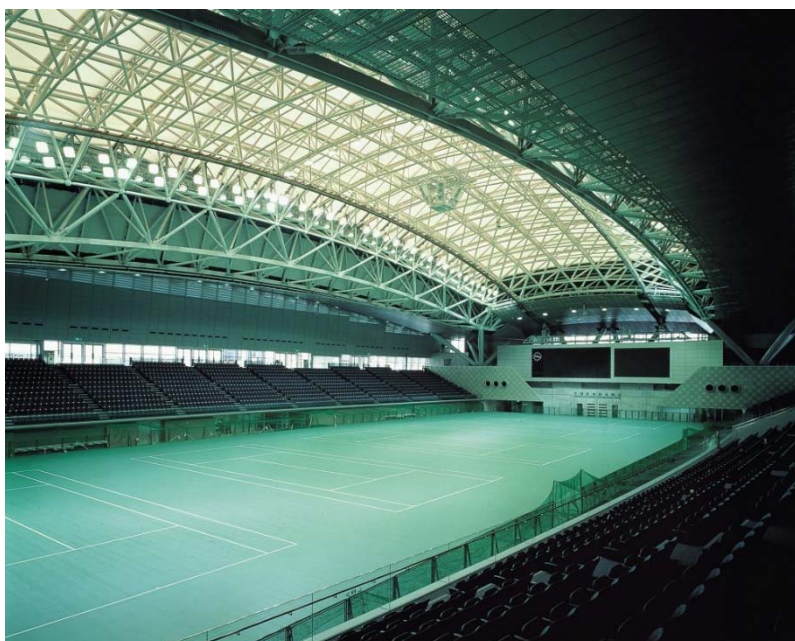
定期的に通ってくださる顔なじみの方も多く、ふだんから皆さまにお声がけしながら体調面の配慮やコミュニケーションを心がけるようにしています。

---

## 夏季はメインプール、冬季はスポーツフロア



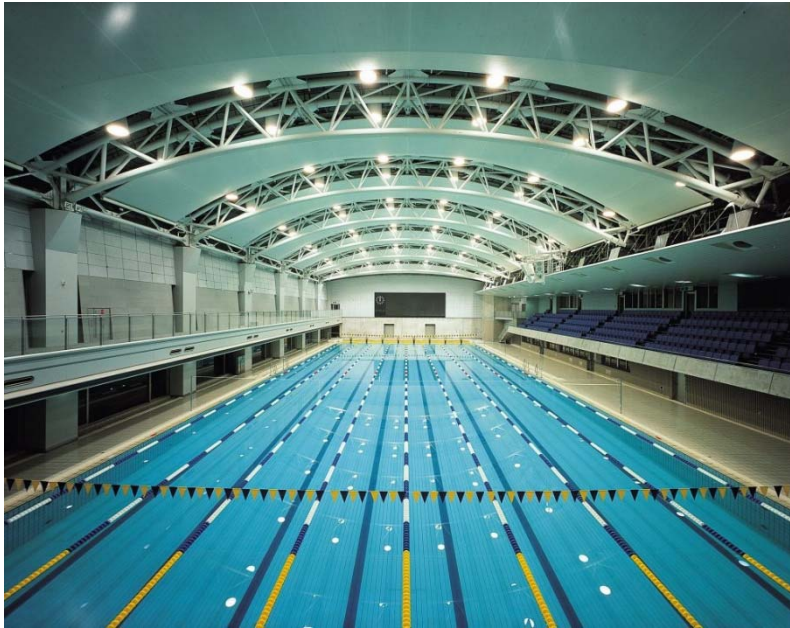
両サイドに約 4,000 席の観客席を擁する国際公認の 50m プールのメインプール。



メインプールは、冬季にはスポーツフロアに様変わりする。地元横浜市をホームに活躍するプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のホームアリーナとしても有名。

**阿部さん：**

横浜国際プールのメインアリーナは、夏季5月～9月はメインプールとして、冬季11月～3月はスポーツフロアとして使用する、非常にめずらしい施設です。プールからフロアへ転換するには、時間をかけてゆっくりとプールの水を抜く必要があるため、約1か月の転換期間を設けています。



通年利用できるサブプールは国内最大級の50m公認プール。

---

## 国際公認プールとしての大会開催を、見えない部分で支える専門スタッフの存在

——国際公認プールとして、どのような点に注意を払っていらっしゃいますか？

**阿部さん：**

“プールの水は生きもの”です。毎日毎時間、水のコンディションは変わります。国際公認プールとしては当然ですが、コンディション維持はもちろん水が抜けたり機械の不具合があったりしてはなりません。専門スタッフ20名が、プールの室温・水質・水温・水深などの管理を常時行っています。実は、プールの水温を上げるのは大変難しいことなので、夜間も水温チェックが欠かせません。また室温と水温の差が激しいほど寒暖差を感じやすいので、空調管理も大切な仕事のひとつです。



プールの管理室では、専門スタッフが 24 時間体制で勤務。



安全な水質を維持するために、スタッフが毎時間水質検査を行う。

スタッフ全員で、安全・安心な競技場の運営、維持に努めています。

英国代表チームを迎え入れるためにさまざまな準備を行なっています。



目の前に緑の木々が見えるトレーニングルーム。初心者から上級者までが利用できる。

――英国代表チームを受け入れるにあたり、施設面では今後どんな準備を予定していますか？

**阿部さん：**

英国チームや一流アスリートならではの準備も必要となるので、英国チームとともに調整を進めています。2018年度には、競泳用のスタート台やコースロープも更新しました。今後、一般利用者の皆様にも、より充実した設備となる予定です。

今年1月には、横浜国際プール・都筑警察署・都筑区役所・都筑消防団・都筑消防署などの関係機関・約150名が参加し、横浜国際プールにおけるテロ災害を想定した訓練を行いました。万全な安全対策を施すために、関連機関で協力しています。

また、エントランスホールでは、英国についてのパネル展示と、東京2020オリンピック・パラリンピックのカウントダウン表示で、英国代表チームお迎えの雰囲気盛り上げています。



英国代表チームを知ってもらうためのパネルを展示。

「つづきジュニアタイムズ」でも、横浜国際プールで開催されたジャパンパラ水泳競技大会の様子を取材していただきました。



都筑区のジュニア記者による新聞

「つづきジュニアタイムズ (TJ) 10号 <http://junior.minicity-plus.jp/category/tjtimes/>」でも、GO GB 特集!

## 英国代表チームへのメッセージ



いつも明るい笑顔が素敵なスタッフの皆さん。

**阿部さん:**

英国代表チームの皆さんが、日本の環境に一日も早く馴染んで調整できるように、我々スタッフも精一杯お役に立ちたいと考えています。日本らしいきめ細やかなおもてなしの精神でお迎えしたいですね。英国代表チームのアテンドに備えて、今後英語のレッスンも考えています。

事前キャンプは、横浜や横浜国際プールの魅力を知ってもらうよい機会です。この得難い体験を、横浜市民の皆さまと一緒に共有していきたいと思います。

---

**GOGB コラム編集部より**

横浜国際プールにおける、英国代表チームの東京オリンピック事前キャンプ受け入れ期間は、2020年7月上旬の予定です。また、2019年7月には、英国水泳代表チームの事前キャンプの実施が決まりました。いよいよ、横浜国際プールでも初めて英国代表チームを受け入れることとなります。

英国代表チームが快適にトレーニングできるように、横浜市民としても「GO GB 2020」を合い言葉に、精一杯応援したいですね。

取材：GOGB コラム担当ライター：西川公子

撮影：GOGB コラム担当カメラマン：末吉理

2019.09.19 英国代表チームを応援しよう

英国代表選手 | Team GB・ParalympicsGB | 事前キャンプの現場から

## 「横浜国際プール」で開催！ジャパンパラ水泳競技大会から学ぶ、パラ水泳競技の魅力



東京 2020 大会・英国代表チームの事前キャンプが予定されている横浜国際プールにおいて、9月21日（土）から23日（月・祝）まで『天皇陛下御即位記念 2019 ジャパンパラ水泳競技大会』が開催されます。昨年の大会には海外8カ国から41名のトップパラスイマーが参加しており、国際的な大会としての注目度もアップしています。そこで今回は、来年に迫った事前キャンプ、そしてパラリンピック本番を前に開催されるこの大会の見どころや、さらには東京2020大会への出場が予想されるイギリスの有力スイマーを紹介していきます。

### ジャパンパラ水泳競技大会を楽しむための基礎知識

『ジャパンパラ水泳競技大会』は、パラリンピックや世界選手権をめざすトップレベルの選手のための大会として1991年から開催されている、国内最高峰のパラ水泳大会です。大会記録が国際公式記録として認定される、日本では数少ない国際公認大会でもあり、2018年大会にはイギリス、アメリカ、カナダ、メキシコ、コロンビア、スペイン、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国から41名の選手が参加。国際大会としての色合いを濃くしています。





ジャパンパラ水泳競技大会 2018 で英国代表チームが来日し、横浜市の子供たちと交流をしました。

昨年のジャパンパラの様子はコチラから

[https://gogb2020.jp/columns/junior\\_reports\\_201810/](https://gogb2020.jp/columns/junior_reports_201810/)

競技は基本的に国際水泳連盟のルールに則っており、使用するプールの規定や競技種目（自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ）も同じですが、障害の種別や程度ごとに「クラス分け」が行われ、男女別に同程度の競技能力を持った選手同士で順位が競われています。

障害種別とそのレベルは数字で分けられ、1 から 10 までが身体障害、11 から 13 までが視覚障害、14 が知的障害、15 が聴覚障害となっており（その下にも比較的軽い障害のクラスが設置されている）、数字は障害の程度が重いクラスから軽いクラスへと増えていきます。また競技種目は自由形・背泳ぎ・バタフライを S、平泳ぎを SB、個人メドレーを SM と表記することから、例えば「SB1」は「身体障害の程度が最も重い選手による平泳ぎ」のクラスを示していることとなります。

さらに、可能な限り一般の水泳競技規則に則った競技運営が行われるものの、障害によりやむを得ない場合には特別なルールも用意されています。例えば飛び込みスタートが難しい選手には、水中からのスタートが認められていたり、プールの壁を視認できない視覚障害の選手には、コーチがゴールやターンの直前に棒で選手の身体をタッチすることで壁が近づいていることを選手に伝えるようにしたりというものです。

これらのクラス分けやルールは基本的に東京 2020 パラリンピックの水泳競技でも共通するもの。本番前の基礎知識を得るうえでも、ジャパンパラ水泳競技大会を会場で体感するのは意義深いことといえます。

---

## 障害と向き合い勝ち得た、個性的な泳法を見る魅力



クラス分けやルールのみならず、ジャパンパラ水泳競技大会を現地で観戦することで感じ取れる、パラ水泳競技の魅力もあります。それは障害を抱えながらも、0.1秒を争う選手たちの努力により勝ち得た工夫や技術を発見することです。

障害の種別や程度は選手それぞれで異なるため、最適な泳ぎ方も選手により変わります。例えば、片腕や片脚が欠損している選手や片半身がまひで動かない選手にとっては、左右の推進力や浮力がまったく違うため、まっすぐに泳ぐこと自体が困難なことです。それを一般的な泳法を参考に、自分の身体に合っていて、しかも一番速く泳げる方法をトライ&エラーを重ねながら見つけていくのです。

ですから同じ競技でも、その泳法は非常に個性的。そこに至るまでの練習での苦労や、なぜその泳法にたどり着いたかなどに思いを巡らせることで、純粋なスポーツとしてのパラ水泳競技の魅力に深みが増すことでしょう。タイムの裏側にある、パラスイマーたちの“ドラマ”を感じ取ってください。

### | ベサニー・ファース (Bethany Firth)



リオデジャネイロパラリンピックで金メダル3個（100m 背泳ぎ S14、200m 自由形 S14、200m 個人メドレーSM14）、銀メダル1個（100m 平泳ぎ S B14）を獲得した、英国を代表する女性パラスイマー。中でも100m 背泳ぎ S14では世界新記録をマークし、圧倒的な強さを見せました。

#### | ステファニー・ミルワード (Stephanie Millward)



1981年生まれのベテラン選手ながら、リオデジャネイロパラリンピックでは7種目に参加し、金メダル2個（100m 背泳ぎ S8、4×100m メドレーリレー）、銀メダル1個（200m 個人メドレー SM8）、銅メダル2個（100m 自由形 S8、400m 自由形 S8）を獲得した、英国パラ水泳界のレジェンドともいえる女性スイマーです。

#### | トニー・ショー (Toni Shaw)



2003年生まれの16歳という若さながら、2018年のヨーロッパ選手権400m 自由形 S9で優勝し、同種目における当時の世界ランキング1位を獲得した成長株の女性スイマー。昨年のジャパンパラ水泳競技大会で来日し、400m 自由形 S9では2位に7秒以上の差をつける圧倒的な強さで優勝しています。

## | リース・ダン (Reece Dunn)



今年に入り2つの世界新記録(100m自由形 S14、200m自由形 S14)をマークした、現在上り調子の24歳の男子スイマー。東京2020大会に向けて彼がどんな調整をしてくるのか、注目が集まっています。

これからレベルの高い代表争いを控えているので、この選手たちが東京2020大会に出場するかはもちろん未確定ですが、もし選ばれるとすれば金メダル争いに食い込んでくる実力者ばかりです。ジャパンパラ水泳競技大会をきっかけにパラ水泳競技に興味を持ち、本番となる2020年東京での英国選手たちの活躍を応援してみたいかがでしょうか。

GOGB コラムライター：杉崎孝志

2019.10.25 英国代表チームを応援しよう | ホストのオススメブリティッシュポイント

## 英国人の社交の場「ブリティッシュパブ」を横浜で堪能しよう



東京 2020 オリンピック・パラリンピックの英国代表チームのホストタウンとなっている横浜市。横浜市は、幕末の横浜港開港によっていち早く英国文化を取り入れた土地でもあり、現在も街の至るところに英国の文化が根付いています。

今回は、英国をより深く知るきっかけとして、英国独自の文化のひとつである「パブ」についてご紹介します。

横浜でブリティッシュパブを構えて 15 年。「フルモンティ」を経営するプール・クライヴさんと道心華衣さんに、英国のパブ文化や本場のブリティッシュパブの楽しみ方、GO GB 2020 に向けた思いを伺いました。

この機会に、本場のブリティッシュパブを体感し、英国文化に触れてみるのはいかがでしょうか？

---

## 英国人になくてはならない社交の場、パブ

パブとは、英国で発達した大衆酒場のこと。英国を語る上でなくてはならない存在です。英国映画でもよくパブのシーンが登場し、パブの風景が英国人の日常に溶け込んでいる状況が伺えますが、英国人にとって「パブ」とはどのような場所なのでしょう。

歴史を辿ると、正式名称「Public House（公共の家）」の名の通り、パブは「家」から生まれました。英国人が家に人を招き社交場に使っていた風習がやがて外に持ち出され、宿泊所や雑貨屋、クリケット場などに機能として併設されていき、現在の「パブ」へと進化していったのです。

親しい友人・知人と集まり、お酒や会話を楽しむという英国人のコミュニケーションのあり方が、パブの原点にはあるのです。



(プール・クライヴさん)

「パブは、私たち英国人の「社交の場」です。英国人は、人と出会い、お酒を酌み交わし、会話を楽しむことが好きな国民なので、仕事の後や、休日に家族で「ちょっとパブに行こうよ!」というふう

(道心華衣さん)

「グループで来るのもいいし、もちろん1人で来るのもいい。そのときに、その場にいる人と会話を

楽しむ。でも決して交流を強制されるわけではない、という心地よい距離感もパブならではの魅力です。中には開店と同時に来て、閉店近くまでゆっくり飲みながら1人で過ごす人もいます。

このように思い思いに過ごせる自由さがあるからこそ、パブは英国人にとってリラックスできる大切な場所となっているのです。パブは、日本には存在しない独特の文化ではないでしょうか。」

近年はパブでの喫煙がNGになったことも受け、英国ではキッズフレンドリー（子ども歓迎）のパブも増えているのだそう。日本の居酒屋でキッズスペースやキッズメニューが提供され始めた流れと似たものが感じられます。

## 「サイダー」と「英国を感じる味と香り」で本場のブリティッシュパブを体感しよう！

本場のブリティッシュパブならではのメニューにはどんなものがあるのでしょうか。さっそくお2人に紹介していただきました。

まずはドリンク。ブリティッシュパブの代表的なドリンクといえば、ビールとサイダーです。とくにサイダーは日本の一般的な居酒屋には置いていないので、日本人にとっては珍しい飲み物ではないでしょうか。サイダーとは「りんご酒」のこと。フランスでは「シードル」と呼ばれています。

（道心華衣さん）

「サイダーは、英国以外にもフランスやスペイン、ドイツなどさまざまな国でつくられています。英国にはサイダー専用のリンゴを栽培し、昔ながらの製法でつくられたものもあります。ブリティッシュパブを訪れたら、ぜひサイダー文化の奥深さにも触れていただきたいです。」



フルモンティでは、70種類ものサイダーを取り扱っている。本場さながらの品揃えに、遠方からわざわざ足を運ぶ方もいるのだそうだ。英国のサイダーは500mlの瓶に入っているものがメジャーで、それぞれグラスに注いで味わう。

ビールは pint（パイント）という単位で提供され、「pint」か「half-pint」どちらかを選ぶのが主流です。（ちなみに1pintは約568ml）。

次は食べ物です。ブリティッシュパブで欠かせない食べ物といえば、「フィッシュ&チップス」や「ミートパイ」、「ローストディナー」。英国を代表するソウルフードです。



「ミートパイ」

お肉等の煮込みをパイ生地に閉じ込めてオーブンで焼いた料理。フルモンティではパイ生地から全て手作り。



「ラムステーキ&マッシュ with ホームメイドグレイビーソース」

グレイビーソースは牛骨を5時間オープンでゆっくり火を通して煮こんで作るイギリス料理に欠かせないソース。





### 「フィッシュ&チップス」

白身のお魚に纏わせる小麦粉とビールで作った衣がフワフワサクサクの食感を演出。

「日本にかつおや昆布のだし文化があるように、英国にも母国を感じる香りがあります。夕方に街に広がるグレイビーソースの独特の香りです。当店にも、母国の味を求めて英国人のお客様が多くいらっしゃるんですよ。」と道心さん。

フードとドリンクはカウンターで注文し、キャッシュオンで精算します。グループの場合は、1人ずつ順番に全員のドリンクを注文する Round of Drinks（ラウンド制）という独自のルールが存在も、知っておくとより楽しめるかもしれません。

サイダーと英国を感じる味と香り、そして出会いと楽しい会話がブリティッシュパブの醍醐味です。ぜひ足を運び、本場感を味わってみてはいかがでしょうか。

---

## 英国ゆかりの地である横浜で、改めて英国文化を発信したい

最後に、お2人に GO GB 2020 に向けての思いを伺いました。



(プール・クライヴさん)

「横浜は開国をしていち早く英国文化を取り入れた、英国ゆかりの土地です。2020年のオリンピック・パラリンピック期間に、横浜市が英国代表チームをホストタウンとして迎えるにあたり、改めて英国文化を発信していきたいと思っています。

個人的には英国の国技であるフットボールとラグビーが好きなので、当店に集まったお客様とスポーツ観戦を楽しみながら、英国の文化にも触れていただく機会を作ることができれば嬉しいです。」



(道心華衣さん)

「この機会に、英国の食文化の素晴らしさについて改めて知っていただきたいです。あまり認識されていませんが、実はサンドウィッチやローストビーフなどの身近にある料理は英国発祥の食べ物。横浜にも至るところに英国の文化が散りばめられているのに、日常に溶け込んで見えなくなっています。

英国文化を改めてクローズアップするイベントなどを企画し、オリンピック・パラリンピック観戦や観光等で横浜を訪れるたくさんの人に、もっと英国文化の素晴らしさを知ってもらいたいです。」

今回は、英国を語る上で欠かせないブリティッシュパブについて紹介しました。

日本ではなかなかなじみのないパブ文化ですが、一度足を踏み入れると、知らない人同士でも気軽に話せる英国式の温かいコミュニティが待っています。

ぜひ、この機会に本場のブリティッシュパブを体感してみたいはかがでしょうか？

取材：GOGB コラム担当ライター：松村茉莉

撮影：GOGB コラム担当カメラマン：山本美賢

2020.12.24 事前キャンプを知ろう | ホストのオススメブリティッシュポイント

草花の“自然美”を体感できる「イングリッシュガーデン」を訪れてみよう！



東京 2020 オリンピック・パラリンピックの英国代表チームの事前キャンプホストタウンになっている横浜市。

横浜市は、幕末の横浜港開港によっていち早く英国文化を取り入れた地でもあります。

今回は、英国文化を体感できるスポットとして、横浜イングリッシュガーデンをご紹介します。案内してくれたのは、横浜イングリッシュガーデンのガーデナー黒田智史さん。2,000 品種、2,200 株以上の圧倒的なバラの風景。そして四季折々さまざまな植物が育ち、訪れるたびに違う表情を見せてくれるイングリッシュガーデンならではの魅力と、それを育んだ英国文化について教えていただきました。

---

## 草花の自然美を楽しむのが、イングリッシュガーデンの醍醐味

イングリッシュガーデンとは、18世紀～19世紀に始まったイギリス式庭園の流れを汲んだ「自然美を楽しむお庭」のこと。自然をそのまま切り取ったような、野生的で力強い草花の美しさを感じられるのがイングリッシュガーデンの醍醐味です。イタリア式庭園やフランス式庭園の幾何学な様式とは異なり、左右非対称で奥行き感のあるイングリッシュガーデンの風景は、日本庭園の美しさとはどこか似ている部分があります。



### （黒田智史さん）

「イングリッシュガーデンのポイントは、「自然風」に「混栽」です。人工でありながら、さまざまな植物が混ざり合って自然の風景を作り出しているところに良さがあります。しかし、自然だからといって手入れをせず放ったらかしにして良いというわけではありません。それぞれの植物の特性を理解し、植える時期や配置をうまく計画していくスキルが求められます。

ポイントは、その環境に合った植物をチョイスすること。イングリッシュガーデンだからといって英国の植物にこだわる必要はなく、ご自身の好みの植物にチャレンジしていただきたいです。」

---

## 英国の園芸文化と日本の関わり

英国の庭文化が大きく変革していったのは18世紀～19世紀ごろ。もともと自生する植物が少なかった英国に、世界中に送られたプラントハンターによって多くの植物が持ち込まれたのがきっかけでした。

当時、英国を含む北ヨーロッパ諸国から、アジア、アフリカ、中南米へとプラントハンターが訪れ、貴重な植物を採集していきました。日本からはアジサイやノギクなどがヨーロッパへと持ち帰られたそうです。

その後英国では、ロンドンの植物愛好家によって「ロンドン園芸協会」が設立され、園芸文化が育まれていきました。





日本原産のアジサイ（ガクアジサイ）は、シーボルトがオランダに持ち帰ったことで育種が進んだといわれている。その時に持ち帰ったガクアジサイは、日本の妻・お滝にちなんで「ハイドランジア・オタクサ」と名付けられた。イングリッシュガーデンでは6月にはアジサイ鑑賞も楽しむことができます。

英国の園芸文化は、1990年代～2000年代にかけて日本で大ブームとなりました。

日本でも有名なバラのナーセリー、デヴィット・オースティンさん。線が細く柔らかい印象のイングリッシュローズがとても人気になりました。

横浜イングリッシュガーデンでも、今では手に入りにくいデヴィット・オースティンのローズコレクションを複数。

---

## 2020年秋～2021年春！横浜イングリッシュガーデンの見どころは？

横浜イングリッシュガーデンでは、横浜市の花であるバラを基調に、春には30品種以上のサクラ、初夏には約300品種ものアジサイなど、四季折々さまざまな草花が咲き誇ります。黒田さんに2020年秋～2021年春の見どころを伺いました。

### （黒田智史さん）

「横浜イングリッシュガーデンでは多種多様な植物を育てていますが、10月中旬から11月末にかけては秋バラが見頃です。春と秋にそれぞれバラの見ごろがありますが、秋のバラは色も香りも良く、大振りなものを楽しめるのが特徴です。とくに今年のバラは大振りですね。秋は少しずつ気温が低くなっていくので、バラがゆっくり大きく咲いていくんです。深みのあるボルドーカラーは、ゆっくり咲くからこそ出る色です。」



握りこぶしぐらいあるバラの花が見事に並んでいる。バラらしいダマスク香やさわやかなフルーツ香など香り高いバラがたくさん！

「春は5月上旬～中旬がバラの見頃です。横浜イングリッシュガーデンの目玉、全長約50mのローズトンネルは、5月中旬ごろに満開になります。トンネルがバラの花で埋め尽くされ、歩くだけで芳醇な香りが漂います。5月初旬から中旬にかけては、ローズトンネルと周辺のバラの開花が合わさる貴重な時期です。私たちガーデナーは、気温や湿度、日照などの微細な変化を観察し、この時期に一斉にバラが咲くように工夫しています。ここがガーデナーの腕の見せ所ですね。ぜひ、多くの方に美しいバラが咲き誇る風景を楽しんでいただきたいです。」





今回は、英国の庭園文化から始まったイングリッシュガーデンを紹介しました。  
自然美を愛するという点で、英国人と日本人は近い感受性があるのかもしれませんが。  
横浜イングリッシュガーデンでは11月24日からクリスマスの装飾も始まります。  
季節に合わせた装飾と共にガーデンの景色を楽しむのも魅力の一つです。ぜひこの機会に訪れてみてはいかがでしょうか？

横浜イングリッシュガーデン Web サイト

<https://www.y-eg.jp/>

取材：GOGB コラム担当ライター：松村茉莉

写真提供：横浜イングリッシュガーデン